

HP OpenView Performance Insight

ATM Report Pack ユーザーガイド

ソフトウェアバージョン : 3.0

Reporting and Network Solutions 7.0



2005 年 6 月

© Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

ご注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 当社は、本書に関して特定目的の市場性と適合性に対する保証を含む一切の保証をいたしかねます。
3. 当社は、本書の記載事項の誤り、またはマテリアルの提供、性能、使用により発生した直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害または結果損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 本製品パッケージとして提供した本書、**CD-ROM**などの媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

Restricted Rights Legend.

Use, duplication or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause in DFARS 252.227-7013.

Hewlett-Packard Company

United States of America

Rights for non-DOD U.S. Government Departments and Agencies are as set forth in FAR 52.227-19(c)(1,2).

Copyright Notices

© Copyright 2001 - 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P., all rights reserved.

Trademark Notices

OpenView は、Hewlett-Packard Company の米国の登録商標です。

Java™ は、米国 Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Oracle® は、米国 Oracle Corporation, Redwood City, California の米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

Windows® および Windows NT® は、米国 Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

原典

本書は『*HP OpenView Performance Insight ATM Report Pack User Guide Software Version: 3.0 Reporting and Network Solutions 7.0*』 Manufacturing Part No. none (November 2004) を翻訳したものです。

サポート

次の HP OpenView の Web サイトを参照してください。

<http://openview.hp.com/> (英語)

<http://www.hp.com/jp/openview/> (日本語)

これらのサイトには、HP OpenView の提供する製品、サービス、サポートについてのお問い合わせ先や詳細が掲載されています。日本語サポートサイトを表示するには、上記英語版サイトから **[Support]** をクリックし、**[Software Support Online]** をクリックしてください。サポートサイトでは、お客さまのビジネスの運用に役立つ対話形式の技術サポートツールに手早く効率的にアクセスできます。サポートサイトでは次のことが可能です。

- 関心のあるドキュメントを検索する
- サポートケースを登録/トラッキングする
- サポート契約を管理する
- HP サポートの問い合わせ先を調べる
- 利用可能なサービスに関する情報を確認する
- 他のお客様とのオンラインディスカッションに参加する
- ソフトウェアトレーニングの検索および登録を行う

サポートの多くでは、HP Passport へのユーザー登録とログインが必要です。また、サポート契約が必要な場合もあります。

アクセスレベルに関する詳細は、次の URL で確認してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport ID のご登録は、次の URL で行ってください。

<https://passport.hp.com/hpp2/newuser.do> (英語)

目次

第 1 章	概要	7
	OVPI と ATM プロトコル.....	7
	レポートのカスタマイズ方法.....	10
	追加情報の入手先.....	11
第 2 章	アップグレードインストール	13
	円滑なアップグレードのためのガイドライン.....	13
	バージョン 2.1 からバージョン 3.0 へのアップグレード.....	15
	アップグレード後の手順.....	19
	パッケージの削除.....	19
第 3 章	新規インストール	21
	円滑なインストールのためのガイドライン.....	21
	ATM 3.0 のインストール.....	22
	パッケージの削除.....	25
第 4 章	分散システム	27
	中央サーバーの設定.....	27
	サテライトサーバーの設定.....	29
第 5 章	プロパティデータのレポートへの追加	31
	プロパティインポート ユーティリティ.....	31
	プロパティインポート ファイルを独自に作成.....	34
	デフォルト実行時刻の変更.....	41
第 6 章	変更フォームの使用	43
	PVC セルパラメータの更新.....	43
	PVC QoS パラメータの更新.....	45
	ポート情報の更新.....	46
第 7 章	PVC レポート	47
第 8 章	ポートレポート	65

第 9 章	SVC レポート	85
第 10 章	テーブルおよびグラフの編集	95
	テーブルのビューオプション	95
	グラフのビューオプション	97
索引	103

概要

この概要では、次の項目について説明します。

- OVPI と ATM プロトコル
- フォルダーとレポート (バージョン履歴)
- レポートのカスタマイズ方法
- 追加情報の入手先

OVPI と ATM プロトコル

PVC、ポート、および SVC のパフォーマンスの評価を行う **ATM Report Pack** は、問題の部分を特定したり、将来的なパフォーマンスを予測するうえで役立ちます。このパッケージのレポートを使用すると、次の質問に対する答えを見つけることができます。

- ネットワークが許容レベルで動作しているか。
- どの PVC およびポートがもっとも使用率が高いか。
- より多くのトラフィックを処理できる PVC またはポートが存在するか。
- 使用率が高すぎるために発生したエラーやドロップされたセルがないか。
- 入口使用率と出口使用率に極端な差がないか。
- どの PVC またはポートがネットワークパフォーマンスの低下の原因となりそうか。
- SVC スイッチで接続の要求を処理できているか。
- どのようにしてカスタマ単位でパフォーマンスを比較することができるか。
- どのようにして地域単位でパフォーマンスを比較することができるか。

フォルダーとレポート

ATM 3.0 には、3 つのフォルダーと 49 の対話型レポートが含まれています。フォルダーは次の 3 つです。

- PVC (22 のレポート)
- Port (16 のレポート)

- SVC (11 のレポート)

PVC フォルダーのレポートは、主に次のメトリックを扱います。

- ピークセルレート (PCR)
- 平均セルレート (SCR)
- ドロップされたセルの割合 (パーセント)

Port フォルダーのレポートは、主に次のメトリックを扱います。

- 送信されたセルのビット数
- 使用率
- 廃棄
- エラー

SVC フォルダーのレポートは、主に次のメトリックを扱います。

- 試行された呼び出しの成功率
- 1 秒あたりの呼び出し回数

各フォルダーのレポートの一覧については、レポートの章 (第 7、8、9 章) を参照してください。ここでは、一般的なレポートについて簡単に説明します。レポートをアルファベット順に紹介します。

キャパシティプランニング (Capacity Planning) 使用率の増加の評価、トラフィックの均衡化、使用率の増加 / 減少の計画に利用できます。近い将来に使用率が極端に高くなるまたは低くなると予測される PVC 端点とポートが示されます。

設定 (Configuration) プロパティの列が未定義の PVC およびポートが示されます。必要なフィールドが適切に定義されていない場合は、使用率の値が不正になります。

可用性 (日別) (Daily Availability) サービスレベル契約の統計情報が日単位または月単位で示されます。これらの統計情報には、管理対象要素が機能していた時間の割合 (パーセント) が示されます。統計情報には、ポートと PVC 端点の時間単位、日単位、月単位の平均可用性も含まれます。

エグゼクティブサマリー (Executive Summary) PVC 端点、SVC、またはポートのサマリービューが、カスタム単位または地域単位で示されます。入力および出力の総トラフィック量、エラーおよび廃棄の総数、サービス品質ごとのボリュームの割合 (パーセント) がグラフで表示されます。

予測 (Forecast) ネットワークの増大の予測に利用できます。今後 30 日以内に生じると予想されるホットスポットが示されます。将来的な予測を行うことで、問題が発生するのを防ぐために必要な対処を実行できます。

ホットスポット (Hot Spots) 前日に、常にしきい値パラメータを超えていた要素を特定します。このレポートは、問題の特定に役立ちます。サービスのグレードのグラフは例外と超過使用率にもとづいており、ネットワーク管理者がサービス品質契約への影響を予測する際に利用できます。

準リアルタイム (Near Real Time) これは、厳密にはレポートの種類ではありません。アクティブなインタフェース、トランク、および EtherChannel の使用率、エラー、廃棄のデータが示されます。最新のポーリングから直前 6 時間までの時間範囲で、日単位と月単位のデータが表示されます。

クイックビュー (QuickView) PVC 端点、ポート、または SVC の詳細が、前日、前月、および直前 6 時間の 3 つの時間範囲ごとに示されます。日平均の使用率と呼び出しの試行数がもっとも高い要素が 10 個表示されます。

スナップショット (Snapshot) クイックビューのサブセット。クイックビューを起動すると、使用率の高いトップ 10 の PVC、ポート、または SVC の表が表示されます。スナップショットを起動するとダイアログボックスが表示され、分析を行う特定の PVC、ポート、または SVC を選択できます。より大まかな状況を表示したい場合はクイックビューを起動します。分析を行う要素がわかっている場合は、スナップショットを起動します。

トップテン (Top Ten) もっとも使用率の高い方向の PVC 端点またはポートが示されます。これらは、重大な問題のある、パフォーマンスが低い順のトップテンです。ポートのレポートには、そのポートの各 PVC 端点の使用率が表示されます。SVC のレポートには、呼び出し試行と 1 秒あたりの呼び出し回数をもとに、トップテンの SVC ポートが示されます。

バージョン履歴

次の表は、ATM Report Pack に最近行われた拡張機能をまとめたものです。

バージョン	RNS のバージョンと日付	拡張機能
1.0	RNS 2.0 – 2003 年 1 月	Cisco ATM Datapipe 1.0 Fore ATM Datapipe 1.0 Ascend ATM Datapipe 1.0 Newbridge ATM Datapipe 1.0 Stratacom ATM Datapipe 1.0
1.0	RNS 3.0 – 2003 年 5 月	変更なし
2.1	RNS 4.0 – 2003 年 10 月	1.0 から 2.1 へのアップグレードパッケージ
3.0	RNS 5.0 – 2004 年 4 月	Oracle のサポート OVPI オブジェクトマネージャのサポート 2.1 から 3.0 へのアップグレードパッケージ 新しいデータパイプ: <ul style="list-style-type: none"> • ATM ifEntry Datapipe 1.0 新しいフォーム: <ul style="list-style-type: none"> • PVC セルパラメータの更新 • PVC QoS パラメータの更新 • ポート情報の更新
3.0	RNS 6.0 – 2004 年 8 月	変更なし
3.0	RNS 7.0 – 2004 年 11 月	変更なし

ATM ifEntry Datapipe は Cisco ATM Datapipe 3.0 の前提条件です。その他のデータパイプでは ATM ifEntry Datapipe は必要ありません。

レポートのカスタマイズ方法

グループフィルターの適用、パラメータの編集、テーブルやグラフの編集、カスタマと場所のインポート、PVC パラメータ、QoS パラメータ、およびポートの詳細の追加など、レポートをカスタマイズすることができます。カスタマとレポートを共有する必要がある、サービスプロバイダなどの組織は、グループフィルターを使用してカスタマ固有のレポートを作成します。パラメータ、テーブル、およびグラフの編集は、一時的な変更として誰でも行うことができます。テーブルやグラフの編集（ビューオプションの選択）についての詳細は、第 10 章「テーブルおよびグラフの編集」を参照してください。

グループフィルター

レポートをカスタマと共有する場合は、カスタマ固有のレポートを作成する必要があります。カスタマ固有のレポートを作成するには、次の作業を行います。

- **Common Property Tables 3.0** 以降を使用してカスタムプロパティ情報（カスタマ名とデバイスの場所）をインポートする
- 特定のカスタマに関連のあるユーザー全員のためのグループアカウントを作成する
- そのグループアカウント用のグループフィルターを作成する

グループアカウント用フィルターの作成の詳細は、『*Performance Insight 5.0 管理ガイド*』を参照してください。

パラメータの編集

パラメータを編集することで、レポートに制約を適用します。制約は、参照する必要のないデータを省きます。たとえば、カスタマ名のパラメータを編集すると、[カスタマ名]フィールドに入力した以外のすべてのカスタマデータが、レポートから除外されます。場所のパラメータを編集すると、[場所]フィールドに入力した以外のすべての場所のデータがレポートから除外されます。

一度に複数の制約を適用することができます。ATM 3.0 では、次のパラメータがサポートされています。

- Device
- Port Name
- VPI
- VCI
- Customer
- Location

Web アクセスサーバーを使ってリモートでレポートを表示している場合には、レポート右下の [パラメータの編集] アイコンをクリックし、パラメータを編集します。[パラメータの編集] ウィンドウが開いたら、フィールドに制約を入力し、[送信] をクリックします。

レポートビューアを使っている場合には、メニューバーから **[編集]** > **[パラメータ値]** を選択します。 **[パラメータ値の変更]** ウィンドウが開いたら、 **[現在の値]** フィールドをクリックします。新しい値を入力し、 **[OK]** をクリックします。

プロパティのインポート

ATM Report Pack の準備 処理は、組み込みのプロパティインポート ユーティリティで行われます。このユーティリティを使用して、レポートに次の情報を追加します。

- カスタマ名とカスタマ ID
- 地域と地域 ID
- 入口および出口のサービス品質の値
- ピークセルレートと平均セルレートの値
- ポート速度

使用しているデータパイプによってこれらの値が提供される場合は、プロパティインポート ユーティリティで値をインポートする必要はありません。ただし、インストールされているデータパイプではこの情報が提供されない場合や、提供されるデータが正しくない場合は、プロパティインポート ユーティリティを使用して正しい値をインポートして下さい。

既存の情報を更新する場合は、プロパティファイル (OVPI からエクスポートしたファイル) を編集する方法や、この章で前述した PVC、QoS、およびポートの変更フォームを使用する方法もあります。変更フォームについての詳細は、第 6 章「変更フォームの使用」を参照してください。

追加情報の入手先

本ユーザーガイドでは、パッケージに含まれる一部のレポートのサンプルを紹介しています。ATM 3.0 に付属するデモパッケージには、パッケージ内のすべてのレポートのサンプルが含まれています。デモパッケージが利用可能で、完全なレポートの表示内容を見たい場合、デモパッケージをインストールしてください。実際のレポートと同様に、デモレポートも対話形式です。実際のレポートとは異なり、デモレポートの内容は静的です。

ATM Report Pack 3.0 の最新の拡張機能や、このパッケージに影響する既知の問題に関する情報は、『*ATM Report Pack 3.0 Release Statement*』（英語）を参照してください。また、次のドキュメントも参考にしてください。

- 『*Common Property Tables 3.5 ユーザーガイド*』
- 『*Thresholds Module 5.0 User Guide*』（英語）
- 『*NNM/Performance Insight Integration Module 2.0 User Guide*』（英語）
- *RNS 7.0 のリリースノート (2004 年 11 月)*

中心となる製品である OVPI のマニュアルと、OVPI 上で動作するレポート機能についてのマニュアルは、次のサイトからダウンロードできます。

<http://www.hp.com/managementsoftware> (英語)

[Support]>[製品マニュアル(英語)]を選択すると、「Product manuals search」ページ(英語)が表示されます。OVPIのマニュアルは[1. Product]で[Performance Insight]を選択すると表示されます。また、レポートパッケージ、データパイプ、およびNNM SPIのマニュアルは、[Reporting and Network Solutions]を選択すると表示されます。

日本語のマニュアルは以下のURLからも入手できます。

<http://www.jpn.hp.com/doc/manual/openview/index.html>

[Reporting and Network Solutions] の下のマニュアルには、発行年月が示されています。ユーザーガイドが改訂されて新しいものが公開されると、ソフトウェアのバージョン番号が変わらない場合でも、発行年月が変わります。改訂したマニュアルは定期的に公開されるため、このサイトを見て更新されていないかを確認して、最新版でない可能性のある古いPDFを参照するのは避けてください。

アップグレードインストール

本章では、次の項目について説明します。

- 円滑なアップグレードのためのガイドライン
- ATM 2.1 から ATM 3.0 へのアップグレード
- パッケージの削除

ATM Report Pack を初めてインストールする場合は、この章の内容は当てはまりません。その場合は、第3章「新規インストール」を参照してください。

円滑なアップグレードのためのガイドライン

RNS CD を挿入して、パッケージ抽出インタフェースを起動し、OVPI レポートパックのインストールを選択すると、インストールスクリプトは CD からすべての OVPI パッケージを抽出し、それをシステムの Packages ディレクトリにコピーします。抽出処理が終わると、インストールスクリプトは、Performance Insight を起動してパッケージマネージャを開始するように促します。パッケージマネージャを実行する前に、次のガイドラインを再確認してください。

前提条件

ATM 3.0 にアップグレードする前に、次のソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

- OVPI 5.0
- OVPI 5.0 用に現在提供されているすべてのサービスパック
- Interface Reporting Report Pack 4.5 以降
- Common Property Tables 3.0 以降

Common Property Tables のアップグレード

Common Property Tables のバージョン 2.2 を使用している場合は、バージョン 2.2 から 3.0 へのアップグレードパッケージをインストールする必要があります。アップグレードパッケージをインストールする際は、他のパッケージを同時にインストールしないでください。Common

Property Tables のアップグレードパッケージのみインストールしてください。現在 Common Property Tables 3.0 を使用している場合は、3.0 から 3.5 へのアップグレードパッケージをインストールすることも可能です。

リモートポーラー用のポーリングポリシー

既存のデータパイプをアンインストールすると、次の情報が失われます。

- リモートポーラー用のポーリングポリシー
- マルチポーラー ポリシー
- カスタマイズしたポーリンググループ

`collection_manager` や `group_manager` のコマンドを使うと、既存のポーリングポリシー設定やカスタマイズしたポーリンググループをエクスポートすることができます。

ポーリングポリシー設定のエクスポート

お使いの環境にリモートポーラー用のポーリングポリシーが含まれている場合には、`collection_manager` コマンドを使って、既存のポリシー設定をファイルにエクスポートしてください。

UNIX: trendadm ユーザーで次のコマンドを実行します。

```
cd $DPIPE_HOME
./bin/collection_manager -export -file /tmp/savePollingPolicy.lst
```

Windows: Administrator でコマンドウィンドウを起動します。OVPI のインストールディレクトリに移動し、次のコマンドを実行します。

```
bin%collection_manager -export -file %temp%savePollingPolicy.lst
```

カスタマイズしたポーリンググループのエクスポート

お使いの環境にカスタマイズしたポーリンググループが含まれている場合には、`group_manager` コマンドを使って、グループを個々の `.xml` ファイルにエクスポートしてください。

UNIX: trendadm ユーザーで次のコマンドを実行します。

```
cd $DPIPE_HOME
./bin/group_manager -export_all -outfile /tmp/savePollingGroups
```

Windows: Administrator でコマンドウィンドウを起動し、OVPI のインストールディレクトリに移動して、次のコマンドを実行します。

```
bin%group_manager -export_all -outfile %temp%savePollingGroups
```

カスタムデータ テーブルビュー

既存のプロパティテーブルビューを使ってカスタムデータテーブルビューを作成している場合は、レポートパックをアップグレードする前に、まずカスタムデータテーブルビューをドロップしてください。カスタムデータ テーブルビューをドロップしても、データは失われません。

分散環境

以下は、分散環境におけるインストール手順の概要です。

- 1 中央サーバーの **trendcopy** を無効にします。
- 2 中央サーバーで以下を実行します。
 - **Common Property Tables 3.0** 以降にアップグレードしてレポートを配布する
 - **Interface Reporting 4.0** 以降にアップグレードしてレポートを配布する
 - **ATM 3.0** にアップグレードしてレポートを配布する
- 3 各サテライトサーバーに以下を実行します。
 - **Common Property Tables 3.0** 以降にアップグレードする
 - **Interface Reporting 4.0** 以降にアップグレードする
 - **ATM 3.0** にアップグレードする
 - 既存のデータパイプ (**ATM 2.0** で使用していたデータパイプ) を削除する
 - 1 つまたは複数のデータパイプをインストールする
- 4 中央サーバーの **trendcopy** を再び有効にします。

ATM 2.1 のインストールでは、サテライトサーバー データベースとの接続をセットアップし、**trendcopy** コマンドを設定して、さらに各サテライトサーバーで時間単位の集約をオフにしています。**OVPI 4.6** から **OVPI 5.0** へアップグレードする際は、**ATM 2.1** のインストール時に行った変更のいくつかを、**ATM 3.0** のインストール後すぐに再度行う必要があります。サテライトサーバー データベースとの接続を再度セットアップし (この場合は [データベースの追加ウィザード] を使用)、さらに **trendcopy** の **pull** コマンドも再度設定しなくてはなりません。詳細は、第4章「分散システム」を参照してください。

バージョン 2.1 からバージョン 3.0 へのアップグレード

バージョン 2.1 からバージョン 3.0 へアップグレードするには、次の作業を行います。

- タスク 1: **OVPI Timer** を停止し、**RNS 7.0 CD** からパッケージを抽出する
- タスク 2: **Common Property Tables** をアップグレードする
- タスク 3: **Interface Reporting 3.0** から **Interface Reporting 4.5** 以降へアップグレードする
- タスク 4: **UPGRADE_ATM_Checker** パッケージをインストールする
- タスク 5: **ATM 3.0** アップグレードパッケージをインストールする
- タスク 6: 現在インストールされてる古いデータパイプをすべて削除する
- タスク 7: 新しいデータパイプをインストールする
- タスク 8: **OVPI Timer** を再起動する

タスク 1: OVPI Timer を停止し、RNS 7.0 CD からパッケージを抽出する

- 1 システムにログインします。UNIX システムでは **root** でログインします。

- 2 OVPI Timer を停止し、プロセスが終了するのを待ちます。

Windows では次の手順を実行します。

- a [コントロールパネル]>[管理ツール]>[サービス]を選択します。
- b サービスの一覧から [OVPI Timer] を選択します。
- c [操作]メニューから [停止] を選択します。

UNIX では、root で次のいずれかを実行します。

```
HP-UX: sh /sbin/ovpi_timer stop
```

```
Sun: sh /etc/init.d/ovpi_timer stop
```

- 3 RNS 7.0 CD を挿入します。Windows の場合は [メインメニュー] が自動的に表示されます。UNIX では、CD が自動的にマウントされない場合は CD をマウントし、CD の最上位ディレクトリに移動して `./setup` コマンドを実行します。
- 4 選択フィールドに **1** を入力し、[Enter] を押します。インストールスクリプトが進捗バーを表示します。コピーが終わると、インストールスクリプトはパッケージマネージャを開始します。パッケージマネージャの [ようこそ] ウィンドウが開きます。

システムの Packages ディレクトリに移動すると、ATM フォルダの下に次のフォルダがあります。

- ATM.ap
- ATM_Demo.ap
- UPGRADE_ATM_2.1_to_3.ap
- UPGRADE_ATM_Checker

タスク 2: Common Property Tables 3.0 以降にアップグレードする

以下のルールに従ってください。

- CPT アップグレードパッケージとその他のパッケージを同時にインストールすることはできません。CPT アップグレードパッケージは単独でインストールしてください。
- [レポートの配布] のオプションを受け入れるか、または無効にするかを尋ねるプロンプトが表示されたら、デフォルトを受け入れます。レポートを配布しないと、Common Property Tables に付属の変更フォームも配布されません。
- インストールが終了したら、[完了] をクリックして [管理コンソール] に戻ります。

この作業に関してさらに詳細な情報が必要な場合は、『Common Property Tables 3.5 ユーザーガイド』を参照してください。

タスク 3: Interface Reporting 4.5 以降にアップグレードする

- 1 3.0 から 4.5 へのアップグレードパッケージをインストールします。
- 2 次のデータパイプを削除します。
 - Interface Discovery Datapipe 1.1
 - Interface Reporting ifEntry Datapipe 1.1
 - Interface Discovery Datapipe 2.0

- Interface Reporting ifEntry Datapipe 2.0
- 3 次のデータパイプをインストールします。
 - Interface Discovery Datapipe 2.1
 - Interface Reporting ifEntry Datapipe 2.1

新しいデータパイプがインストールされたら、[完了]をクリックして[管理コンソール]に戻ります。


タスク 4: UPGRADE_ATM_Checker をインストールする

- 1 [管理コンソール]から[ツール]>[パッケージマネージャ]を選択します。パッケージマネージャの[ようこそ]ウィンドウが開きます。
- 2 [次へ]をクリックします。[OVPI パッケージの場所]ウィンドウが開きます。
- 3 [インストール]をクリックします。
- 4 [次へ]をクリックします。[レポートの配布]ウィンドウが開きます。[レポートの配布]、[アプリケーションサーバー]、および[ポート]のデフォルトを受け入れます。OVPI アプリケーションサーバー用のユーザー名とパスワードを入力します。
- 5 [次へ]をクリックします。[パッケージの選択]ウィンドウが開きます。
- 6 次のパッケージの横にあるチェックボックスをクリックします。
UPGRADE_ATM_Checker
- 7 [次へ]をクリックします。[タイプの検出]ウィンドウが開きます。デフォルトを無効にします。
- 8 [次へ]をクリックします。[概要]ウィンドウが開きます。
- 9 [インストール]をクリックします。[インストールプロセス]ウィンドウが開き、インストールが開始されます。インストールが完了すると、パッケージのインストール完了メッセージが表示されます。
- 10 [完了]をクリックします。
- 11 DPIPE_HOME/temp に移動します。出力ファイルの内容を確認します。
check_ATM_Property_consistency.out
- 12 エラーがあれば修正します。

タスク 5: ATM 2.1 から 3.0 へのアップグレードパッケージをインストールする

- 1 パッケージマネージャを開始します。パッケージマネージャの[ようこそ]ウィンドウが開きます。
- 2 [次へ]をクリックします。[OVPI パッケージの場所]ウィンドウが開きます。
- 3 [インストール]をクリックします。
- 4 [次へ]をクリックします。[レポートの配布]ウィンドウが開きます。[レポートの配布]、[アプリケーションサーバー]、および[ポート]のデフォルトを受け入れます。OVPI アプリケーションサーバー用のユーザー名とパスワードを入力します。
- 5 [次へ]をクリックします。[パッケージの選択]ウィンドウが開きます。

- 6 次のパッケージの横にあるチェックボックスをクリックします。
UPGRADE_ATM_2.1_to_3.0
- 7 [次へ] をクリックします。[タイプの検出] ウィンドウが開きます。デフォルトを無効にします。
- 8 [次へ] をクリックします。[概要] ウィンドウが開きます。
- 9 [インストール] をクリックします。[インストールプロセス] ウィンドウが開き、インストールが開始されます。インストールが完了すると、パッケージのインストール完了メッセージが表示されます。
- 10 [完了] をクリックします。

 インストールしたアップグレードパッケージがビューに表示されなくても問題ありません。パッケージマネージャには、*ATM Report Pack 3.0* としてインストールしたもののみが表示されます。したがって、これが正常な状態です。


タスク 6: 古いデータパイプを削除する

ATM 2.0 で使用していたデータパイプをアップグレードすることはできません。既存のデータパイプを削除した後、各データパイプの最新バージョンをインストールする必要があります。パッケージマネージャを起動し、画面に表示される指示に従ってパッケージを削除します。削除が完了したことを示すメッセージが表示されたら、[完了] をクリックして [管理コンソール] に戻ります。

タスク 7: 新しいデータパイプをインストールする

- 1 パッケージマネージャを開始します。パッケージマネージャの [ようこそ] ウィンドウが開きます。
- 2 [次へ] をクリックします。[OVPI パッケージの場所] ウィンドウが開きます。
- 3 [インストール] をクリックします。
- 4 [次へ] をクリックします。[レポートの配布] ウィンドウが開きます。[レポートの配布] のデフォルトを無効にします。
- 5 [次へ] をクリックします。[パッケージの選択] ウィンドウが開きます。
- 6 次のパッケージのチェックボックスを、1 つまたは複数クリックします。

Cisco ATM Datapipe 3.0

 Cisco ATM Datapipe には ATM ifEntry Datapipe 1.0 が必要です。ATM ifEntry Datapipe 1.0 は、パッケージマネージャによって自動的にインストールされます。

Ascend ATM Datapipe 3.0

Fore ATM Datapipe 3.0

Stratacom ATM Datapipe 3.0

Newbridge ATM Datapipe 3.0]

- 7 [次へ]をクリックします。[タイプの検出]ウィンドウが開きます。デフォルトを無効にします。
- 8 [次へ]をクリックします。[選択の概要]ウィンドウが開きます。
- 9 [インストール]をクリックします。[インストールプロセス]ウィンドウが開き、インストールが開始されます。インストールが完了すると、パッケージのインストール完了メッセージが表示されます。
- 10 [完了]をクリックします。

タスク 8: OVPI Timer を再起動する

Windows では次の手順を実行します。

- a [コントロール パネル]>[管理ツール]>[サービス]を選択します。
- b サービスの一覧から [OVPI Timer] を選択します。
- c [操作]メニューから [開始]を選択します。

UNIX では、root で次のいずれかを実行します。

```
HP-UX: sh /sbin/ovpi_timer start
Sun: sh /etc/init.d/ovpi_timer start
```

アップグレード後の手順

復元の必要のあるポーリングポリシーやカスタマイズしたグループの定義を再設定します。エクスポートした設定を再インポートしないでください。古いデータパイプとインストールした新しいデータパイプに互換性がない可能性があるため、エクスポートした設定を再インポートすると、データ破壊につながる恐れがあります。

アップグレード前に、既存のレポートパック プロパティテーブル ビューにもとづいてカスタマイズしたデータテーブル ビューをドロップしている場合には、ここでそのカスタムビューを再生成することができます。

パッケージの削除

次の手順に従って ATM 3.0 をアンインストールします。ATM 3.0 を削除すると、ATM 3.0 で使用していたデータパイプもすべて自動的に削除されます。

- 1 システムにログインします。UNIX システムでは root でログインします。
- 2 OVPI Timer を停止し、プロセスが終了するのを待ちます。
- 3 [管理コンソール]から パッケージマネージャを開始します。パッケージマネージャの [よろこ]ウィンドウが開きます。
- 4 [次へ]をクリックします。[OVPI パッケージの場所]ウィンドウが開きます。
- 5 [アンインストール]をクリックします。
- 6 [次へ]をクリックします。[OVPI レポートの配布解除]ウィンドウが開きます。

- 7 このサーバーから **ATM** レポートが配布されている場合は、[レポートの配布解除]、[アプリケーションサーバー名]、および[ポート]のデフォルトを受け入れます。このサーバーから **ATM** レポートが配布されていない場合は、チェックボックスをオフにして**手順 9**に進みます。
- 8 OVPI アプリケーションサーバー用のユーザー名とパスワードを入力します。
- 9 [次へ]をクリックします。[パッケージの選択]ウィンドウが開きます。
- 10 次のパッケージの横にあるチェックボックスをクリックします。

ATM 3.0

ATM_Demo 3.0

- 11 [OK]をクリックします。
- 12 [次へ]をクリックします。[概要]ウィンドウが開きます。
- 13 [アンインストール]をクリックする。[進捗状況]ウィンドウが開き、削除プロセスが開始されます。インストール処理が完了すると、パッケージの削除完了メッセージが表示されます。
- 14 [完了]をクリックします。
- 15 OVPI Timer を再起動します。

新規インストール

本章では、次の項目について説明します。

- 円滑なインストールのためのガイドライン
- ATM 3.0 のインストール
- 配布されたレポートへのアクセス (レポートでパフォーマンスデータを確認する)
- パッケージの削除

現在 ATM 2.0 を使用している場合は、この章の内容は当てはまりません。その場合は、[第2章「アップグレードインストール」](#)を参照してください。

円滑なインストールのためのガイドライン

OVPI 用に作成されたレポート機能は、2つのパッケージ、1つのレポートパック、および1つのデータパイプ、または場合によっては1つのレポートパックと複数のデータパイプから構成されます。データパイプをインストールすることで、特定のポーリング間隔で特定の種類のパフォーマンスデータを収集するように OVPI を設定します。レポートパックをインストールすることで、特定の 방법으로パフォーマンスデータを要約し、集約するよう OVPI を設定します。

RNS CD を挿入して、パッケージ抽出インタフェースを起動し、OVPI レポートパックのインストールを選択すると、インストールスクリプトは CD からすべての OVPI レポートパックを抽出し、システムの Packages ディレクトリにコピーします。抽出処理が終わると、インストールスクリプトは、Performance Insight を起動してパッケージマネージャを開始するように促します。パッケージマネージャを実行する前に、次のガイドラインを再確認してください。

前提条件

Interface Reporting をインストールする前に、次のソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

- OVPI 5.0
- OVPI 5.0 に提供されているすべてのサービスパック
- Interface Reporting Report Pack 4.6
- Common Property Tables 3.0 以降

Common Property Tables のアップグレード

Common Property Tables の古いバージョンを使用している場合は、パッケージをバージョン 3.0 以降にアップグレードする必要があります。Common Property Tables のどのバージョンも使用していない場合は、パッケージマネージャで Common Property Tables をインストールしてください。

Common Property Tables のパッケージとその他のパッケージを同時にインストールまたはアップグレードすることはできません。Common Property Tables のアップグレードパッケージのみインストールしてください。Common Property Tables のインストールと使用についての詳細は、『Common Property Tables 3.5 ユーザーガイド』を参照してください。

分散環境

ATM 3.0 を分散環境で実行する場合は、すべてのサーバーで、OVPI 5.0 と OVPI 5.0 用に提供されているすべてのサービスパックが実行されている必要があります。ここでは、ATM 3.0 を分散環境にインストールする場合の手順の概要を説明します。

- 1 中央サーバーの **trendcopy** を無効にします。
- 2 中央サーバーで **Common Property Tables 2.2** を実行している場合は、**3.0** にアップグレードします。
- 3 中央サーバーで **Interface Reporting 3.0** または **4.5** を実行している場合は、**4.6** にアップグレードします。
- 4 中央サーバーに **ATM 3.0** をインストールしてレポートを配布します。
- 5 各サテライトサーバーに以下を実行します。
 - サーバーで **CPT 2.2** が実行されている場合は **3.0** にアップグレードする
 - サーバーで旧バージョンの **Interface Reporting** が実行されている場合は **4.6** にアップグレードする
 - **ATM 3.0** をインストールする
 - データパイプを少なくとも 1 つインストールする
- 6 中央サーバーの **trendcopy** を再び有効にします。

インストールが完了したら、サテライトサーバー データベースとの接続をセットアップし、**trendcopy** の **pull** コマンドを設定して、さらに各サテライトサーバーで時間単位の集約をオフにします。詳細は、[第 4 章「分散システム」](#)を参照してください。

ATM 3.0 のインストール

ここでは、次の作業について説明します。

- **タスク 1:** **OVPI Timer** を停止し、**RNS CD** からパッケージを抽出する
- **タスク 2:** 必要に応じて、**Common Property Tables 3.0** 以降にアップグレードする
- **タスク 3:** 次のパッケージをインストールして **OVPI Timer** を再起動する

- ATM 3.0
- 少なくとも 1 つの ATM データパイプ
- Interface Reporting 4.5

タスク 1: OVPI Timer を停止し、RNS CD からパッケージを抽出する

- 1 システムにログインします。UNIX システムでは `root` でログインします。
- 2 OVPI Timer を停止し、プロセスが終了するのを待ちます。

Windows では次の手順を実行します。

- a [**コントロール パネル**] > [**管理ツール**] > [**サービス**] を選択します。
- b サービスの一覧から [**OVPI Timer**] を選択する。
- c [**操作**] メニューから [**停止**] を選択します。

UNIX では、`root` で次のいずれかを実行します。

HP-UX: `sh /sbin/ovpi_timer stop`

Sun: `sh /etc/init.d/ovpi_timer stop`

- 3 RNS 6.0 CD を挿入します。Windows の場合はメインメニューが自動的に表示されます。UNIX の場合は、CD をマウントして CD ドライブの最上位ディレクトリに移動し、`setup` コマンドを入力します。
- 4 選択フィールドで **1** と入力して OVPI レポートパックを選択し、[**Enter**] を押します。インストールスクリプトが進捗バーを表示します。抽出処理が終わると、インストールスクリプトはパッケージマネージャを起動します。パッケージマネージャの [**ようこそ**] ウィンドウが開きます。

システムの `Packages` ディレクトリに移動すると、`ATM` フォルダの下に次のフォルダがあります。

- `ATM.ap`
- `ATM_Demo.ap`
- `UPGRADE_ATM_to_3.ap`

アップグレードパッケージは無視してください。デモパッケージのインストールは必須ではありません。デモパッケージは、単独でインストールすることもできますし、その他のパッケージと一緒にインストールすることもできます。

タスク 2: Common Property Tables 3.0 以降にアップグレードする

Common Property Tables 3.0 にアップグレードしていない場合は、ここでアップグレードします。その際、以下のルールに従ってください。

- アップグレードパッケージとその他のパッケージを同時にインストールすることはできません。Common Property Tables アップグレードパッケージは *単独* でインストールしてください。
- [**レポートの配布**] ではデフォルトを受け入れます。レポートを配布しないと、Common Property Tables に付属のフォームも配布されません。

- パッケージマネージャによりアップグレードパッケージのインストールの完了が通知されたら、[完了]をクリックして[管理コンソール]に戻ります。

アップグレードに関しては、『*Common Property Tables 3.5 ユーザーガイド*』を参照してください。

タスク 3: ATM と少なくとも 1 つのデータパイプをインストールする

- 1 [管理コンソール]から[ツール]、[パッケージマネージャ]の順に選択します。パッケージマネージャの[ようこそ]ウィンドウが開きます。
- 2 [次へ]をクリックします。[OVPI パッケージの場所]ウィンドウが開きます。
- 3 [インストール]をクリックします。
- 4 [次へ]をクリックします。[レポートの配布]ウィンドウが開きます。[レポートの配布]のデフォルトを受け入れ、アプリケーションサーバー名とポートのデフォルトを受け入れます。OVPI アプリケーションサーバー用のユーザー名とパスワードを入力します。
- 5 [次へ]をクリックします。[パッケージの選択]ウィンドウが開きます。
- 6 次のパッケージの横にあるチェックボックスをクリックします。

ATM 3.0

ATM_Demo 3.0 [オプション]

- 7 次のうち少なくとも 1 つのパッケージの横にあるチェックボックスをクリックします。

Cisco ATM Datapipe 3.0



Cisco ATM Datapipe には ATM ifEntry Datapipe 1.0 が必要です。この依存データパイプは、パッケージマネージャによって自動的にインストールされません。

Ascend ATM Datapipe 3.0

Fore ATM Datapipe 3.0

Stratacom ATM Datapipe 3.0

Newbridge ATM Datapipe 3.0

- 8 [次へ]をクリックします。[タイプの検出]ウィンドウが開きます。
- 9 パッケージのインストール直後に[タイプの検出]を実行するには、デフォルトを受け入れて[次へ]をクリックします。[概要]ウィンドウが開きます。
- 10 [インストール]をクリックします。[インストールプロセス]ウィンドウが開き、インストールが開始されます。インストールが完了すると、パッケージのインストール完了メッセージが表示されます。
- 11 [完了]をクリックして[管理コンソール]に戻る。
- 12 OVPI Timer を再起動します。

Windows では次の手順を実行します。

- a [コントロール パネル]>[管理ツール]>[サービス]を選択します。
- b サービスの一覧から [OVPI Timer] を選択する。

- c [操作]メニューから[開始]を選択します。

UNIX では、`root` で次のいずれかを実行します。

HP-UX: `sh /sbin/ovpi_timer start`

Sun: `sh /etc/init.d/ovpi_timer start`

配布されたレポートへのアクセス

レポートを表示するには、まず配布する必要があります。ATM Report Pack をインストールしたときに、[レポートの配布]オプションを有効にしました。そのため、このパッケージのレポート(および付属のフォーム)は、OVPI アプリケーションサーバーに配布されています。OVPI アプリケーションサーバーに配布されたレポートとフォームは、次の2つの方法で表示できます。

- OVPI クライアント
- Web ブラウザ

ユーザーのシステムにクライアントコンポーネントがインストールされていれば、ユーザーは[レポートビューア]、[レポートビルダ]、および[管理コンソール]にアクセスできます。ユーザーのシステムにクライアントコンポーネントがインストールされていない場合は、レポートは Web ブラウザでのみ表示できます。

クライアントコンポーネントの詳細は、『*Performance Insight* インストールガイド』を参照してください。[オブジェクト/プロパティの管理]ビューを使用して選択したオブジェクトに固有のレポートを表示する方法などの[管理コンソール]の詳細は、『*Performance Insight* 管理ガイド』を参照してください。

レポートのパフォーマンスデータの参照

レポートに反映されるまでの時間は、データによって異なります。最初にデータが反映されるレポートは準リアルタイムレポートです。このレポートの場合は、インストールしてから2～3時間でデータを表示できるようになります。その他のレポート(前日のパフォーマンスの分析で始まるレポートも含む)はどれも、少なくとも丸1日分のデータがなければ結果を見られるようにはなりません。キャパシティプランニングと予測のレポートの場合、データはすぐに反映されますが、完全なベースラインにもとづく信頼性の高い予測を行うには約6週間かかります。

パッケージの削除

次の手順に従って ATM をアンインストールします。ATM を削除すると、ATM のデータ収集に使用されているデータパイプもすべて自動的に削除されます。

- 1 システムにログインします。UNIX システムでは `root` でログインします。
- 2 OVPI Timer を停止し、プロセスが終了するのを待ちます。
- 3 パッケージマネージャを開始します。パッケージマネージャの[ようこそ]ウィンドウが開きます。
- 4 [次へ]をクリックします。[OVPI パッケージの場所]ウィンドウが開きます。

- 5 [**アンインストール**] をクリックします。
- 6 [**次へ**] をクリックします。[OVPI レポートの配布解除] ウィンドウが開きます。
- 7 このサーバーから ATM レポートが配布されている場合は、[レポートの配布解除]、[アプリケーションサーバー名]、および [ポート] のデフォルトを受け入れます。このサーバーから ATM レポートが配布されていない場合は、チェックボックスをオフにして **手順 9** に進みます。
- 8 OVPI アプリケーションサーバー用のユーザー名とパスワードを入力します。
- 9 [**次へ**] をクリックします。[パッケージの選択] ウィンドウが開きます。
- 10 **ATM 3.0** の横にあるチェックボックスをクリックします。
- 11 [**OK**] をクリックします。
- 12 [**次へ**] をクリックします。[概要] ウィンドウが開きます。
- 13 [**アンインストール**] をクリックします。[進捗状況] ウィンドウが開き、削除プロセスが開始されます。インストール処理が完了すると、パッケージの削除完了メッセージが表示されます。
- 14 [**完了**] をクリックして [管理コンソール] に戻ります。
- 15 OVPI Timer を再起動します。

Windows では次の手順を実行します。

- a [**コントロール パネル**] > [**管理ツール**] > [**サービス**] を選択します。
- b サービスの一覧から [OVPI Timer] を選択します。
- c [操作] メニューから [**開始**] を選択します。

UNIX では、root で次のいずれかを実行します。

```
HP-UX: sh /sbin/ovpi_timer start
```

```
Sun: sh /etc/init.d/ovpi_timer start
```

分散システム

ATM を初めてインストールし、さらにこのパッケージを分散システムで実行する場合は、システムですべてのサーバーの設定を行う必要があります。この作業を始める前に、各サーバーに適切なパッケージがインストールされていることを確認してください。

中央サーバー用のパッケージ

- ATM 3.0、レポートの配布に使用
- Interface Reporting 4.0 以降、レポートの配布に使用
- Common Property Tables 3.0 以降、レポート（フォーム）の配布に使用

各サテライトサーバー用のパッケージ

- ATM 3.0
- Common Property Tables 3.0 以降
- 次のデータパイプのうち少なくとも 1 つ
 - Ascend ATM Datapipe 3.0
 - Fore ATM Datapipe 3.0
 - Cisco ATM Datapipe 3.0

▶ Cisco ATM Datapipe 3.0 には ATMifEntry Datapipe 1.0 が必要です。

- Stratacom ATM Datapipe 3.0
- Newbridge ATM Datapipe 3.0

通常は、中央サーバーではポーリングは行いません。システムの中央サーバーでポーリングを行うには、中央サーバーにデータパイプをインストールしてください。レポートをサテライトサーバーから配布することもできますが、ローカルのレポートを行う場合にのみ、サテライトサーバーでレポートを表示できます。

中央サーバーの設定

中央サーバーを設定するには、次の作業を行います。


- タスク 1: サテライトサーバー データベースとの接続をセットアップする
- タスク 2: trendcopy の pull コマンドを設定し trendtimer のエントリーを修正する

タスク 1: サテライトサーバー データベースとの接続をセットアップする

- 1 [管理コンソール] を起動します。
- 2 左下の [システム] アイコンをクリックします。[システム/ネットワークの管理] ペインが開きます。
- 3 [データベース] フォルダーを右クリックします。プロンプトが出たら [データベースの追加] を選択します。[データベースの追加ウィザード] が開きます。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 追加するデータベースのホスト名とポート番号を入力し、[次へ] をクリックします。
- 6 [概要] を確認します。各追加データベースにつき作業 4 および 5 を繰り返します。
- 7 データベースの追加の終了後、[完了] をクリックします。

タスク 2: trendcopy の pull コマンドを設定し trendtimer のエントリーを修正する

- 1 次のファイルを開きます。
`$DPIPE_HOME/scripts/ATM_trendsum_hourly.pro`
- 2 trendcopy コマンドを、各コマンドに各サテライトサーバーの正しいサーバー名が含まれるように修正します。
- 3 必要に応じて、さらにコマンドを追加します。
- 4 この手順は必須ではありません。インストールで、中央サーバーで割合データを使用できるようにする必要がある場合は、Ratm の copy コマンドのコメントを外します。

 ポーリングされた割合データを各サテライトサーバーから 1 時間ごとにコピーすると、サテライトサーバーと中央サーバーの間のトラフィック量が増加するほか、中央サーバーにおけるロード処理も増加します。

- 5 中央サーバーで割合データを使用する必要がなければ、アプリケーションサーバーマシンからの準リアルタイムおよびホットスポットレポートを配布解除してください。
- 6 中央サーバーでデバイスのポーリングをいっさい行わない場合は、trend_sum に対する呼び出しをコメントアウトします。
- 7 時間単位の trendtimer のエントリーを修正します。デフォルトは正時 40 分後です。この開始時間を、正時 25 分後に変更します。時間を変更すると、サテライトサーバーで要約処理が開始されたときに中央サーバーがサテライトサーバーからデータをコピーしようとするのを防ぐことができます。

サテライトサーバーの設定

次の手順に従って各サテライトサーバーを設定します。

- 1 `$DPIPE_HOME/lib/trendtimer_sched` ファイルを編集して **ATM_Daily.pro** を参照している行をコメントアウトし、時間単位のインタフェース集約をオフにします。
- 2 テーブルマネージャを使用して、すべての **ATM** テーブルの保持期間を最大 **2** 日に短縮します。
- 3 データパイプのポーリングポリシーを設定し、各ノードを **1** つのシステムおよび **1** 種類のデータパイプでしかポーリングできないようにします。
 - リモートポーラーを使用する場合は、複数のポーラー間でポーリングが重複しないように、またサテライトとポーラーの間でポーリングが重複しないようにします。
 - サテライトサーバーに **2** つ以上のリモートポーラーがある場合は、各ポーラーに対して個別のポーリングポリシーを作成し、ビューグループを使用してデバイスを区別します。
- 4 サテライトサーバーのシステムクロックが中央サーバーのシステムクロックと同期していることを確認します。

プロパティデータのレポートへの追加

ATM Report Pack で定義されている命名およびファイルレイアウトのフォーマットにもとづいて、**3**つのプロパティインポート ファイルを作成する必要があります。**3**つのファイルとは次のファイルです。

- ATM_Port_Property.dat
- ATM_PVC_Property.dat
- ATM_SVC_Property.dat

プロパティインポート ファイルを作成する方法は**3**通りあります。

- ネットワーク準備システムから必要なデータをエクスポートする
- **OVPI** から既存のプロパティデータをエクスポートする
- ファイルを独自に作成する

本章では、次の項目について説明します。

- プロパティインポート ユーティリティ
- プロパティインポート ファイルを独自に作成
- デフォルトの実行時刻の変更

プロパティインポート ユーティリティ

ATM Report Pack の準備処理は、レポートパックに付属しているプロパティインポート ユーティリティで行われます。このユーティリティを使用して、レポートに次の情報を追加します。

- カスタマ名とカスタマ ID
- 地域と地域 ID
- 入口および出口のサービス品質の値
- ピークセルレートと平均セルレートの値
- ポート速度

カスタマまたは地域に合ったレポートを作成するには、プロパティインポート ユーティリティを使用してカスタマと地域の情報をインポートする必要があります。エンタープライズネットワークを運用している場合は、企業の各部門に関する情報をインポートすることで、それぞれの部門を1人のカスタマのように処理することもできます。

サービス品質、セルレート、およびポート速度の値をインポートする必要があるかどうかは、使用しているデータパイプによって異なります。データパイプによってこれらの値が提供される場合は、プロパティインポート ユーティリティで値をインポートする必要はありません。ただし、インストールされているデータパイプではこの情報が提供されない場合や、提供されるデータが正しくない場合は、プロパティインポート ユーティリティを使用して正しい値をインポートして下さい。

OVPI では、使用率の計算に次の属性の値が使用されます。

- PCR
- SCR
- ポート速度

PCR と SCR の値は、ピーク時と平均のセル使用率を算出するために使用されます。ポート速度は、ポート使用率の算出に必要です。

ネットワーク準備システムからのデータのエクスポート

ネットワーク準備システムからデータをエクスポートする方法は、プロパティインポート ファイルを作成するもっとも簡単な方法です。この方法が可能であれば、必要な操作はほとんどありません。

- ▶ 準備システムからカスタマデータをエクスポートする場合は、この **dsi_target_name** および **dsi_table_key** が、コレクタ (**ee_collect** または **mw_collect**) の **dsi_target_name** および **dsi_table_key** と一致している必要があります。

ネットワーク準備システムからデータをエクスポートするには、次の手順に従います。

- 1 3つのプロパティインポート ファイルを作成し、各ファイルに適切な名前を付けます。
- 2 必要なフィールドを出力するスクリプトを作成します。
- 3 OVPI がデフォルトで検索するディレクトリにプロパティインポート ファイルを置きます。

毎日のインポート処理の実行時に、プロパティインポート ユーティリティによって、プロパティデータファイルからプロパティテーブルへ情報がインポートされます。

OVPI からのファイルのエクスポート

OVPI からプロパティデータをエクスポートする方法は、プロパティ情報がプロパティテーブルにすでに存在する場合にのみ有効です。初期状態では、エクスポートできるプロパティデータは存在しません。

エクスポート処理は自動的に実行されません。プロパティテーブルを更新するたびに手動で実行するか、`trendtimer_sched` ファイルにエントリーを作成します。エクスポート処理が実行されると、タブ区切りのタイムスタンプ付きのプロパティデータファイルが生成され、デフォルトでは **PropertyData** ディレクトリに保存されます。その後、ファイルをワードパッドやスプレッドシートアプリケーション (**Microsoft Excel** など) で編集することができます。

- ▶ データをスプレッドシートプログラムで開く場合は、ファイルを適切なタブ区切りフォーマットで保存するようにしてください。

PropertyData ディレクトリにある元のプロパティインポート ファイルを編集し、それをインポートして更新することはできません。データパイプで新しい要素が検出され、プロパティテーブルの特定フィールドが更新されるため、元のプロパティインポート ファイルは失われてしまいます。

エクスポート手順

OVPI からプロパティ情報をエクスポートするには、次の手順に従います。

- 1 システムレベルのコマンドプロンプト行に移動します。
- 2 `{DPIPE_HOME}/scripts` ディレクトリで次のように入力します。

```
trend_proc -f ATM_exportdata.pro
```

エクスポートプログラムによって次の処理が実行されます。

- 定義ファイルが読み込まれ、プロパティテーブルのどの列をエクスポートするかが特定されます。
- **K_atm_pvc**、**K_atm_port**、および **K_atm_svc** から、エクスポートファイルの保存先ディレクトリへ、データがエクスポートされます。

ファイルは、各オブジェクトごとに行が作成されます。オブジェクトが検出されなかった場合 (つまり、ポーリングサイクルが完了しておらず、プロパティテーブルが空の場合) は、ファイルは空になります。

- 次のタブ区切りのプロパティデータファイルが生成され、デフォルトのディレクトリに保存されます。

- `ATM_PVC_Property.dat`. タイムスタンプ

- `ATM_Port_Property.dat`. タイムスタンプ

- `ATM_SVC_Property.dat`. タイムスタンプ

- 3 この後の「**プロパティデータファイルの編集**」のガイドラインに従って、これらのファイルを編集します。
- 4 OVPI がデフォルトで検索するディレクトリにプロパティデータファイルを置きます。

```
DPIPE_HOME/data/PropertyData
```

- 5 インポート処理は、スケジュールよりも前に手動で実行することもできますし、自動的に実行されるまで待つこともできます。処理を手動で実行する場合は、`{DPIPE_HOME}/scripts` ディレクトリで次のコマンドを実行します。

```
trend_proc -f ATM_importdata.pro
```

プロパティデータファイルの編集

プロパティデータファイルを編集する際は、次のガイドラインに従ってください。

- フォーマットで指定されたすべての列を使用する
- 列の順序は変更しない
- 引用符は使用しない
- NULL 値は使用しない
- プロパティデータの **dsi_target_name** および **dsi_table_key** の列は、プロパティテーブルの **si_target_name** および **dsi_table_key** の値と必ず同じにする

▶ たとえば、プロパティファイルで **dsi_target_name** が **atmSwitch2**、**dsi_table_key** の値が **145** である場合は、プロパティテーブルでも同様に **dsi_target_name** が **atmSwitch2**、**dsi_table_key** の値が **145** でなければなりません。これらが一致していないと、プロパティテーブルに新しい行と **keyid** 値が挿入されてしまいます。

- **prop_PortName** は、ポートの統計情報のためのデータ収集時にデータパイプによってプロパティテーブルに挿入される **dsi_table_key** と同じ値でなければならない
- ***_id** 値の一部またはすべてを使用しない場合は、値を **-2** (デフォルト) に設定する (たとえば、**region_id** を使用しない場合は、ファイルで **region_id** の値を **-2** に設定する)
- ファイルの命名規則は **ATM_element_Property.dat** を使用する

ファイルは次のディレクトリに保存してください。

{DPIPE_HOME}/data/PropertyData

プロパティインポート ファイルを独自に作成

ネットワーク準備データベースからエクスポートできない場合や、OVPI からエクスポートする適切なデータがない場合は、ファイルを手動で作成して適切なディレクトリに保存する必要があります。このファイルの作成にはどのようなスプレッドシートアプリケーションを使用してもかまいません。ただし、結果は **ASCII** タブ区切りのファイルで保存してください。

ATM Report Pack には、**PropertyData** ディレクトリにサンプルのプロパティデータファイルが含まれています。プロパティインポート ファイルを独自に作成する場合は、これらのサンプルファイルを参考にしてください。サンプルファイルの列は、左から右の順に次のようになっています。

- 1 **dsi_target_name**
- 2 **dsi_table_key**
- 3 **prop_description**
- 4 **prop_PortSpeed**
- 5 **prop_PortType**
- 6 **prop_cust_id**

- 7 prop_region_id
- 8 prop_region_name
- 9 prop_customer_name

サンプルファイルに地域とカスタマの列がある場合は、パフォーマンスデータを地域およびカスタマ単位で表示できます。

必要な使用率の値

OVPI では、さまざまな使用率の値がなければ使用率を計算することはできません。データパイプによってこれらの値が提供されない場合や、データパイプで提供された値が正しくない場合は、プロパティインポート ファイルにこれらの値を追加してファイルをインポートする必要があります。

PVC 使用率は、次の値がなければ計算できません。

- prop_SCR
- prop_RevSCR
- prop_PCR
- prop_RevPCR

ポート使用率は、prop_PortSpeed 値がなければ計算できません。

既存の PVC、ポート、または SVC のプロパティを修正することはできませんが、**dsi_target_name** および **dsi_table_key** の値は修正しないでください。これらの値は、PVC、ポート、または SVC の識別に使用されるためです。これらの値を変更した場合は、プロパティテーブルの既存の値と一致なくなり、SQL でスクリプトが更新され、プロパティテーブルの既存の行が修正される代わりに新しい行が追加されてしまいます。

ファイルフォーマットと予約値

ここでは、次のファイルのフォーマットについて説明します。

- ATM_PVC_Property.dat
- ATM_Port_Property.dat
- ATM_SVC_Property.dat

ATM_PVC_Property.dat

次の表に、PVC プロパティインポート ファイル内の列の順序と、各列の値の定義を示します。

列	定義
dsi_target_name	デバイス名または IP アドレス
dsi_table_key	デバイスインデックス (デバイスのインデックス付けまたは要約の方法にもとづく一意の値)
prop_description	カスタマによる定義が可能なフィールド (des_descr で使用)
prop_ATMQoSNumber	データベース値: 整数値 ReportPack で使用 入口 QoS のクラス名の列挙値 -2 = 未割り当ての QoS (デフォルト) 1 = CBR 2 = VBR-RT 3 = VBR-NRT 4 = ABR 5 = UBR
prop_RevATMQoSNumber	データベース値: 整数値 ReportPack で使用 (値が設定されていない場合は ATMQoSNumber の値を使用) 出口 QoS のクラスの列挙値 -2 = 未割り当ての QoS (デフォルト) 1 = CBR 2 = VBR-RT 3 = VBR-NRT 4 = ABR 5 = UBR
prop_SCR	データベース値: 浮動小数点型 ReportPack で使用 (妥当な場合) 出口方向の平均セルレート
prop_RevSCR	データベース値: 浮動小数点型 ReportPack で使用 (妥当な場合) (値が設定されていない場合は SCR の値を使用) 入口方向の平均セルレート
prop_PCR	データベース値: 浮動小数点型 ReportPack で使用 (妥当な場合) 出口方向のピークセルレート

列	定義
prop_RevPCR	データベース値：浮動小数点型 ReportPack で使用 (妥当な場合) (値が設定されていない場合は PCR の値を使用) 入口方向のピークセルレート
prop_VPI	データベース値：浮動小数点型 仮想パス識別子
prop_VCI	データベース値：浮動小数点型 仮想チャネル識別子
prop_ATMPVCNumber	データベース値：整数値 1 - ATM チャネル 2 = ATM パス -2 = 不明 (デフォルト)
prop_PortSpeed	PVC 端点では不要 データベース値：浮動小数点型 入口方向のポート速度 (ビット数 / 秒)
prop_PortType	データベース値：varchar (128) 入口方向のポートの種類 (UNI、NNI、ICI など)
prop_PortName	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用 (データパイプによって提供) PVC 端点があるポート (この値は、PVC 端点がある同じデバイスとポートに関連付けられている K_atm_port テーブルの prop_PortName 値と一致している必要があります)
prop_PortDescription	データベース値：varchar (128) ユーザーによる定義が可能
prop_cust_id	データベース値：整数値 ReportPack で使用 カスタマごとの一意の整数値 (初期状態ではデフォルト値の -2)

列	定義
prop_region_id	データベース値：整数値 ReportPack で使用 地域ごとの一意の整数値（初期状態ではデフォルト値の -2）
prop_region_name	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用 region_id 値に関連付けられた地域名
customer_name	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用 cust_id に関連づけられたカスタマ名

ATM_Port_Property.dat

次の表に、ポートのプロパティデータファイル内の列の順序と、各列の値の定義を示します。

列	定義
dsi_target_name	デバイス名または IP アドレス
dsi_table_key	デバイスインデックス（デバイスのインデックス付けまたは要約の方法にもとづく一意の値）
prop_description	カスタマによる定義が可能なフィールド（des_descr で使用）
prop_PortSpeed	データベース値：浮動小数点型 ReportPack で使用 入口方向のポート速度（ビット数/秒）
prop_PortType	データベース値：varchar (128) 入口方向のポートの種類（UNI、NNI、ICI など）
prop_PortName	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用（データパイプによって提供） ポートの値（この値は前述の dsi_table_key と一致している必要があります）
prop_PortDescription	データベース値：varchar (128) ユーザーによる定義が可能

列	定義
prop_cust_id	データベース値：整数値 ReportPack で使用 カスタマごとの一意の整数値（初期状態ではデフォルト値の -2）
prop_region_id	データベース値：整数値 ReportPack で使用 地域ごとの一意の整数値（初期状態ではデフォルト値の -2）
prop_region_name	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用 region_id 値に関連付けられた地域名
prop_customer_name	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用 cust_id に関連づけられたカスタマ名

ATM_SVC_Property.dat ファイル

次の表に、SVC のプロパティデータファイル内の列の順序と、各列の値の定義を示します。

列	定義
dsi_target_name	デバイス名または IP アドレス
dsi_table_key	デバイスインデックス（デバイスのインデックス付けまたは要約の方法にもとづく一意の値）
prop_description	カスタマによる定義が可能なフィールド（des_descr で使用）
prop_PortType	データベース値：varchar (128) 入口方向のポートの種類（UNI、NNI、ICI など）
prop_PortName	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用（データパイプによって提供） ポートの値（この値は前述の dsi_table_key と一致している必要があります）
prop_PortDescription	データベース値：varchar (128) ユーザーによる定義が可能

列	定義
prop_cust_id	データベース値：整数値 ReportPack で使用 カスタマごとの一意の整数値（初期状態ではデフォルト値の -2）
prop_region_id	データベース値：整数値 ReportPack で使用 地域ごとの一意の整数値（初期状態ではデフォルト値の -2）
prop_region_name	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用 region_id 値に関連付けられた地域名
prop_customer_name	データベース値：varchar (128) ReportPack で使用 cust_id に関連づけられたカスタマ名

予約値

region_id および cust_id の特定の値は予約されています。次の表に、その予約されている値を示します。

列名	予約値
region_id	-2、-1、0
cust_id	-2、-1、0

インポート手順

プロパティデータファイルから OVPI のプロパティテーブルに情報をインポートするには、インポート処理を手動で実行するか、自動的に行われます。インポート処理を手動で実行する場合は、次の手順に従います。

- 1 {DPIPE_HOME}/scripts ディレクトリに移動します。
- 2 **trend_proc -f ATM_importdata.pro** と入力してインポートを実行します。

インポート処理は午前 4 時に自動的に実行されます。デフォルトの時刻を使用しない場合は、毎日のインポート処理が実行される時刻を変更することができます。その場合は、[41 ページの「デフォルト実行時刻の変更」](#)を参照してください。

インポート処理が実行されると、ee_collect が PropertyData ディレクトリにアクセスし、プロパティデータファイルを検索します。ディレクトリ内にファイルがない場合は、インポート処理は中断されます。読み込むファイルがある場合は、一時的プロパティデータテーブルのセットが

生成されます。これらのテーブルは1日ごとに置き換えられます。一時的プロパティデータテーブルが作成されると、SQL更新スクリプトはこの一時的プロパティデータテーブルの値を使用し、恒久的プロパティテーブルを更新します。

プロパティテーブルが更新されると、既存の情報が上書きされるか、新しい情報が追加されます。一時的プロパティデータテーブルの行が恒久プロパティテーブルの行と完全に一致する場合は、更新スクリプトによってプロパティテーブルの行が上書きされます。一時的テーブルの行がプロパティテーブルの対応する行と一致しない場合は、次の2つの処理が行われます。

- データパイプ (特に `ee_collect`) によってプロパティテーブルに新しい行が追加されます。
- 更新スクリプトによって行に値が追加されます。

古いプロパティデータファイルは `Archive` ディレクトリに移動され、`PropertyData` ディレクトリは空になります。この `PropertyData` ディレクトリは、`OVPI` からファイルをエクスポートするまで空のままです。

プロパティデータテーブルとプロパティテーブル

次の表に、各インポートファイルで更新されるプロパティデータテーブルとプロパティテーブルを示します。

プロパティデータファイル	プロパティデータテーブル	プロパティテーブル
ATM_PVC_Property.dat	Ratm_pvc_property	K_atm_pvc K_atm_pvc_exec K_atm_pvc_exec_region
ATM_Port_Property.dat	Ratm_port_property	K_atm_port K_atm_port_exec K_atm_port_exec_region
ATM_SVC_Property.dat	Ratm_port_svc	K_atm_svc K_atm_svc_exec K_atm_svc_exec_region

デフォルト実行時刻の変更

自動インポート処理のデフォルトの実行時刻は午前4時です。このデフォルトの設定を変更するには、次の手順に従います。

- 1 `OVPI/lib` ディレクトリにある `trendtimer_sched` ファイルを開きます。
- 2 `ATM_importdata.pro` コマンドを実行する `trend_proc` の間隔とオフセットを定義する行で、オフセットインジケータ (プラス記号 (+) の後の数字) を変更します。たとえば、`04:00` を `18:00` に変更すると、インポートユーティリティは毎日午後6時に実行されるようになります。

変更フォームの使用

ATM 3.0 には、次の変更フォームが含まれています。

- PVC セルパラメータの更新
- PVC QoS パラメータの更新
- ポート情報の更新

Common Property Tables で認識されていないカスタマまたは場所に PVC やポートを割り当てることはできません。[**新規カスタマの作成**] フォームと [**新規場所の作成**] フォームを使用するか、Common Property Tables に付属のバッチモードのプロパティインポートを使用して、Common Property Tables にカスタマと場所を追加する必要があります。詳細は『*Common Property Tables 3.5 ユーザーガイド*』を参照してください。


PVC セルパラメータの更新

PVC セルパラメータを更新するには、次の手順に従います。

- 1 [HP OpenView]>[Performance Insight]>[**管理コンソール**] を選択します。
- 2 [**オブジェクト**] をクリックし、更新するインタフェースに移動して選択します (デバイスを選択すると、そのデバイス上のすべてのインタフェースを更新します)。[PVC セルパラメータの更新] フォームが [**オブジェクト固有のタスク**] の下に表示されます。
- 3 [**PVC セルパラメータの更新**] をダブルクリックします。フォームが開きます。
- 4 セルパラメータを変更します。変更を保存する場合は [**適用**] を、変更を保存してフォームを閉じる場合は [**OK**] を、変更を保存せずにフォームを閉じる場合は [**キャンセル**] をクリックします。

C:\O\VP\packages\ATM\ATM.ap\ATM_Forms\Update_PVC_Cell_Parameters.frep
□ □ ×

ATM



PVC セルパラメータの更新

このフォームを使用して、ATM セルに関連する情報を更新できます。

VPI - PVC 仮想パス識別子	VCI - PVC 仮想チャネル識別子	SCR - 出口方向の平均セルレート	RevSCR - 入口方向の平均セルレート
PCR - 出口方向のピークセルレート	RevPCR - 入口方向のピークセルレート	MCR - 入口方向の最小セルレート	RevMCR - 出口方向の最小セルレート
MBS - 最大パケットサイズ	CLR - セル損失率	CDVT - セル遅延変動許容値	CTD - セル転送遅延

PVC の現在のセルパラメータ

ターゲット名	PortName	VPI	VCI	SCR	RevSCR	PCR	RevPCR	MCR	R
Router5	122	0.00	1.00	1,000.00	1,000.00	0.00	0.00	0.00	
Router5	146	0.00	1.00	1,000.00	1,000.00	0.00	0.00	0.00	
Router5	147	0.00	1.00	1,000.00	1,000.00	0.00	0.00	0.00	
Router5	149	0.00	1.00	1,000.00	1,000.00	0.00	0.00	0.00	
Router5	170	0.00	1.00	1,000.00	1,000.00	0.00	0.00	0.00	
Router6	0	0.00	1.00	700.00	700.00	4,294,967,295.00	4,294,967,295.00	0.00	
Router6	4	0.00	1.00	700.00	700.00	4,294,967,295.00	4,294,967,295.00	0.00	

SCR	<input type="text" value="1,000.00"/>	RevSCR	<input type="text" value="1,000.00"/>	PCR	<input type="text" value="0.00"/>
RevPCR	<input type="text" value="0.00"/>	MCR	<input type="text" value="0.00"/>	RevMCR	<input type="text" value="0.00"/>
MBS	<input type="text" value="0.00"/>	CLR	<input type="text" value="0.00"/>	CDVT	<input type="text" value="0.00"/>
CTD	<input type="text" value="0.00"/>				

警告 - [適用] または [OK] を押すと、すべてのパラメータが更新されます。更新しない場合は [キャンセル] ボタンを押してください。


PVC QoS パラメータの更新

QoS パラメータを更新するには、次の手順に従います。

- 1 [HP OpenView]>[Performance Insight]>[管理コンソール] を選択します。
- 2 [オブジェクト] をクリックし、更新するインタフェースに移動して選択します。デバイスを
選択すると、そのデバイス上のすべてのインタフェースを更新します。[オブジェクト固有のタ
スク] の下にフォームが表示されます。
- 3 [PVC QoS パラメータの更新] をダブルクリックします。フォームが開きます。
- 4 QoS パラメータを変更します。変更を保存する場合は [適用] を、変更を保存してフォームを
閉じる場合は [OK] を、変更を保存せずにフォームを閉じる場合は [キャンセル] をクリック
します。

C:\OVPI\packages\ATM\ATMap\ATM_Forms\Update_PVC_QoS_Parameters.trep

ATM



ATM PVC QoS パラメータの更新

このフォームを使用して、ATM の QoS パラメータを更新できます。

VPI	- ATM PVC 仮想パス識別子	VCI	- ATM PVC 仮想チャネル識別子
PortName	- PVC 端点に関連付けられたポート	pvc_id	- 2つの PVC 端点を接続する
IDATMQoS	- 入力側 QoS のクラス名	RevATMQoS	- 出力側 QoS のクラス名
ATMQoSNumber	- 列挙クラス名の値 [入力側]	RevATMQoSNumber	- 列挙クラス名の値 [出力側]

現在の ATM PVC QoS パラメータ

デバイス	PortName	VPI	VCI	ATMQoS	RevATMQoS	ATMQoSNumber	RevATMQoSNum
Router5	122	0.00	1.00	CBR	CBR	1.00	1.00
Router5	146	0.00	1.00	CBR	CBR	1.00	1.00
Router5	147	0.00	1.00	CBR	CBR	1.00	1.00
Router5	149	0.00	1.00	CBR	CBR	1.00	1.00
Router5	170	0.00	1.00	CBR	CBR	1.00	1.00
Router6	0	0.00	1.00	CBR	CBR	1.00	1.00

ATMQoS	<input type="text" value="CBR"/>	RevATMQoS	<input type="text" value="CBR"/>
ATM QoS 番号	<input type="text" value="1"/>	RevATMQoSNumber	<input type="text" value="1"/>
PVC ID	<input type="text" value="-2"/>		

警告 - [適用] または [OK] を押すと、すべてのパラメータが更新されます。更新を実行しない場合は [キヤ
ンセル] ボタンを押してください。

OK 適用 キャンセル

ポート情報の更新

ポート情報を更新するには、次の手順に従います。

- 1 [HP OpenView]>[Performance Insight]>[管理コンソール] を選択します。
- 2 [オブジェクト] をクリックし、更新するインタフェースか、更新する 1 つまたは複数のインタフェースのデバイスに移動して選択します。[オブジェクト固有のタスク] の下に [ポート情報の更新] フォームが表示されます。
- 3 [ポート情報の更新] をダブルクリックします。フォームが開きます。
- 4 ポート情報を変更します。変更を保存する場合は [適用] を、変更を保存してフォームを閉じる場合は [OK] を、変更を保存せずにフォームを閉じる場合は [キャンセル] をクリックします。

C:\OVP\packages\ATM\ATM.ap\ATM_Forms\Update_Port_Information.frep
⏏

ATM

ポート情報の更新

このフォームを使用して、ATM ポートの情報を更新できます。

ポート名	PVC 端点が存在する
ポートポートの説明	ポートの説明
ポート ID	この論理ポートが設定されている
ポート番号スロット ID	この論理ポートが設定されている
スロット番号ポートタイプ	入力方向のポートタイプ [UNI, NNI, ICI など]
RevPortType	出力方向のポートタイプ [UNI, NNI, ICI など]
ポート速度	入力方向のポート速度 (bps)

現在の ATM ポートの設定

ターゲット名	PortName	PortDescription	PortID	SlotID	PortType	RevPortType	PortSpeed
Router5	114		0.00	0.00			500,000.00
Router5	115		0.00	0.00			500,000.00
Router5	122		0.00	0.00			500,000.00
Router5	146		0.00	0.00			500,000.00
Router5	147		0.00	0.00			500,000.00
Router5	149		0.00	0.00			500,000.00
Router5	170		0.00	0.00			500,000.00

ポート名	<input type="text" value="114"/>	ポートの説明	<input type="text"/>
ポート ID	<input type="text" value="0.00"/>	スロット ID	<input type="text" value="0.00"/>
ポートタイプ	<input type="text"/>	RevPort タイプ	<input type="text"/>
		ポート速度	<input type="text" value="500,000.00"/>

警告 - [適用] または [OK] を押すと、すべてのパラメータが更新されます。データを更新しない場合は [キャンセル] ボタンを押してください。

OK 適用 キャンセル

PVC レポート

PVC フォルダーには次のレポートが含まれています。

- 可用性
- キャパシティプランニング : PCR 使用率 (日次と月次の 2 つのレポート)
- キャパシティプランニング : SCR 使用率 (日次と月次の 2 つのレポート)
- カスタマ別エグゼクティブサマリー (日次と月次の 2 つのレポート)
- 地域別エグゼクティブサマリー (日次と月次の 2 つのレポート)
- 端点の設定 (日次と月次の 2 つのレポート)
- 予測 : PCR 使用率
- 予測 : SCR 使用率
- ホットスポット (日次と月次の 2 つのレポート)
- クイックビュー (日次、月次、準リアルタイムの 3 つのレポート)
- スナップショット (日次、月次、準リアルタイムの 3 つのレポート)
- トップテン

この後のページで、次のレポートのサンプルを紹介します。

- キャパシティプランニング : PCR 使用率 - 日次
- ホットスポット - 日次
- 可用性
- カスタマ別エグゼクティブサマリー : 日次
- トップテン
- クイックビュー - 準リアルタイム
- 予測 : PCR 使用率

ATM PVC端点のPCR使用率のキャパシティプランニング

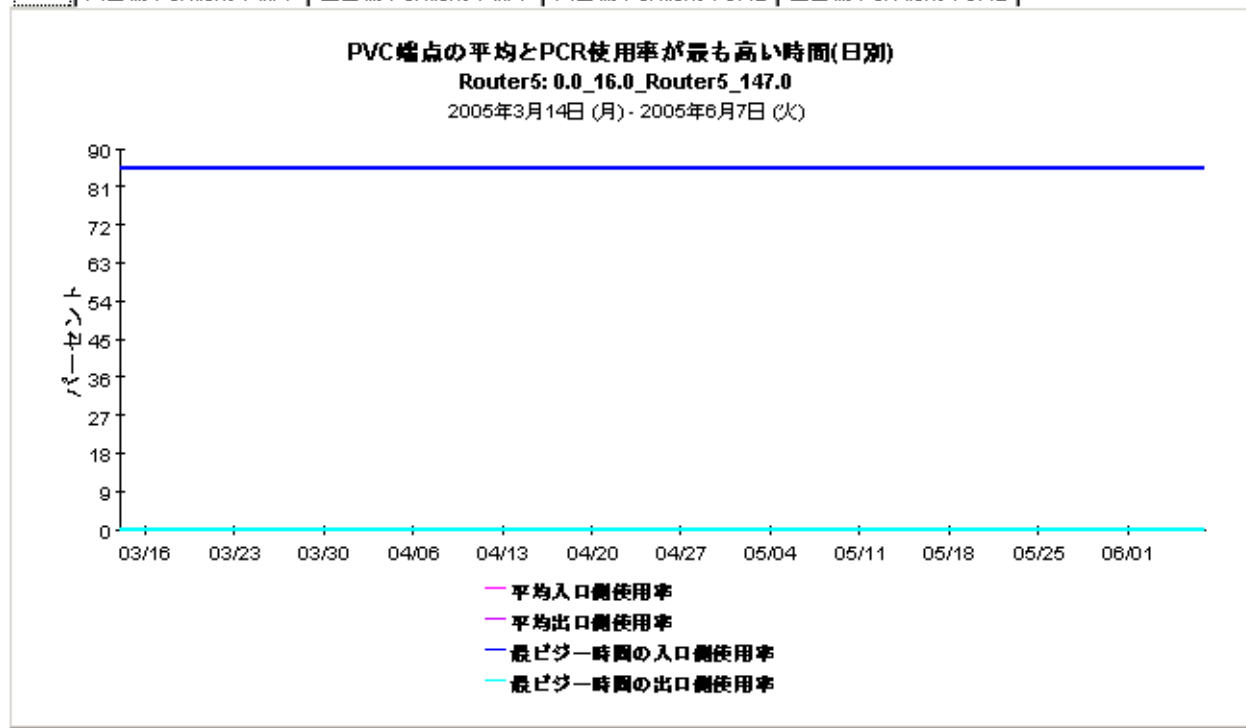


最高権限責任者(CIO)、ネットワーク計画者、ネットワーク管理者のために設計されたキャパシティプランニングレポートは、30日予測に基づいて最も過剰使用されるPVC端点と最も過少使用されるPVC端点の詳細を表示します。ベースライン値と予測値は、その日の最ピーク時間に基づいています。これらのレポートは、負荷バランスを示すことができるため、追加投資を行わずにサービスレベルを向上させることができます。

使用率の30日予測値>60%の過剰使用PVC端点 ピークセルレート(PCR)に基づいた使用率

デバイス	PVC	PVC 詳細	QoS	PVC タイプ
Router5	0.0_14.0_Router5_147.0	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	0.0_102.0_Router5_149.0	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	0.0_14.0_Router5_146.0	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	0.0_203.0_Router5_146.0	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	119.0_104.0_Router5_115.0	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	0.0_18.0_Router5_149.0	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel

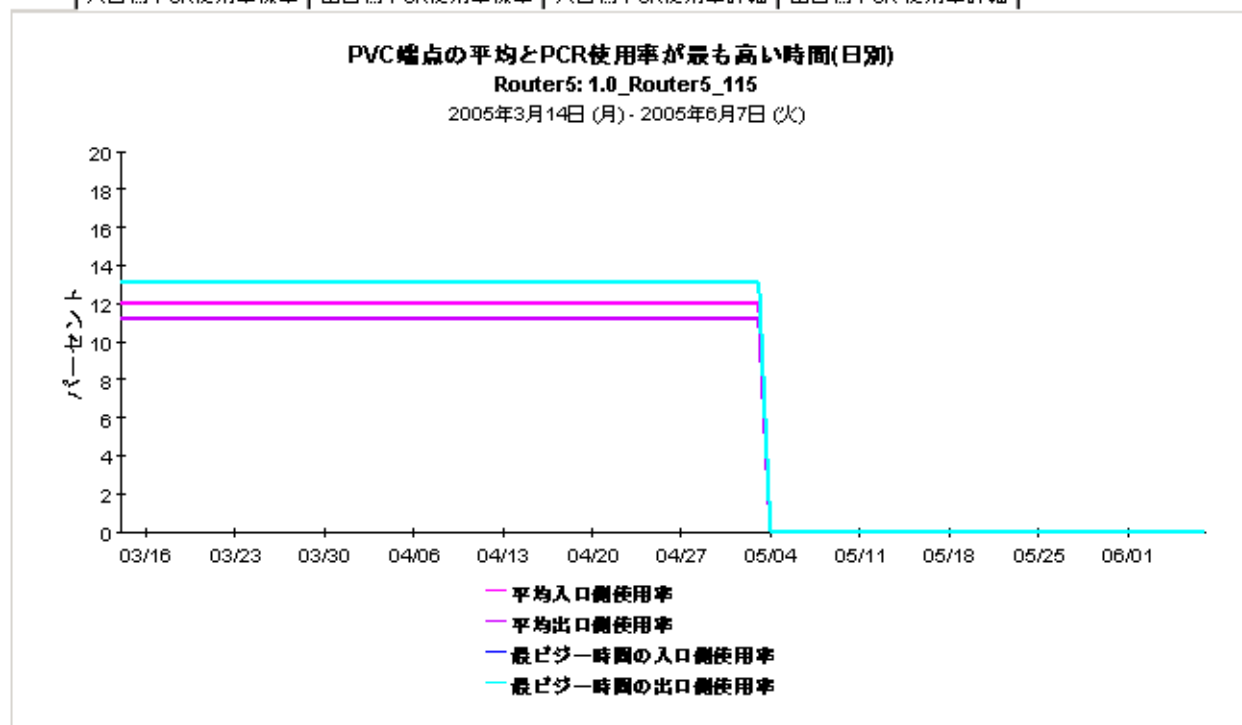
基本 | 入口側 PCR使用率標準 | 出口側 PCR使用率標準 | 入口側 PCR使用率詳細 | 出口側 PCR使用率詳細



使用率の30日予測値<10%の過少使用PVC端点
ピークセルレート(PCR)に基づいた使用率

デバイス	PVC	PVC 詳細	QoS	PVC タイプ
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel
Router5	1.0_Router5_115	PVC Description is Not Defined	ATM QoS Not Defined	ATM Channel

基本 | 入口側 PCR使用率標準 | 出口側 PCR使用率標準 | 入口側 PCR使用率詳細 | 出口側 PCR 使用率詳細 |



ATM PVC端点のホットスポット



ホットスポットレポートは、ネットワーク管理者およびネットワークオペレーションセンターのメンバーに、前日にしきい値条件を超えたATM PVC端点のリストを表示します。しきい値を超えたPVC端点は、例外の総数によってランク付けされます。ドリルダウンレポートは、潜在的な問題箇所を特定するために取得したデータを表示します。例外しきい値: 入口側 SCR使用率>100% 出口側 SCR使用率>100% 入口側 PCR使用率>60% 出口側 PCR使用率>60% 入口側のドロップしたセルのパーセンテージ>1%

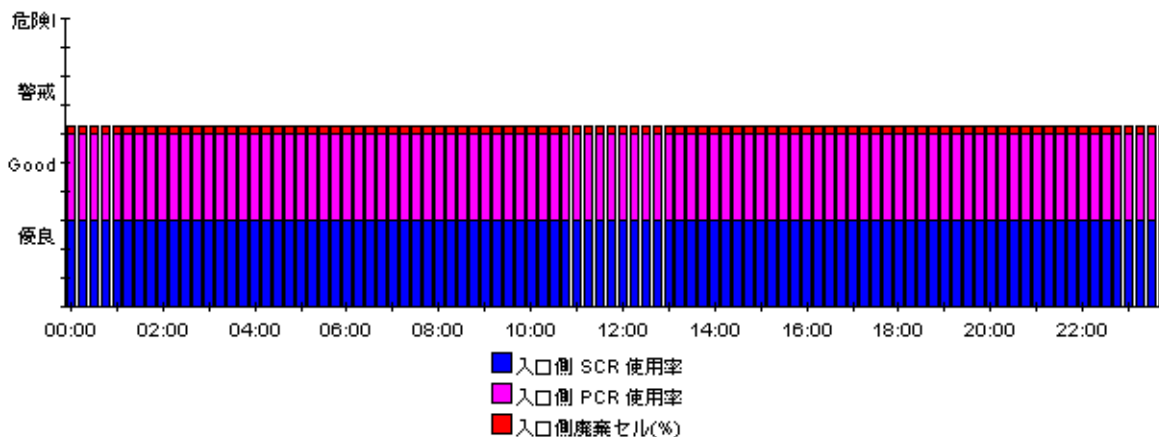
前日のPVC端点のホットスポット 各統計ごとにその日の例外数を表示 - 例外総数でソート

2005年6月7日 (火)

デバイス	PVC	PVC 詳細	QoS	PVC タイプ	例外総数
Router5	119.0_104.0_Router5_115.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00
Router5	0.0_5.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00
Router5	0.0_14.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00
Router5	0.0_15.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00
Router5	0.0_16.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00
Router5	0.0_18.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00
Router5	0.0_203.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	96.00

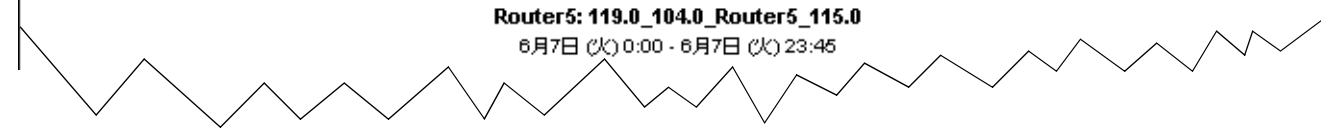
サービスのPVC 入口側グレード Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0

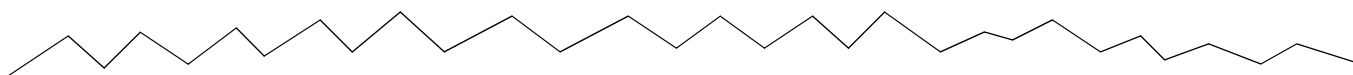
6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45



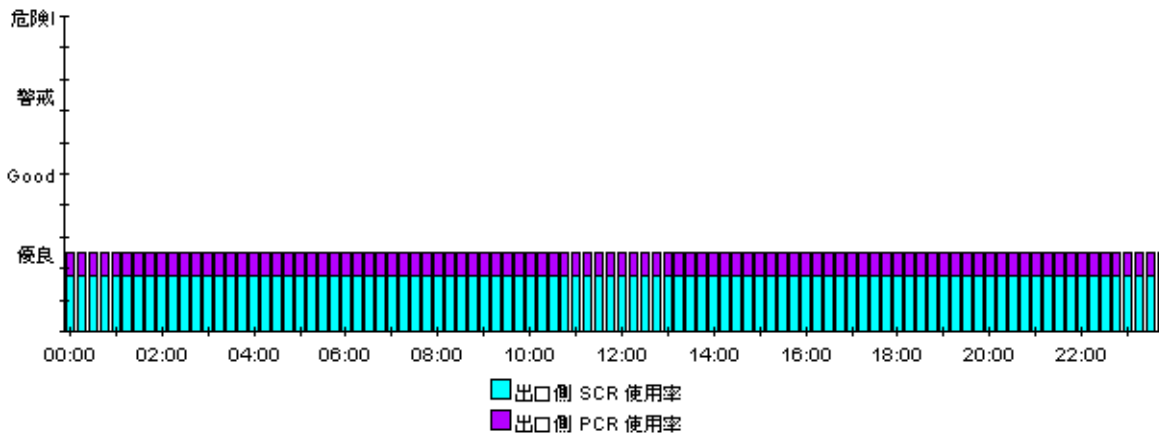
サービスのPVC 出口側グレード Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0

6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45

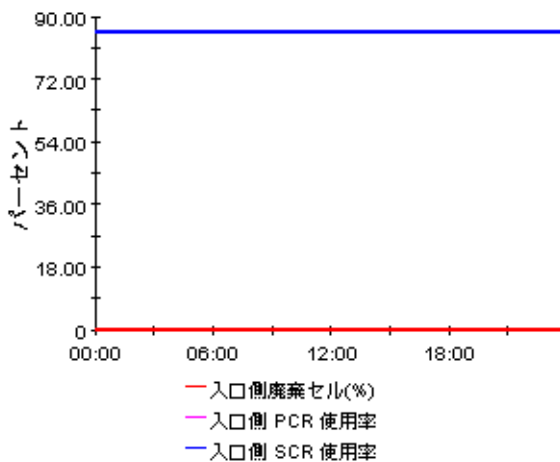




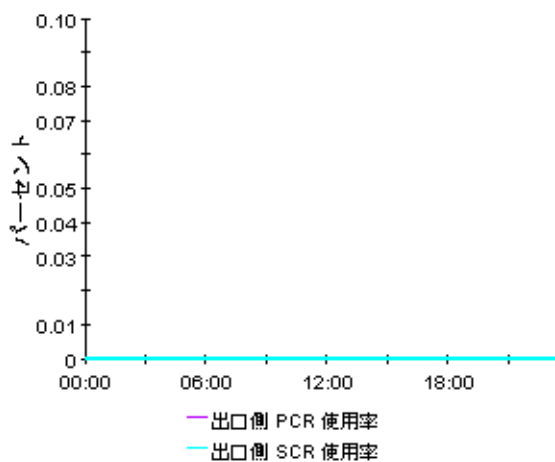
サービスのPVC 出口側グレード
Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45



入口側 SCRとPCR使用率
Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45



出口側 SCRとPCR使用率
Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45



例外の詳細 - 統計の例外値
Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0
6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45

例外期間	入口側 SCR 使 用率	入口側 PCR 使 用率	入口側廃棄セル (%)	出口側 SCR 使用 率	出口側 PCR 使 用率
火 6 07 12:00 午前	85.50	85.50	0.00	0.00	0.00
火 6 07 12:15 午前	85.50	85.50	0.00	0.00	0.00
火 6 07 12:30 午前	85.50	85.50	0.00	0.00	0.00
火 6 07 12:45 午前	85.52	85.52	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:00 午前	85.48	85.48	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:15 午前	85.49	85.49	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:30 午前	85.44	85.44	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:45 午前	85.56	85.56	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:00 午前	85.44	85.44	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:15 午前	85.48	85.48	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:30 午前	85.53	85.53	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:45 午前	85.51	85.51	0.00	0.00	0.00

ATM PVC Endpoint Availability



The ATM PVC Endpoint Availability report informs executives, network managers, end users, and customers on daily and monthly PVC endpoint availability. Select a PVC endpoint from the table to see availability over the previous day.

Daily PVC Endpoint Availability

Sun, Dec 2, 2001

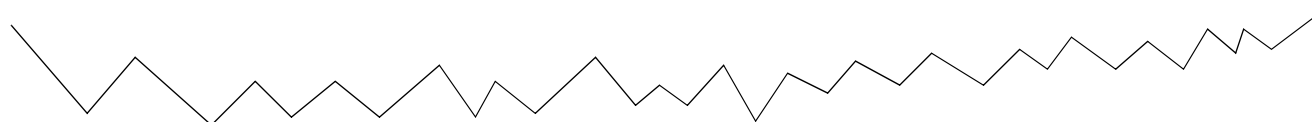
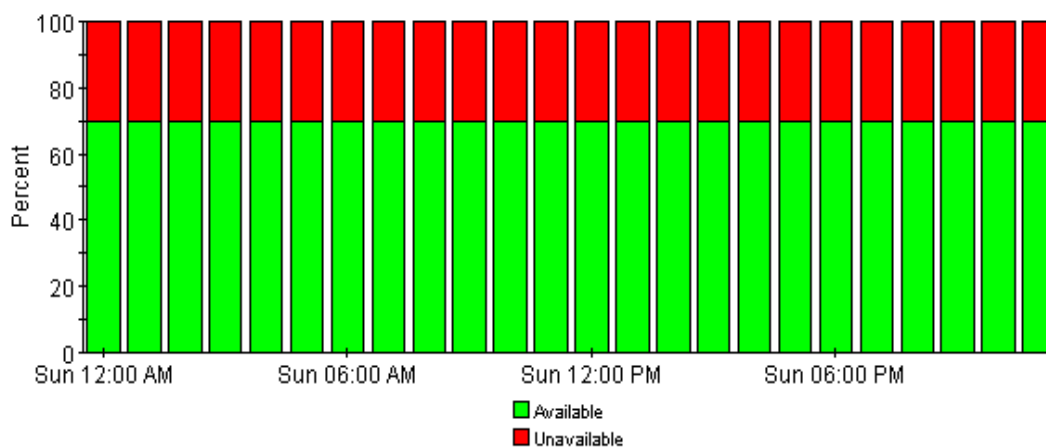
Device	PVC	PVC Description	QoS	PVC Type	Availability
ATMSwitch2	65-0-63	New York to San Francisco	ABR	ATM Channel	70.00
ATMSwitch1	124-0-34	Torrance to Dallas	ABR	ATM Channel	86.11



Hourly PVC Endpoint Availability

ATMSwitch2: 65-0-63

Sun, Dec 2 12:00 AM - Sun, Dec 2 11:00 PM



カスタマ別ATM PVCのエグゼクティブサマリー(日別)



このレポートは、最高財務責任者(CFO)、最高情報責任者(CIO)およびその他の経営者に自社のATM PVCのパフォーマンスの概要を表示します。各チャートにはカスタマごとにすべてのPVCを集計した主要メトリックが表示されます。QoSタイプ別の総ボリューム、使用率、ドロップしたセルのパーセンテージなど、パフォーマンスの重要な指標が表示されます。

カスタマサマリー(日別)

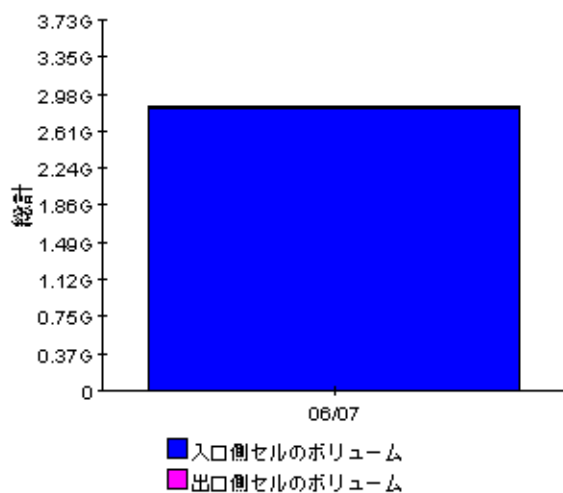
2005年6月7日(火)

Summary for All Acme PVCs

Summary for All All Customers PVCs

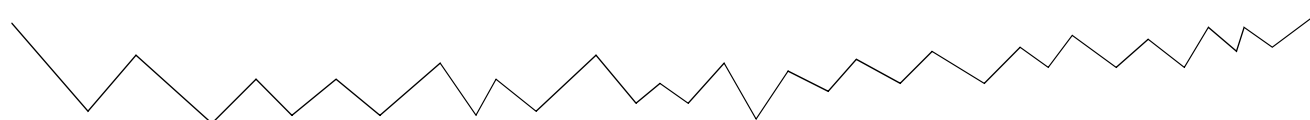
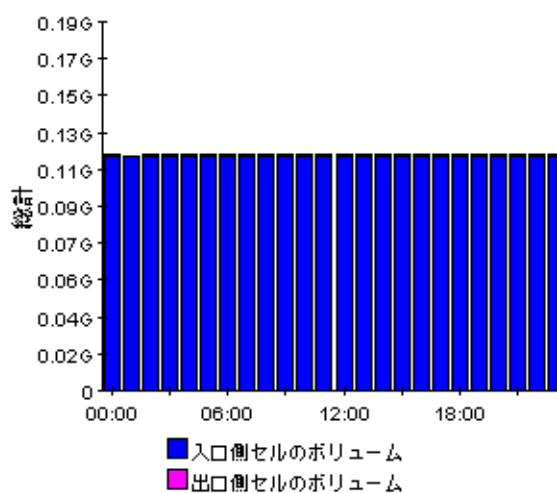
セルボリューム(日別)

2005年6月7日(火) - 2005年6月7日(火)



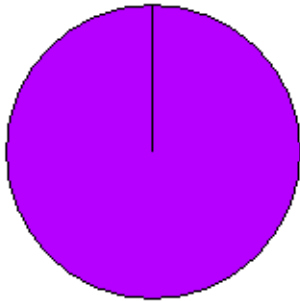
セルボリューム(時間別)

6月7日(火) 0:00 - 6月7日(火) 23:00



QoS別入口側ボリュームのパーセンテージ日別

2005年6月7日 (火)



- (0.0%) 入口側 CBR セル
- (0.0%) 入口側 VBR-RT セル
- (0.0%) 入口側 VBR-NRT セル
- (0.0%) 入口側 ABR セル
- (0.0%) 入口側 UBR セル
- (100.0%) 入口側未定義 QoS セル

QoS別出口側ボリュームのパーセンテージ日別

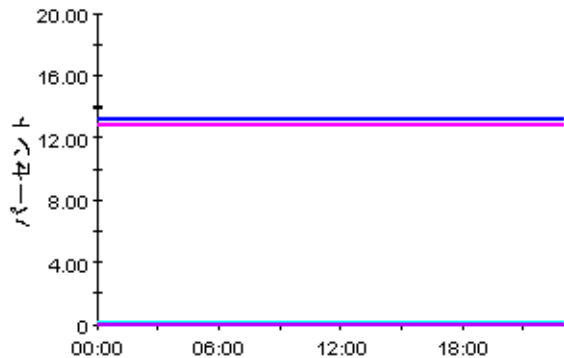
2005年6月7日 (火)



- (0.0%) 出口側 CBR セル
- (0.0%) 出口側 VBR-RT セル
- (0.0%) 出口側 VBR-NRT セル
- (0.0%) 出口側 ABR セル
- (0.0%) 出口側 UBR セル
- (100.0%) 出口側未定義 QoS セル

使用率(時間別)

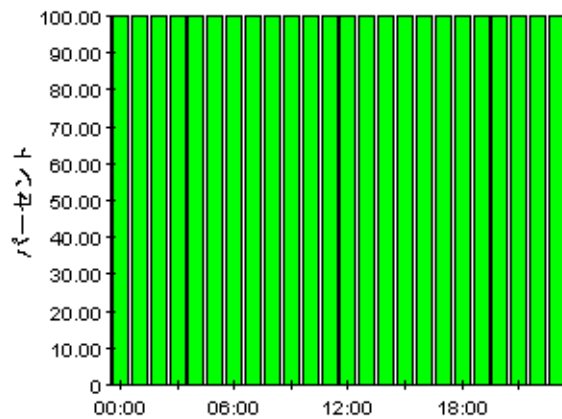
6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:00



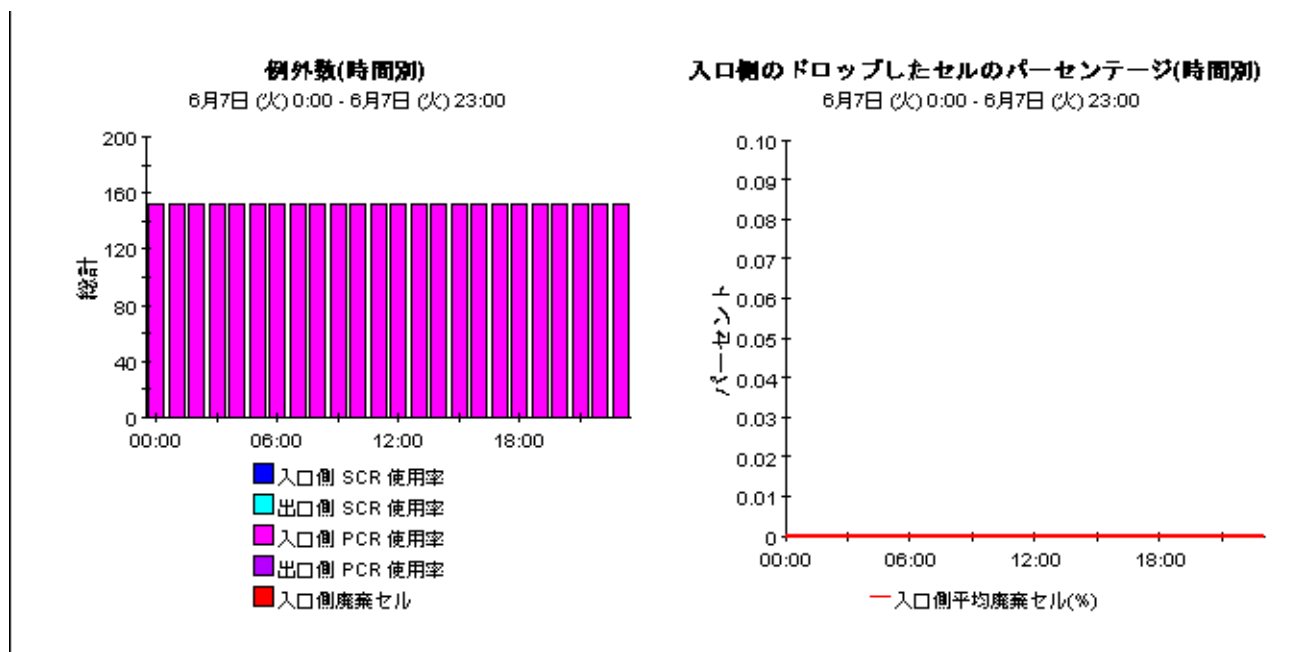
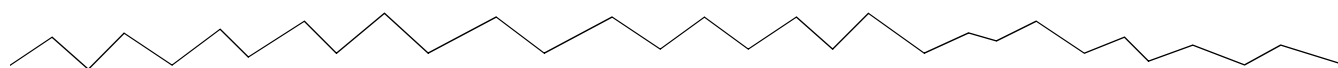
- 平均入口側 SCR 使用率
- 平均出口側 SCR 使用率
- 平均入口側 PCR 使用率
- 平均出口側 PCR 使用率

可用性(時間別)

6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:00



- 利用可能
- 利用不能



ATM PVC端点のトップテン

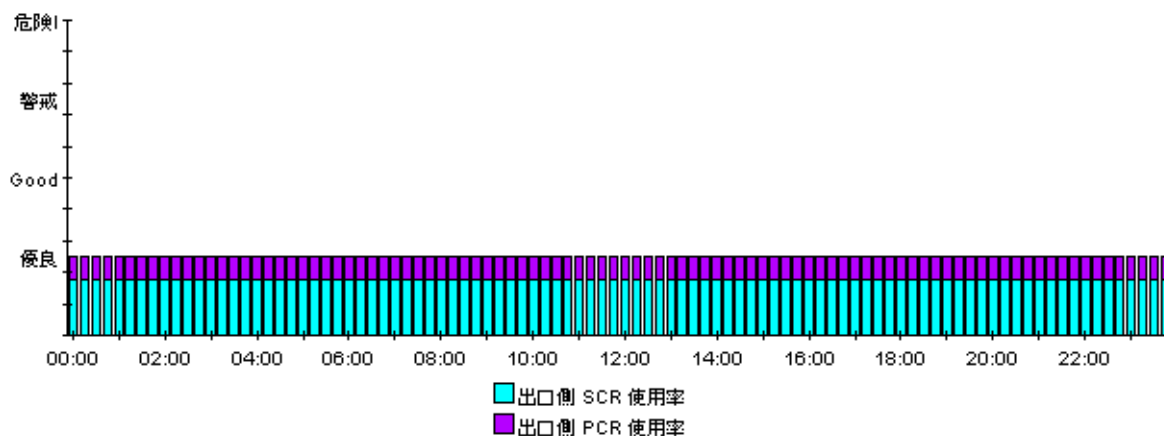


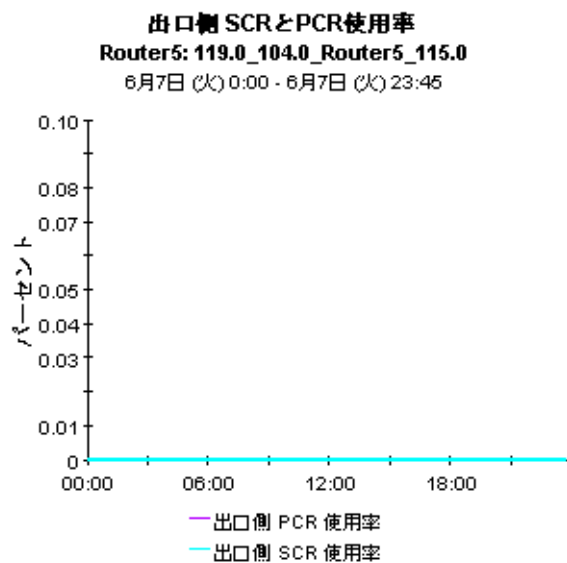
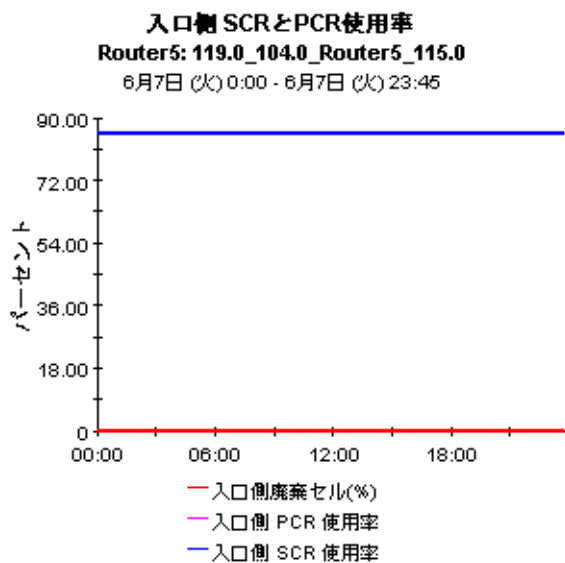
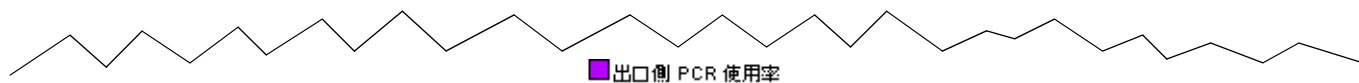
トップテンレポートは、最も使用率の高い方向に基づき、使用率の高い上位10のPVC端点をリストアップします。これらのレポートは、前日および先月のSCRおよびPCRのセルレートを元に、入口側および出口側の平均使用率およびピーク使用率を表示します。

PVC端点のトップテン(日別) いずれかの方向で最も高い平均SCR使用率に基づく 2005年6月7日 (火) - 2005年6月7日 (火)

デバイス	PVC	PVC 詳細	QoS	PVC タイプ	SCR	逆 SCR
Router5	0.0_15.0_Router5_149.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_208.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_255.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_103.0_Router5_149.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_209.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_6970.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_18.0_Router5_147.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_105.0_Router5_149.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000
Router5	0.0_204.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000	1000

サービスのPVC 出口側グレード Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0 6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45





例外の詳細 - 統計の例外値
Router5: 119.0_104.0_Router5_115.0
6月7日 (火) 0:00 - 6月7日 (火) 23:45

例外期間	入口側 SCR 使用率	入口側 PCR 使用率	入口側廃棄セル (%)	出口側 SCR 使用率	出口側 PCR 使用率
火 6 07 12:00 午前	85.50	85.50	0.00	0.00	0.00
火 6 07 12:15 午前	85.50	85.50	0.00	0.00	0.00
火 6 07 12:30 午前	85.50	85.50	0.00	0.00	0.00
火 6 07 12:45 午前	85.52	85.52	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:00 午前	85.48	85.48	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:15 午前	85.49	85.49	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:30 午前	85.44	85.44	0.00	0.00	0.00
火 6 07 01:45 午前	85.56	85.56	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:00 午前	85.44	85.44	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:15 午前	85.48	85.48	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:30 午前	85.53	85.53	0.00	0.00	0.00
火 6 07 02:45 午前	85.51	85.51	0.00	0.00	0.00

ATM PVC端点の準リアルタイムクイックビュー

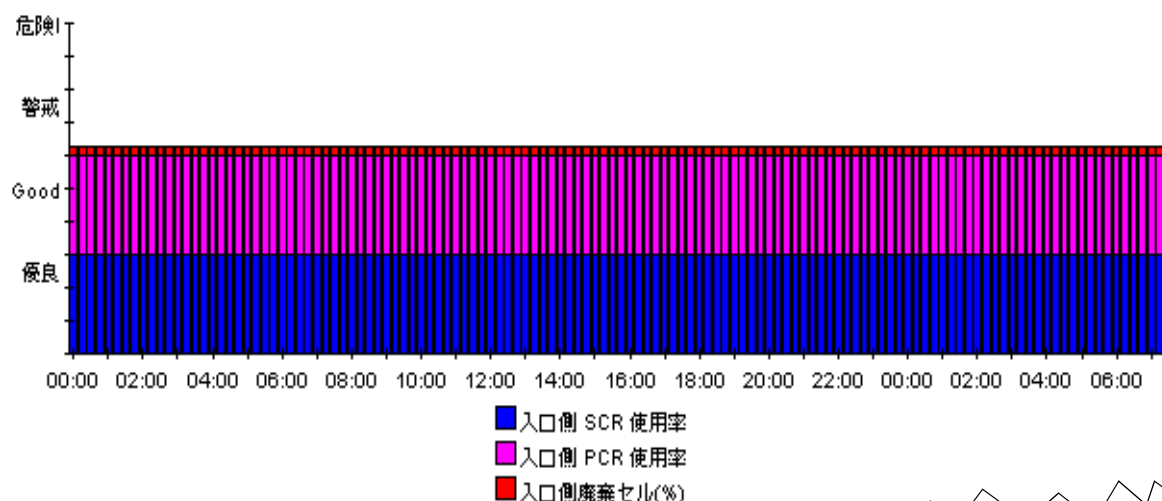


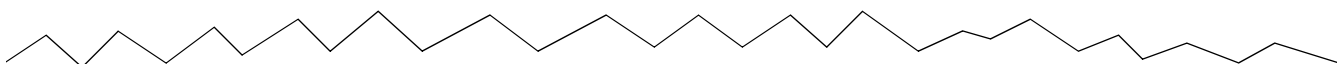
このレポートは、ネットワーク管理者およびネットワークオペレーションセンターのメンバーにATM PVC端点の統計を準リアルタイムで表示します。「PVC端点選択リスト」に表示される統計値は、過去6時間のポーリングの平均値です。ドリルダウンは、過去24時間にポーリングされたデータによる使用率、ドロップしたセルのパーセンテージ、セルボリューム、およびQoSを表示します。

PVC端点選択リスト - 平均セル/秒(CPS)が高い順
6月8日 (水) 7:30 - 6月8日 (水) 7:30

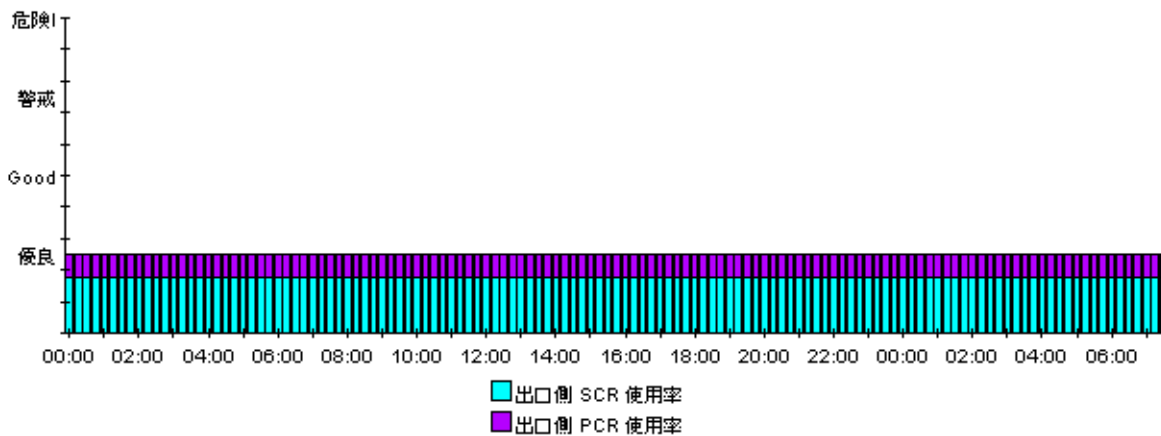
デバイス	PVC	PVC 詳細	QoS	PVC タイプ	SCR 入
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000
Router5	0.0_202.0_Router5_146.0	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1000

サービスのPVC 入口側グレード
Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30

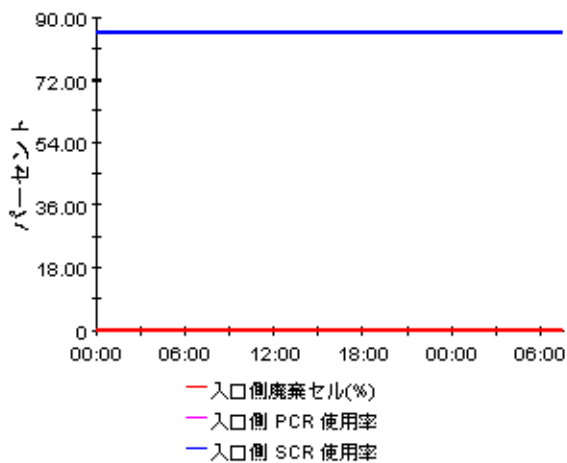




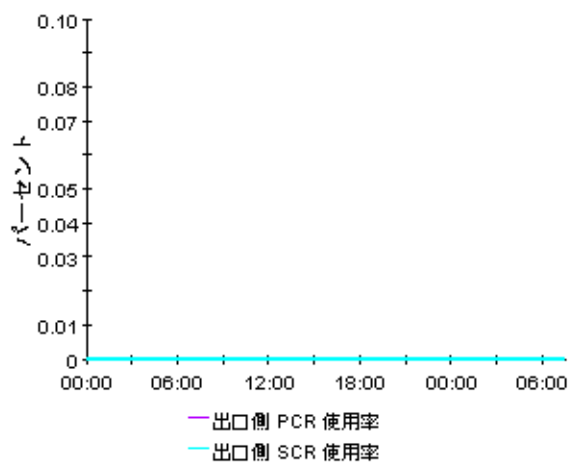
サービスのPVC 出口側グレード
 Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30

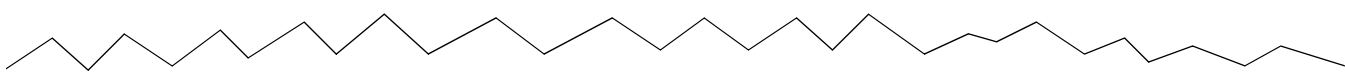


入口側 SCRとPCR使用率
 Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30

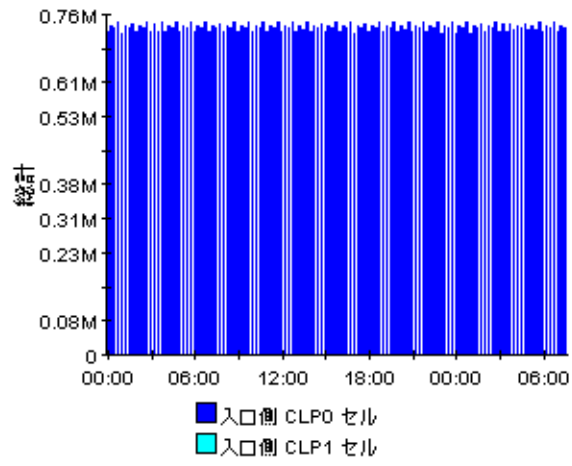


出口側 SCRとPCR使用率
 Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30

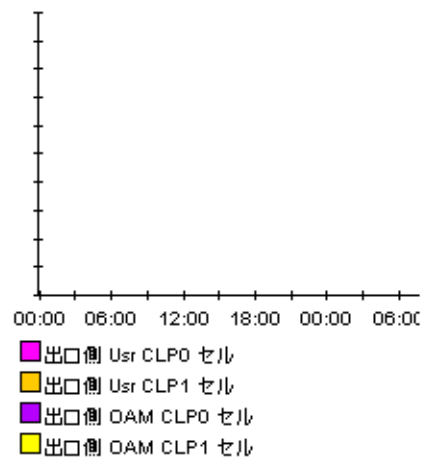




PVC 入口側セルボリューム
Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30



PVC 出口側セルボリューム
Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30



ATM PVC Endpoint PCR Utilization Forecast



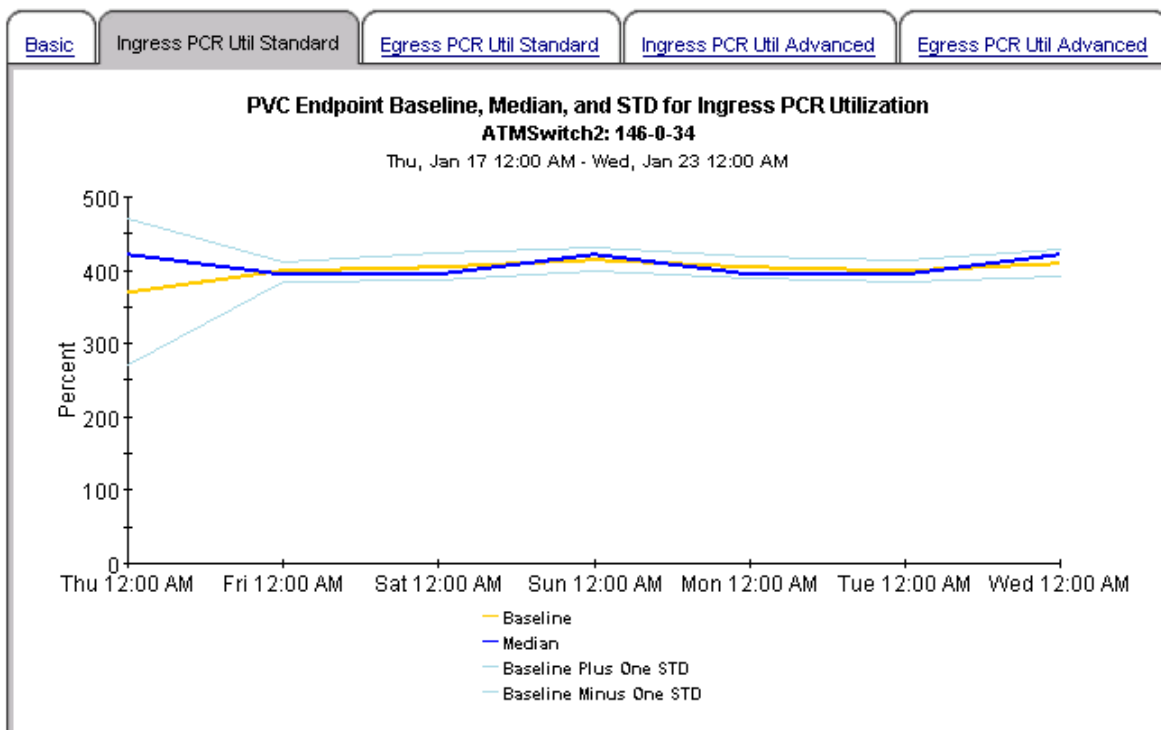
Designed for CIOs, network planners, and network managers, the Forecast report details the ports with the greatest ratio of change between the baseline utilization and the 30 day forecast. Baseline and forecast values are based on the busiest hour of the day. Drilldown reports show baseline, median, STD; and 30, 60, and 90 day forecasts of utilization.

PVC Endpoints with a 90 Day Forecasted Utilization Value > 60%

Sorted by Greatest Growth Ratio

Utilization is based on the Peak Cell Rate (PCR)

Device	PVC	PVC Description	QoS	PVC Type	Day of Week	Ingress Baseline Util	DTT Ingress Util	30/60/90 Day Forecast	Ingress Ratio	Egress Baseline Util
ATMSwitch2	146-0-34	New York to Paris	VBR-RT	ATM Channel	Thu	370.45	-64.00	639.55 / 823.02 / 1006.5	1.73	184.8
ATMSwitch2	146-0-34	New York to Paris	VBR-RT	ATM Channel	Mon	403.93	-922.00	420.58 / 431.93 / 443.28	1.04	197.8
ATMSwitch2	146-0-34	New York to Paris	VBR-RT	ATM Channel	Sun	414.92	-6656.00	417.27 / 418.87 / 420.48	1.01	198.0
ATMSwitch2	146-0-34	New York to Paris	VBR-RT	ATM Channel	Fri	398.00	-7455.00	400.00 / 401.36 / 402.72	1.01	197.2
ATMSwitch2	146-0-34	New York to Paris	VBR-RT	ATM Channel	Tue	398.75	-7472.00	400.75 / 402.11 / 403.47	1.01	196.4



[↑ Back to Top](#)



ポートレポート

Port フォルダーには次のレポートが含まれています。

- 可用性
- 設定
- キャパシティプランニング
- カスタマ別エグゼクティブサマリー (日次と月次の 2 つのレポート)
- 地域別エグゼクティブサマリー (日次と月次の 2 つのレポート)
- 予測
- ホットスポット
- クイックビュー (日次、月次、準リアルタイムの 3 つのレポート)
- スナップショット (日次、月次、準リアルタイムの 3 つのレポート)
- トップテン: 日次

この後のページで、次のレポートのサンプルを紹介します。

- キャパシティプランニング
- 可用性
- 予測
- ホットスポット
- クイックビュー - 準リアルタイム
- クイックビュー - 日次
- カスタマ別エグゼクティブサマリー - 日次
- トップテン

ATM

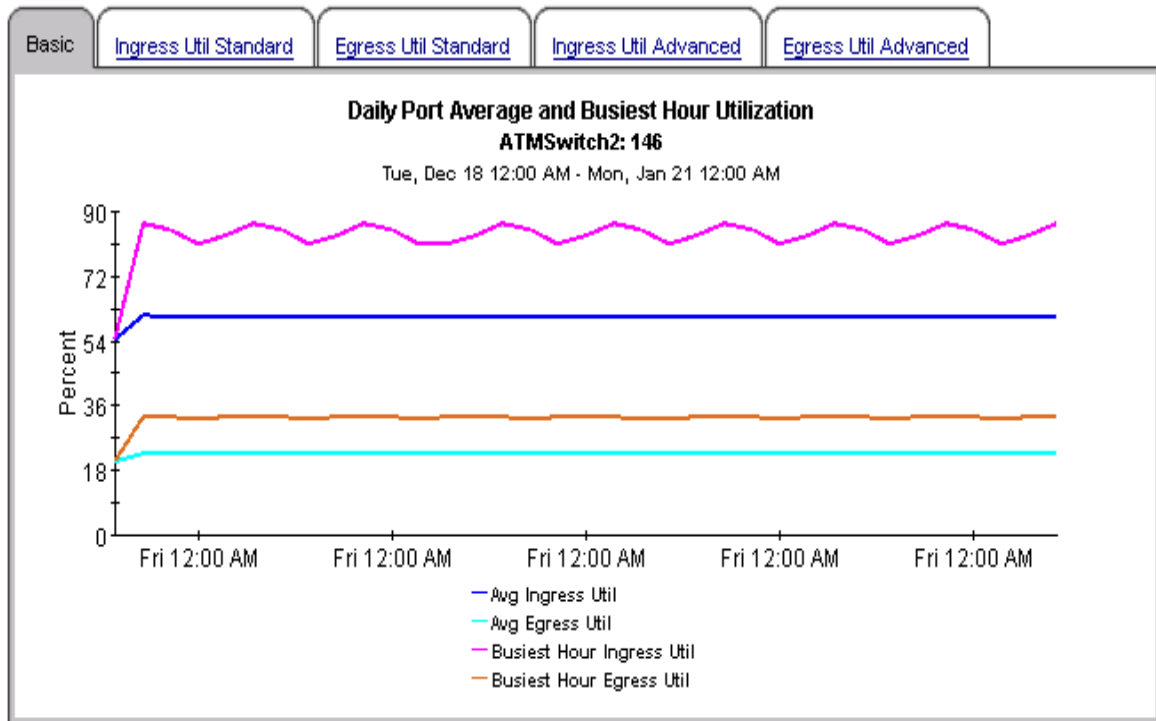
Port Capacity Planning

Designed for CIOs, network planners, and network managers, the Capacity Planning report details the most over- and under-utilized ports based on a 30 day forecast. Baseline and forecasted values are based on the busiest hour of the day. These reports can indicate opportunities for load balancing to improve service levels without additional investment.

Overutilized Ports with a 30 Day Forecasted Value for Utilization > 80%

Tue, Dec 18, 2001 - Mon, Dec 24, 2001

Device	Port	Description	Day of Week	Ingress Baseline Util	DTT Ingress Util	30/60/90 Day Ingress Forecast	Egress Baseline Util	DTT Egress Util	30/60/90 Day Egress Forecast
ATMSwitch2	146	New York to Paris	Tue	77.26	-10	112.47 / 136.47 / 160.47	30.11	133	45.14 / 55.38 / 6
ATMSwitch2	64	New York to Houston	Tue	70.79	32	79.63 / 85.65 / 91.68	65.49	4	101.01 / 125.22 / 1
ATMSwitch2	121	New York to D.C.	Tue	59.18	16	90.08 / 111.14 / 132.21	68.52	69	74.66 / 78.85 / 8
ATMSwitch2	90	New York to Tokyo	Tue	14.42	319	23.10 / 29.02 / 34.93	57.36	17	89.71 / 111.77 / 11
ATMSwitch2	146	New York to Paris	Mon	84.14	-73	87.20 / 89.28 / 91.37	32.79	1000	32.96 / 33.08 / 3
ATMSwitch2	146	New York to Paris	Thu	84.77	-209	85.85 / 86.58 / 87.31	32.90	1000	33.07 / 33.19 / 3
ATMSwitch2	146	New York to Paris	Fri	83.04	-70	85.42 / 87.03 / 88.65	32.68	1000	33.01 / 33.25 / 3
ATMSwitch2	146	New York to Paris	Sun	84.47		84.00 / 83.68 / 83.36	32.75		32.45 / 32.24 / 3





使用率の30日予測値<10%の過少使用ポート

2005年3月14日(月) - 2005年3月20日(日)

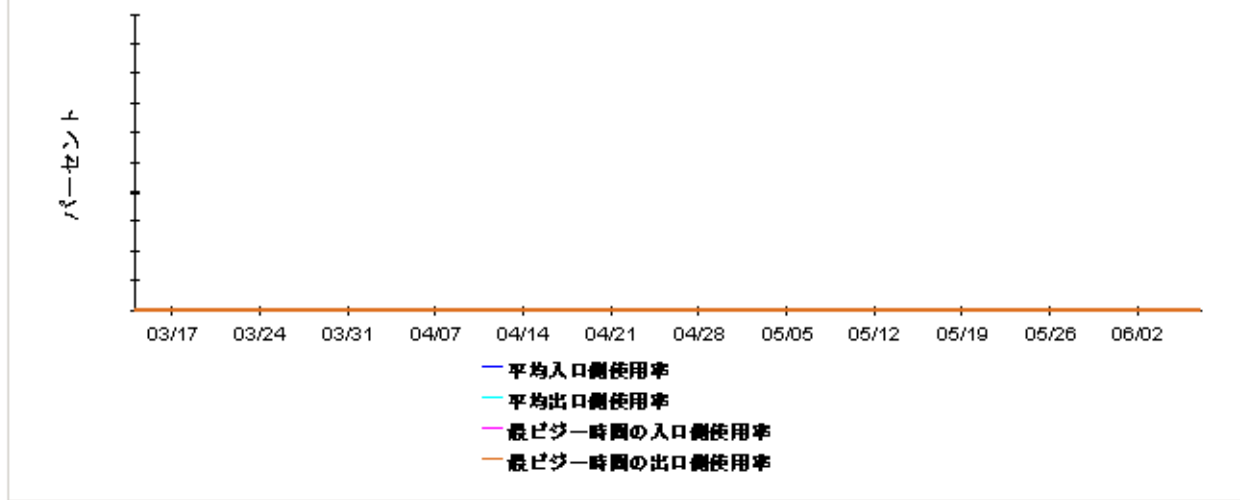
デバイス	ポート	Description	曜日	入口側ペー スライン使 用率	DTT 入口側 使用率	30/60/90 日入口側予測	出口側ペー スライン使 用率	DTT
Router5	8	el5		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.00	
Router5	8	el5		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.00	
Router5	8	el5		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.00	
Router5	8	el5		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.00	
Router5	8	el5		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.00	
Router5	8	el5		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.00	
Router5	8	el5		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.00	
Router6	8	el1		0.00	0	0.00 / 0.00 / 0.00	0.15	

基本 | 入口側使用率標準 | 出口側使用率標準 | 入口側使用率詳細 | 出口側使用率詳細

ポートの平均使用率と最も使用率の高い時間(日別)

Router5: el5

2005年3月14日(月) - 2005年6月7日(火)



ATM Port Availability



The ATM Port Availability report informs executives, network managers, end users, and customers on daily and monthly port availability. Select a port from the table to see availability over the previous day or month.

Daily Port Availability

Sun, Dec 2, 2001

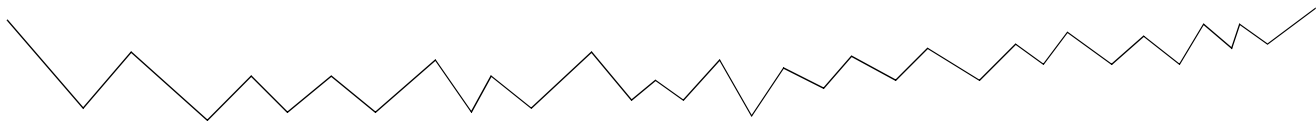
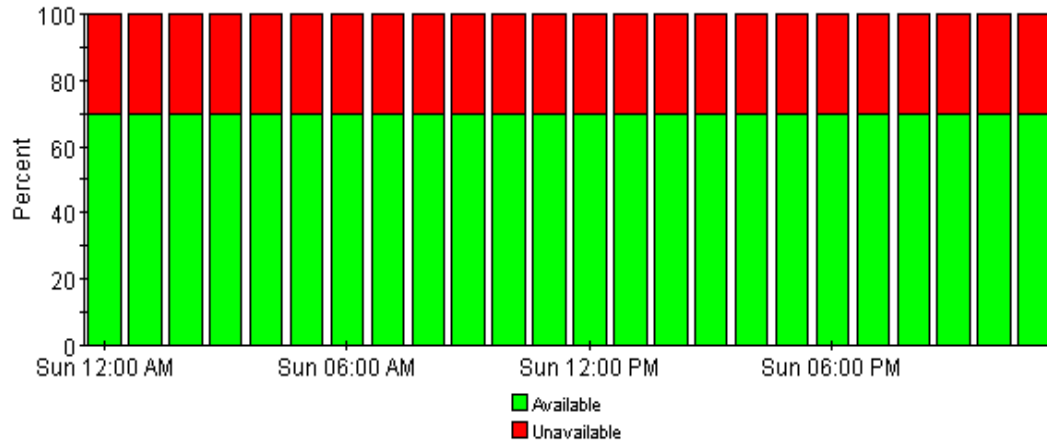
Device	Port	Description	Availability
ATMSwitch2	65	New York to San Francisco	70.00
ATMSwitch1	124	Torrance to Dallas	86.11



Hourly Port Availability

ATMSwitch2: 65

Sun, Dec 2 12:00 AM - Sun, Dec 2 11:00 PM



ポート可用性(月別)

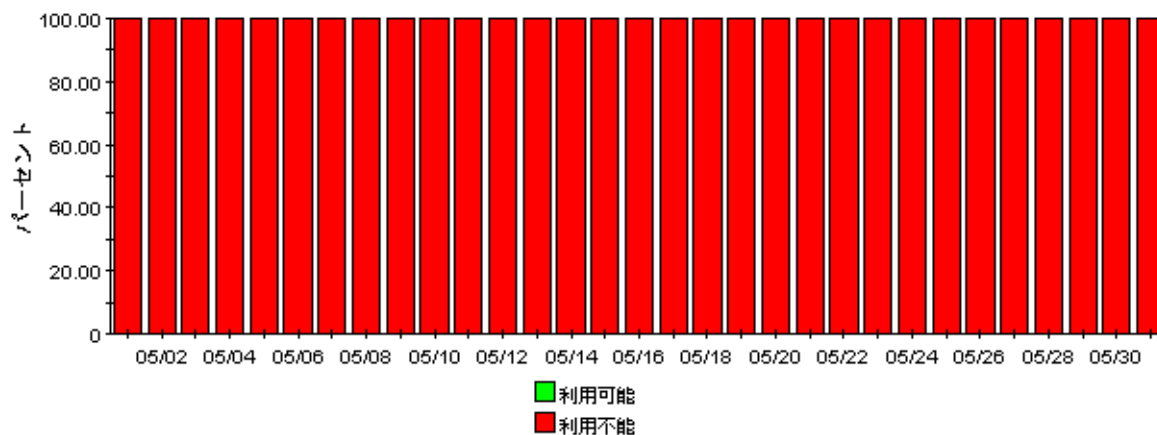
2005/05

デバイス	ポート	Description	可用性
Router5	114	Description Not Defined	0.00
Router5	115	Description Not Defined	0.00
Router5	122	Description Not Defined	0.00
Router5	170	Description Not Defined	0.00
Router6	0	Description Not Defined	0.00
Router6	1	Description Not Defined	0.00
Router6	2	Description Not Defined	0.00
Router6	3	Description Not Defined	0.00
Router6	16	Description Not Defined	0.00
Router6	17	Description Not Defined	0.00
Router6	18	Description Not Defined	0.00

ポートの可用性(日別)

Router5: 114

2005年5月1日(日) - 2005年5月31日(火)



ATM Port Forecast

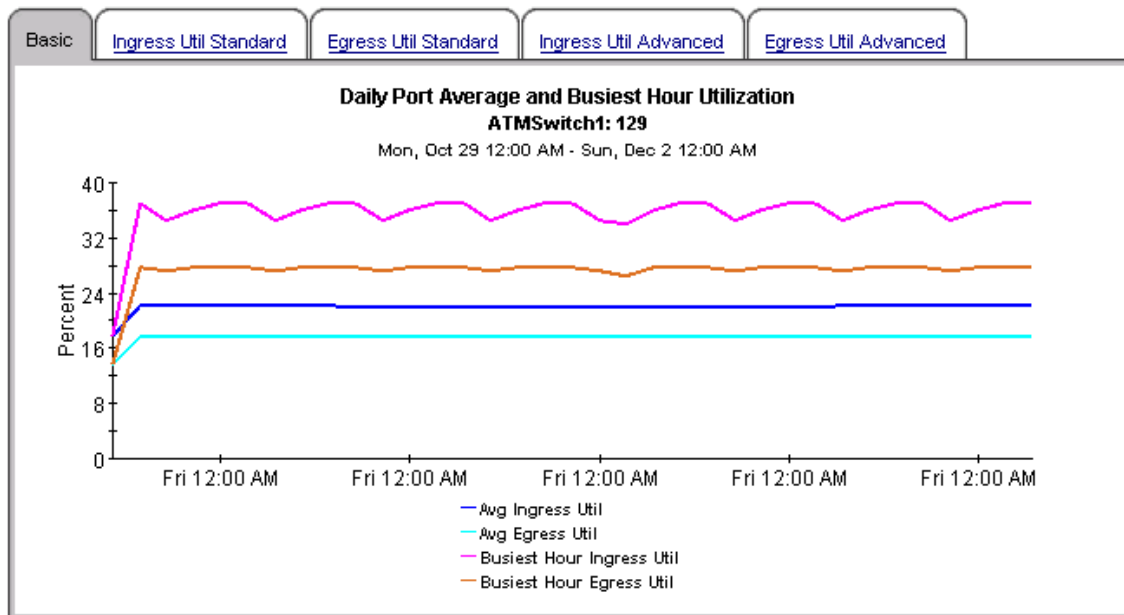


Ports with a 90 Day Forecasted Utilization Value > 80%

Sorted by Greatest Growth Ratio

Mon, Oct 29, 2001 - Sun, Nov 4, 2001

Device	Port	Description	Day of Week	Ingress Baseline Util	DTT Ingress Util	30/60/90 Day Ingress Forecast	Ingress Ratio	Egress Baseline Util	DTT Egress Util	30/60/90 Day Egress Forecast
ATMSwitch1	129	Torrance to Portland	Mon	32.22	74	56.11 / 72.40 / 88.69	1.74	24.72	124.00	42.37 /
ATMSwitch2	146	New York to Paris	Mon	79.59	-13	106.54 / 124.92 / 143.29	1.34	30.11	126.00	45.90 /
ATMSwitch2	145	New York to Boston	Mon	48.35	48	70.95 / 86.36 / 101.77	1.47	21.87	212.00	33.19 /
ATMSwitch2	90	New York to Tokyo	Mon	15.10	544	20.23 / 23.72 / 27.22	1.34	57.59	21.00	86.18 / 1
ATMSwitch2	64	New York to Houston	Mon	69.16	4	96.15 / 114.55 / 132.95	1.39	67.22	5.00	97.56 / 1
ATMSwitch2	121	New York to D.C.	Mon	59.28	16	90.19 / 111.26 / 132.33	1.52	66.39	11.00	90.61 / 1
ATMSwitch1	50	Torrance to the U.K.	Mon	41.36	86	58.43 / 70.07 / 81.71	1.41	24.72	397.00	30.65 /



[↑ Back to Top](#)



ATM Port Hot Spots



The Hot Spots report gives network managers and members of the NOC team a listing of ATM ports that have exceeded threshold conditions during the previous day. Offending ports are ranked by total number of exceptions. Drilldown reports show as polled data to help identify possible trouble spots. Exception Thresholds: Ingress Utilization > 80% Egress Utilization > 80% Pct Ingress Errors > 5% Pct Egress Errors > 5% Pct Ingress Discards > 5% Pct Egress Discards > 5%

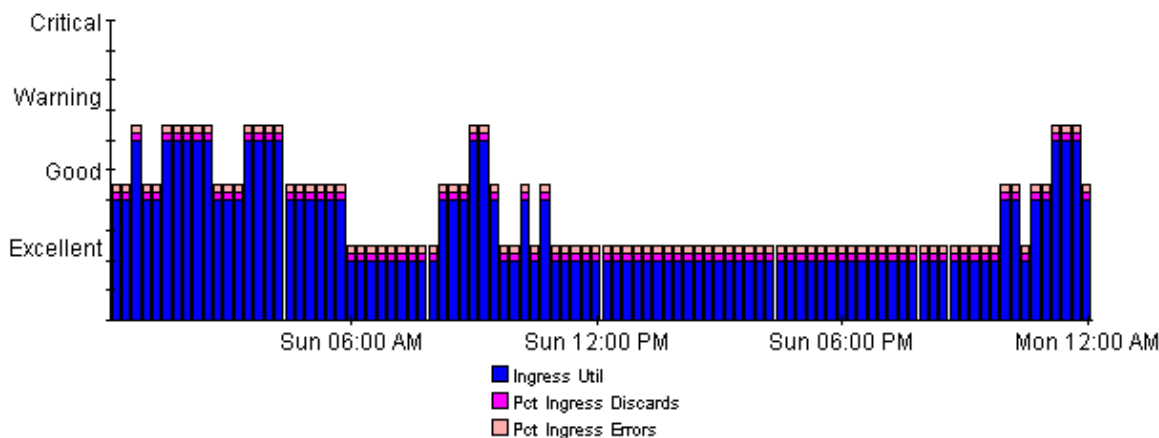
Port Hot Spots for the Previous Day Number of Exceptions are Shown for Each Statistic - Sorted by Total Exceptions

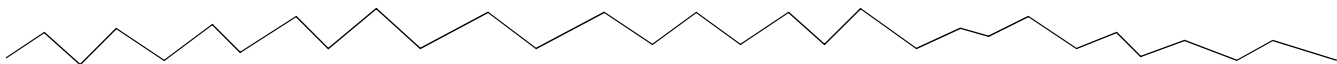
Sun, Dec 2, 2001

Device	Port	Description	Port Speed	Total Exceptions	Ingress Util	Egress Util	Pct Ingress Errors	Pct Egress Errors	Pct Ingress Discards	Pct Egress Discards
ATMSwitch2	146	New York to Paris	20352000	15	15	0	0	0	0	0
ATMSwitch1	72	Torrance to Reston	40704000	7	0	0	7	0	0	0
ATMSwitch2	64	New York to Houston	20352000	5	3	2	0	0	0	0
ATMSwitch2	121	New York to D.C.	20352000	3	1	2	0	0	0	0
ATMSwitch2	65	New York to San Francisco	20352000	3	0	0	3	0	0	0
ATMSwitch2	90	New York to Tokyo	20352000	2	0	2	0	0	0	0

Ingress Grade of Service ATMSwitch2: 146

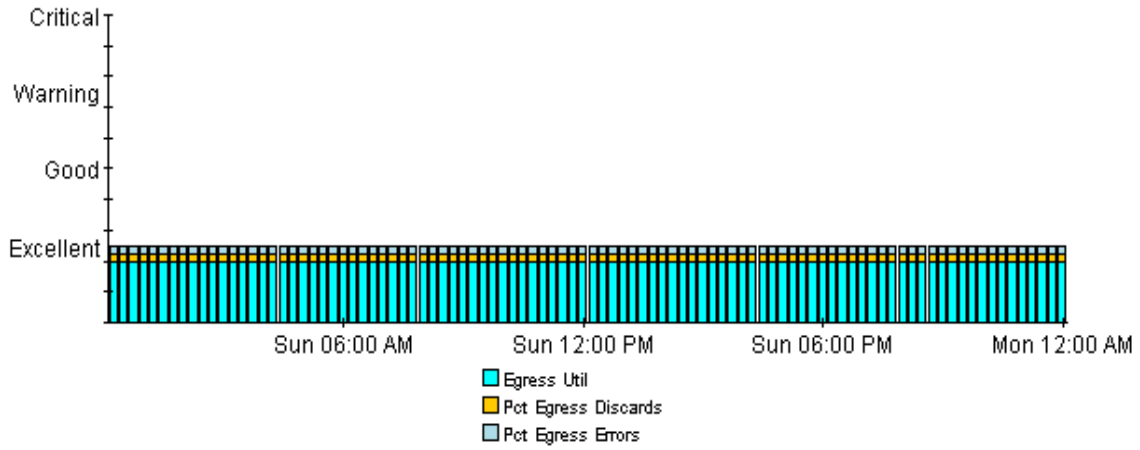
Sun, Dec 2 12:14 AM - Sun, Dec 2 11:59 PM





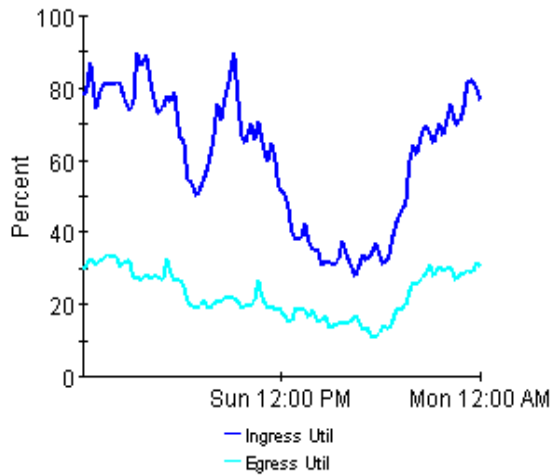
Egress Grade of Service
ATMSwitch2: 146

Sun, Dec 2 12:14 AM - Sun, Dec 2 11:59 PM



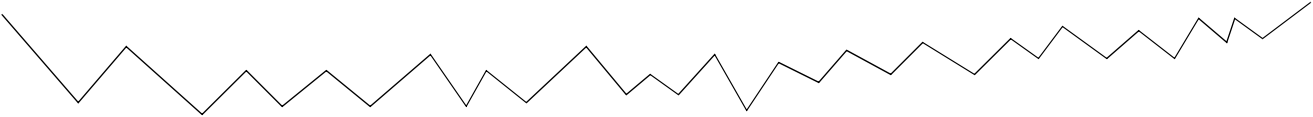
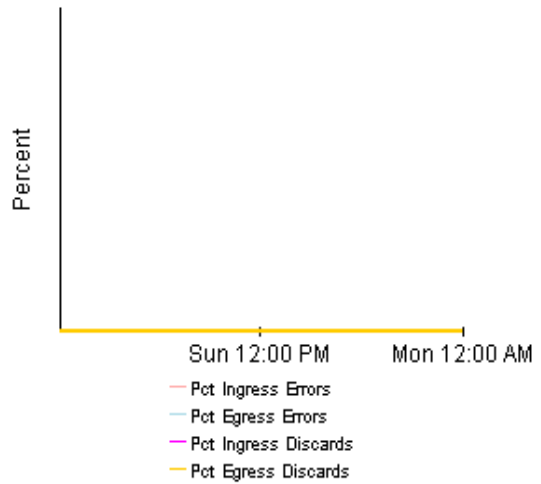
Ingress and Egress Utilization
ATMSwitch2: 146

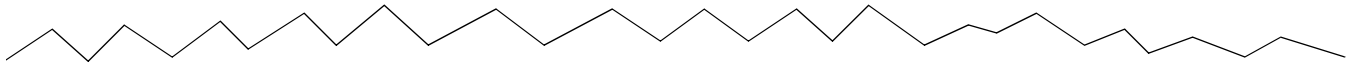
Sun, Dec 2 12:14 AM - Sun, Dec 2 11:59 PM



Pct Ingress and Egress Errors and Discards
ATMSwitch2: 146

Sun, Dec 2 12:14 AM - Sun, Dec 2 11:59 PM






Exception Detail - Exception Values for the Statistics

ATMSwitch2: 146

Sun, Dec 2 12:44 AM - Sun, Dec 2 11:44 PM

Time Period of Exception	Ingress Util	Egress Util	Pct Ingress Errors	Pct Egress Errors	Pct Ingress Discards	Pct Egress Discards
Sun Dec 02 12:44 AM	86.82	32.74	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 01:29 AM	81.02	32.52	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 01:44 AM	80.96	33.92	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 01:59 AM	80.97	32.98	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 02:14 AM	81.28	33.02	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 02:29 AM	80.76	30.59	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 03:29 AM	89.70	27.74	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 03:44 AM	85.60	26.71	0.00	0.00	0.00	0.00
Sun Dec 02 03:59 AM	89.10	28.13	0.00	0.00	0.00	0.00



 [Back to Top](#)

ATMポートの準リアルタイム クイックビュー



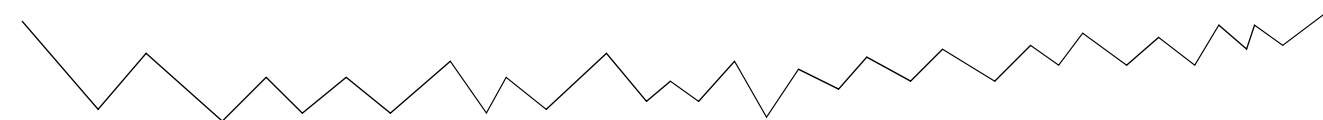
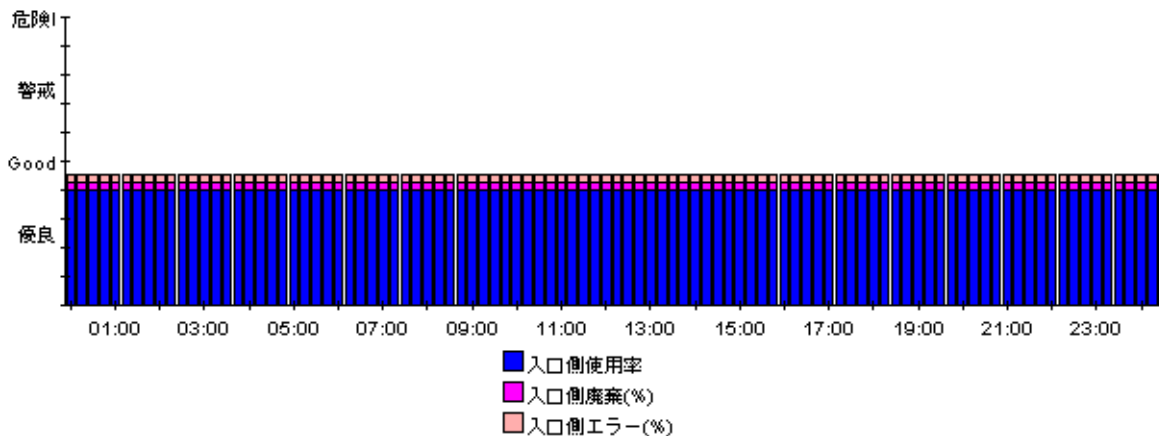
このレポートは、ネットワーク管理者およびネットワークオペレーションセンターのメンバーにATMポート統計を準リアルタイムで表示します。「ポート選択リスト」に表示される統計値は、過去6時間のポーリングの平均値です。ドリルダウンは、過去24時間にポーリングされたデータによる使用率、エラーのパーセンテージ、廃棄のパーセンテージ、およびGOSを表示します。

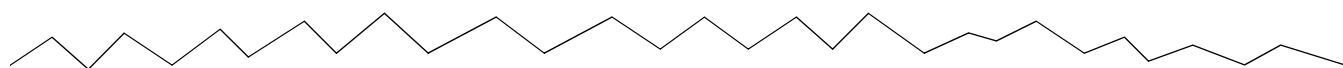
ポート選択リスト - 平均セル/秒(CPS)が高い順 6月9日 (木) 0:30 - 6月9日 (木) 0:30

デバイス	ポート	Description	ポート速度	入口側使用率	出口側使用率	入口側 CPS	出口側 CPS
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06
Router5	147		500.0 Kb/s	72.51	72.51	855.05	855.06

入口側のサービスのグレード Router5: 147

6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30

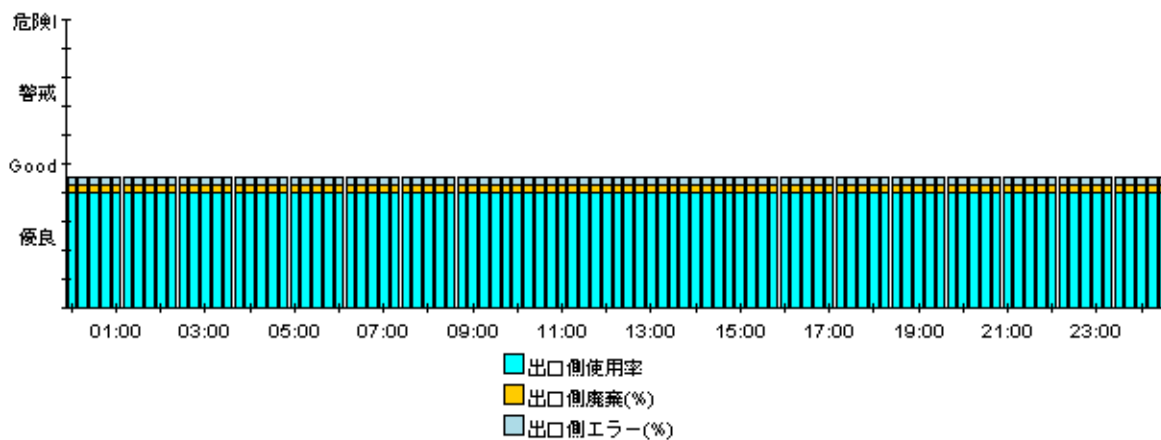




出口側のサービスのグレード

Router5: 147

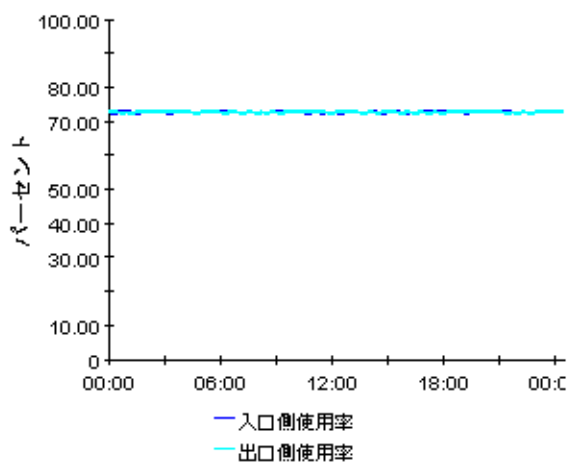
6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30



入口側および出口側の使用率

Router5: 147

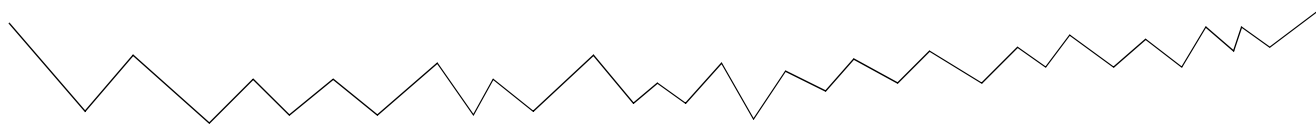
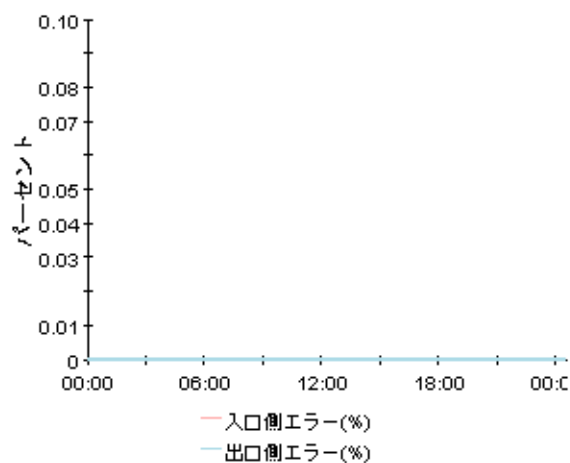
6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30

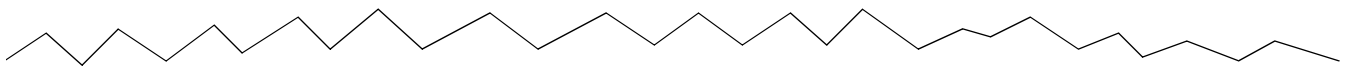


入口側エラーおよび出口側エラーのパーセンテージ

Router5: 147

6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30

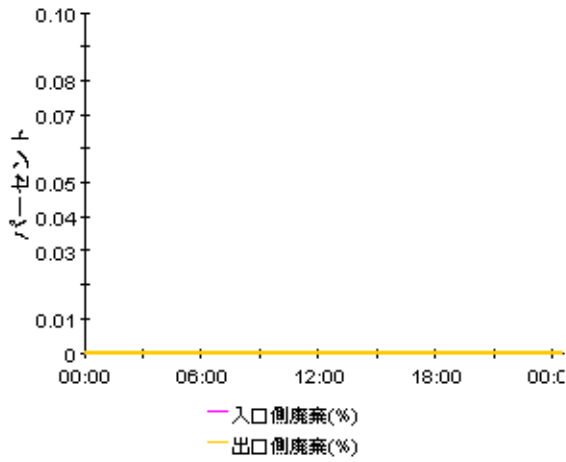




入口側廃棄および出口側廃棄のパーセンテージ

Router5: 147

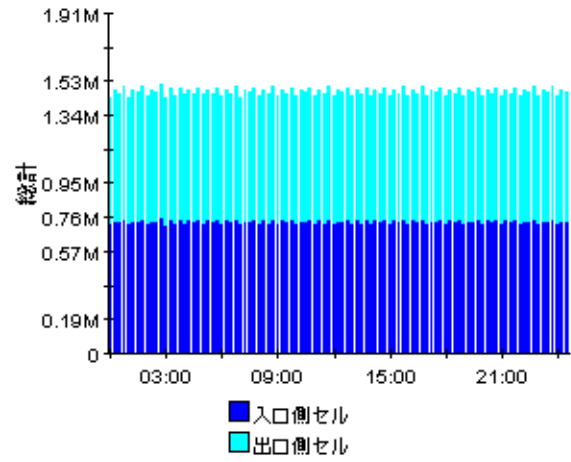
6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30



入口側および出口側のセル数

Router5: 147

6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30



ATM Port Daily QuickView



The ATM Daily Port QuickView gives the network management staff a detailed look at the performance of a single port when just the facts are needed. Drilldowns show utilization, GOS, percentage of errors, and percentage of discarded cells.

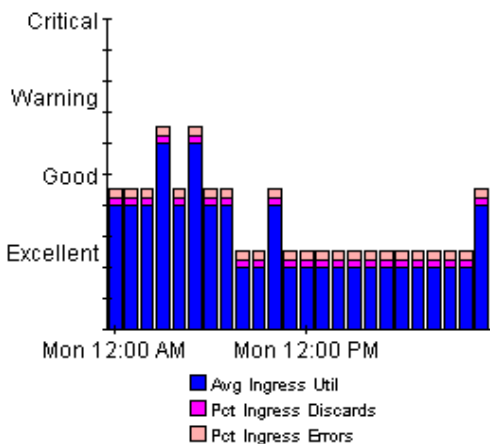
Daily Top Ten Ports Based on Highest Avg Utilization in Either Direction

Mon, Jan 21, 2002

Device	Port	Description	Port Speed	Ingress Util	Egress Util	Pct Ingress Discards	Pct Egress Discards	Pct Ingress Errors	Pct Egress Errors	
ATMSwitch2	146	New York to Paris	20352000	60.75	22.83	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	64	New York to Houston	20352000	49.33	45.09	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	121	New York to D.C.	20352000	39.86	45.35	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	90	New York to Tokyo	20352000	9.30	40.42	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	145	New York to Boston	20352000	38.60	17.79	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch1	50	Torrance to the U.K.	40704000	31.78	20.21	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch1	129	Torrance to Portland	40704000	22.03	17.66	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch1	71	Torrance to San Jose	40704000	11.22	12.88	0.00	0.00	0.00	0.00	

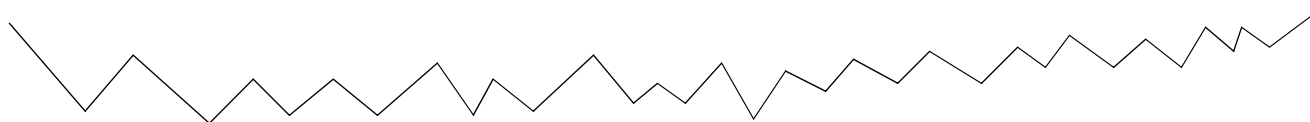
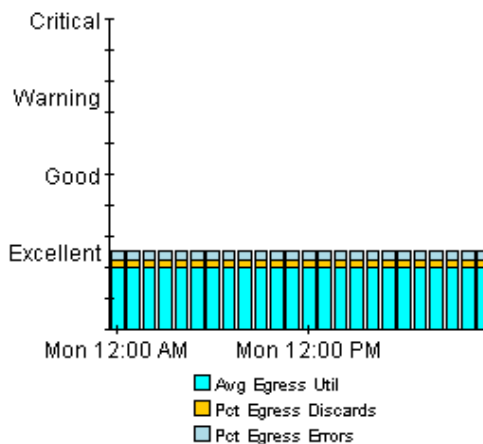
Hourly Ingress Grade of Service ATMSwitch2: 146

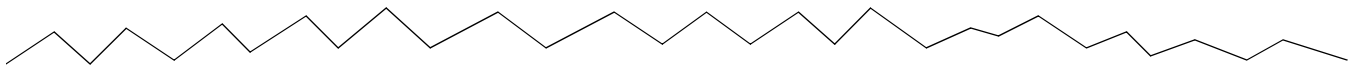
Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM



Hourly Egress Grade of Service ATMSwitch2: 146

Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM

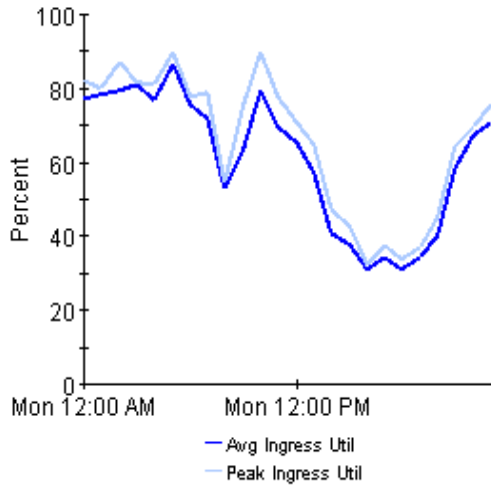




Hourly Ingress Utilization

ATMSwitch2: 146

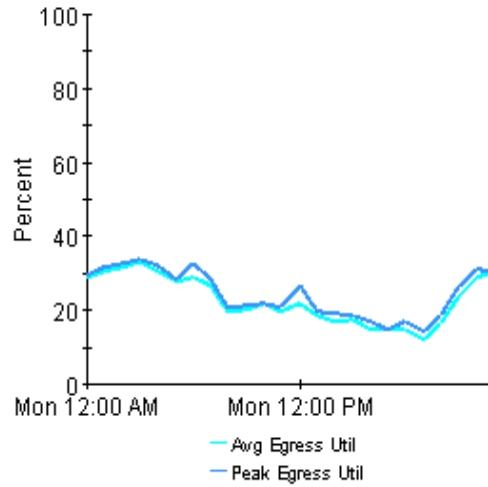
Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM



Hourly Egress Utilization

ATMSwitch2: 146

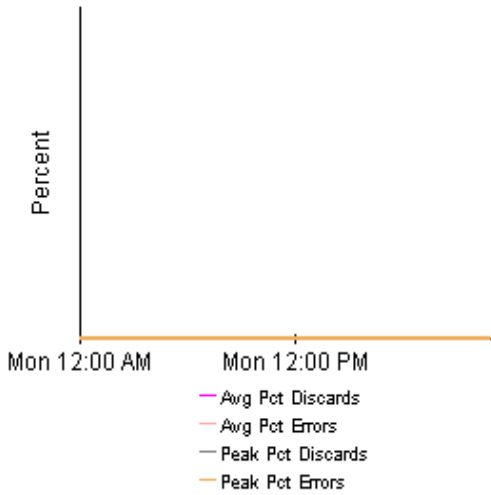
Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM



Hourly Ingress Pct Errors and Errors

ATMSwitch2: 146

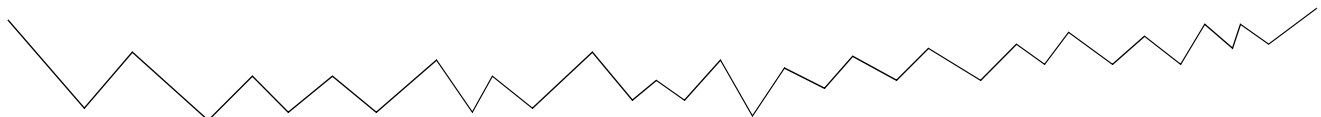
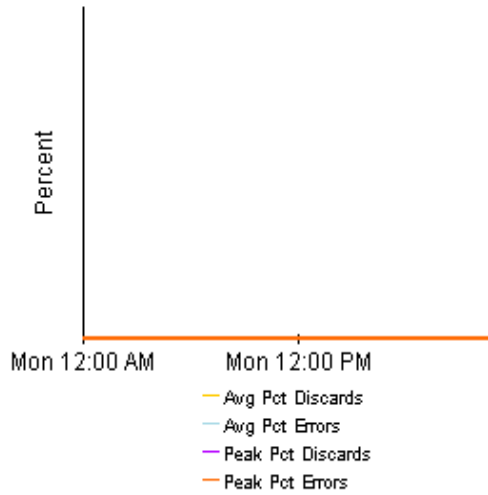
Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM

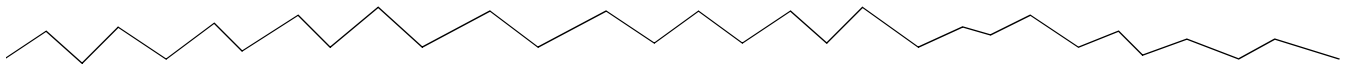


Hourly Egress Pct Errors and Discards

ATMSwitch2: 146

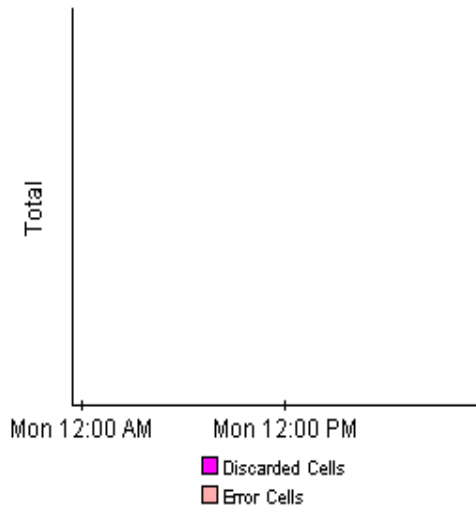
Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM





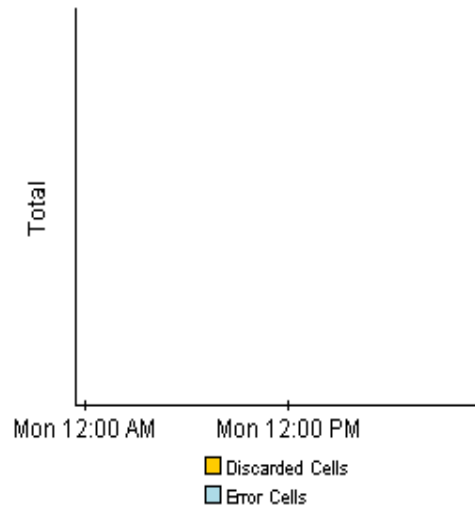
Hourly Ingress Total Errors and Discards
ATMSwitch2: 146


Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM



Hourly Egress Total Errors and Discards
ATMSwitch2: 146

Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 11:00 PM



 [Back to Top](#)



ATM Port

Daily Executive Summary by Customer



This report provides CFOs, CIOs and other managers an overview of the performance of their ATM ports. Each chart shows key metrics aggregated for all ports for each customer. Key indicators of performance are shown including total volume, utilization, and percentage of errors and discards.

Daily Customer Summaries

Mon, Dec 10, 2001

Summary for All Acme Ports

Summary for All DeskTalk Ports



Summary for All Network Ports

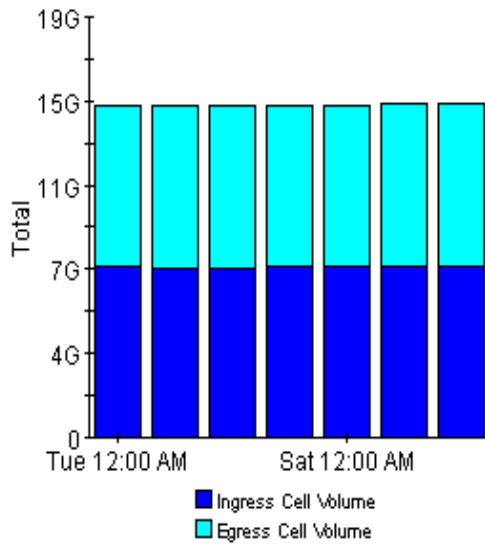


Summary for All Unassigned Customer Ports



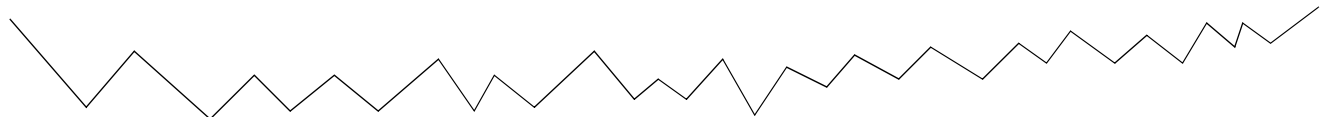
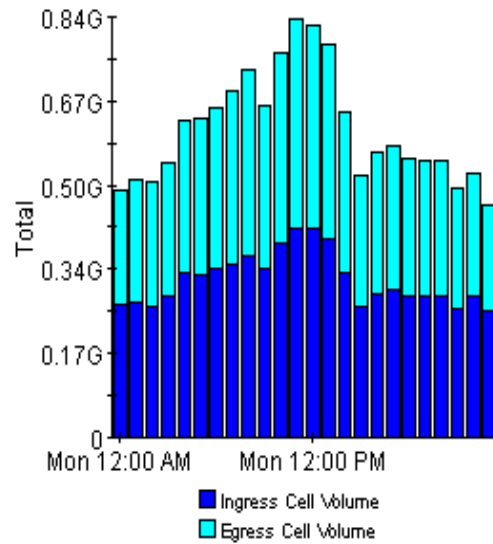
Daily Cell Volume

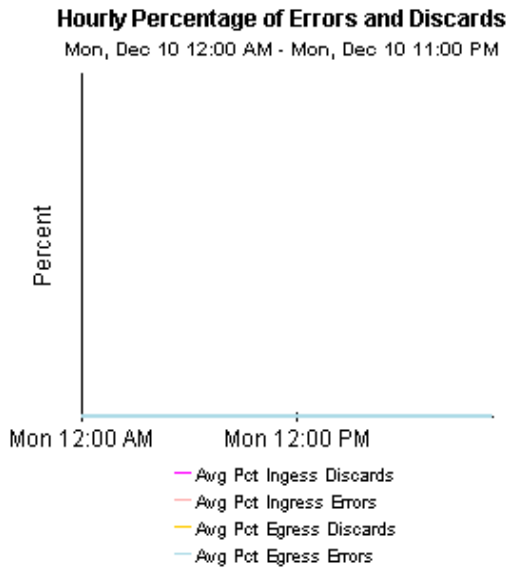
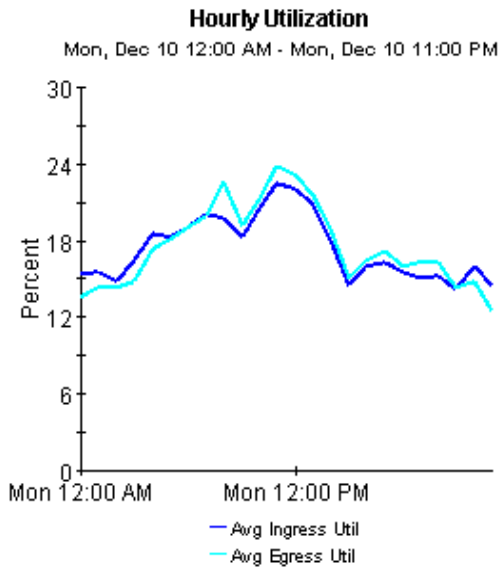
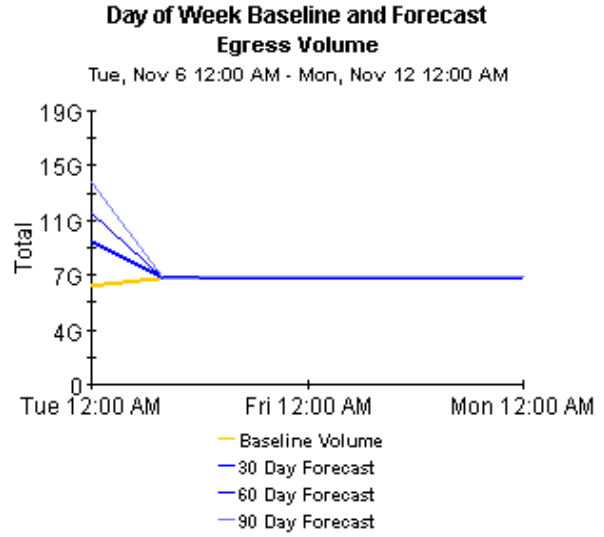
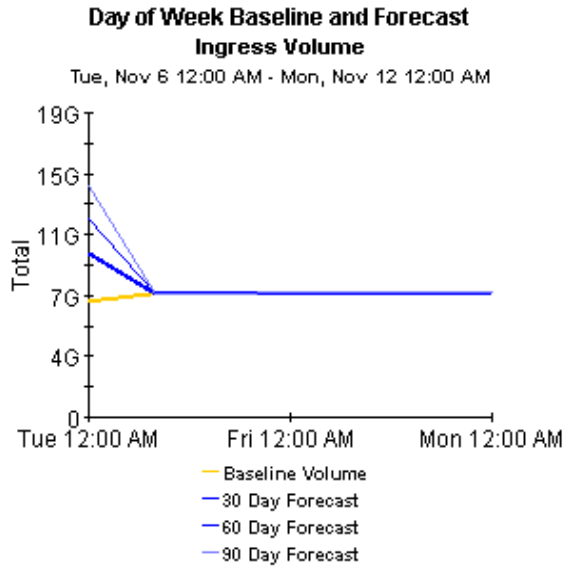
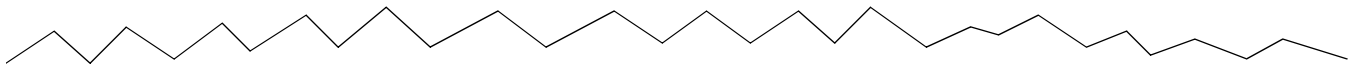
Tue, Dec 4 12:00 AM - Mon, Dec 10 12:00 AM

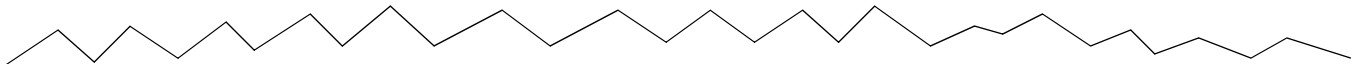


Hourly Cell Volume

Mon, Dec 10 12:00 AM - Mon, Dec 10 11:00 PM

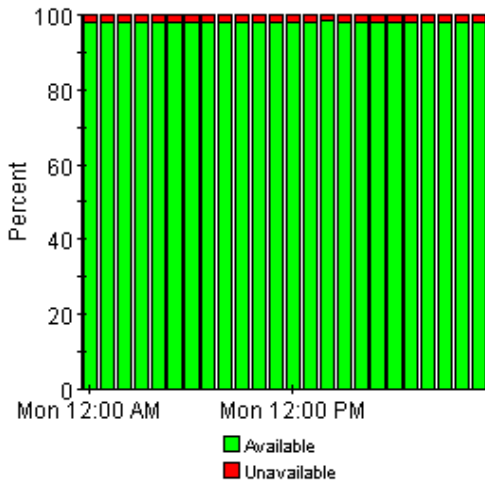






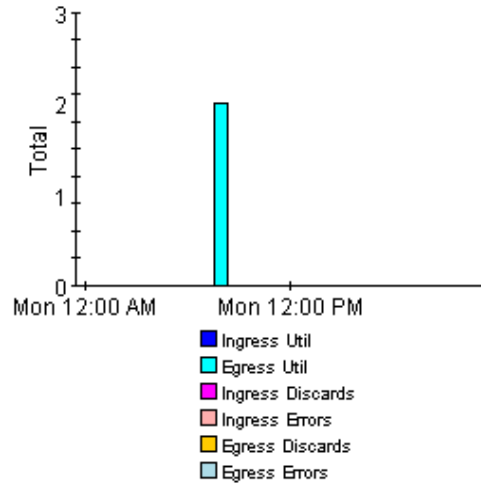
Hourly Availability

Mon, Dec 10 12:00 AM - Mon, Dec 10 11:00 PM



Hourly Exception Counts

Mon, Dec 10 12:00 AM - Mon, Dec 10 11:00 PM



- Ingress Util
- Egress Util
- Ingress Discards
- Ingress Errors
- Egress Discards
- Egress Errors

[↑ Back to Top](#)



ATM

Port Top Ten



The Top Ten report lists the ten top utilized ports based on highest utilized direction. These reports show ingress and egress average and peak utilization for yesterday and last month. Drilldowns show PVC endpoint utilization for each PVC endpoint connected to the port.

Daily Top Ten Ports Based on Highest Avg Utilization in Either Direction

Mon, Jan 21, 2002

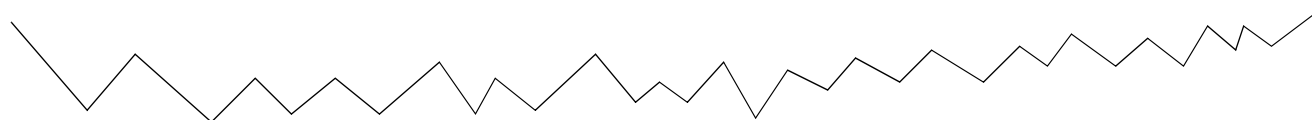
Device	Port	Description	Port Speed	Ingress Util	Egress Util	Pct Ingress Discards	Pct Egress Discards	Pct Ingress Errors	Pct Egress Errors	
ATMSwitch2	146	New York to Paris	20352000	60.75	22.83	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	64	New York to Houston	20352000	49.33	45.09	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	121	New York to D.C.	20352000	39.86	45.35	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	90	New York to Tokyo	20352000	9.30	40.42	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch2	145	New York to Boston	20352000	38.60	17.79	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch1	50	Torrance to the U.K.	40704000	31.78	20.21	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch1	129	Torrance to Portland	40704000	22.03	17.66	0.00	0.00	0.00	0.00	
ATMSwitch1	71	Torrance to San Jose	40704000	11.22	12.88	0.00	0.00	0.00	0.00	

PVC Endpoints Associated with the Selected Port

Sorted by Highest SCR Utilization in Either Direction

Mon, Jan 21 12:00 AM

Device	PVC	PVC Description	QoS	PVC Type	SCR	Reverse SCR	Avg Ingress SCR Util	Avg Egress SCR Util
ATMSwitch2	146-0-34	New York to Paris	VBR-RT	ATM Channel	3642	3642	254.33	144.35



いずれかの方向の最も高い平均使用率に基づいた月別トップテンレポート

2005/05

デバイス	ポート	Description	ポート速度	入口側使用率	出口側使用率	入口側廃棄 (%)	出口側 (%)
Router5	114	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	72.50	62.67	0.00	0.00
Router5	146	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	72.50	72.50	0.00	0.00
Router5	149	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	72.50	72.50	0.00	0.00
Router5	115	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	63.77	72.50	0.00	0.00
Router5	147	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	72.50	72.50	0.00	0.00
Router5	170	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	35.11	3.31	0.00	0.00
Router6	2	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	15.09	4.75	0.00	0.00
Router6	1	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	10.77	12.30	0.00	0.00
Router5	122	Description is Not Defined	500.0 Kb/s	4.92	8.31	0.00	0.00

選択したポートに対応するPVC端点
両方向で月別SCR使用率が高い順にソート

2005/05

デバイス	PVC	PVC 詳細	QoS	PVC タイプ	SCR	逆 SCR	平; 側:
Router5	1.0_Router5_114	PVC Description Not Defined	QoS Not Defined	ATM Channel	1,000.00	1,000.00	

SVC レポート

SVC フォルダーには次のレポートが含まれています。

- カスタマ別エグゼクティブサマリー（日次と月次の 2 つのレポート）
- 地域別エグゼクティブサマリー（日次と月次の 2 つのレポート）
- クイックビュー（日次、月次、準リアルタイムの 3 つのレポート）
- スナップショット（日次、月次、準リアルタイムの 3 つのレポート）
- トップテン

この後のページで、次のレポートのサンプルを紹介します。

- クイックビュー - 日次
- カスタマ別エグゼクティブサマリー - 日次
- クイックビュー - 準リアルタイム
- トップテン

ATM SVC Daily QuickView



The ATM Daily SVC Endpoint QuickView gives the network management staff a detailed look at the performance of a single SVC port when just the facts are needed. Drilldowns show percentage of successful calls, number of call attempts, number of rejections, and calls per second.

Daily Top Ten SVC Ports by Call Attempts

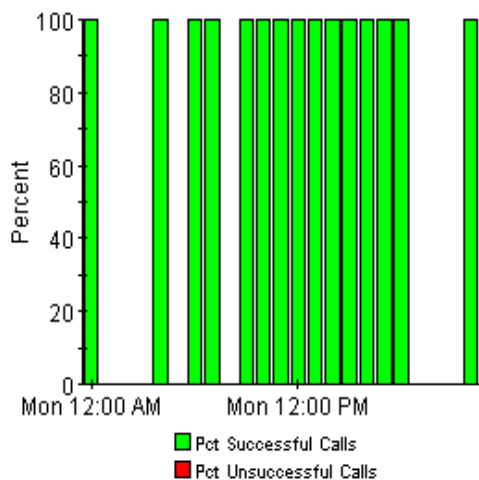
Mon, Jan 21, 2002

Device	Description	Avg # of Active SVC	Attempts	Success Ratio - Originating	Success Ratio - Terminating	
ATMSwitch2	New York to Boston	25.73	177702.00	100.00	100.00	
ATMSwitch2	New York to San Jose	41.57	54023.00	100.00	100.00	
ATMSwitch1	Torrance to Atlanta	28.47	32848.00	100.00	100.00	
ATMSwitch1	Torrance to Nashua	1.07	31837.00	100.00	99.47	
ATMSwitch1	Torrance to London	68.79	7542.00	100.00	99.91	
ATMSwitch1	Torrance to Los Angeles	40.44	7137.00	100.00	99.24	
ATMSwitch1	Torrance to New York	34.73	6992.00	100.00	100.00	
ATMSwitch2	New York to Paris	17.68	2342.00	100.00	100.00	
ATMSwitch2	New York to Toronto	16.72	2340.00	100.00	100.00	

Hourly Success Ratio - Originating Port

ATMSwitch2: 68

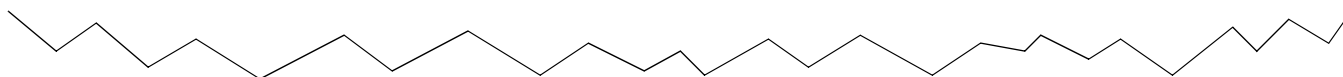
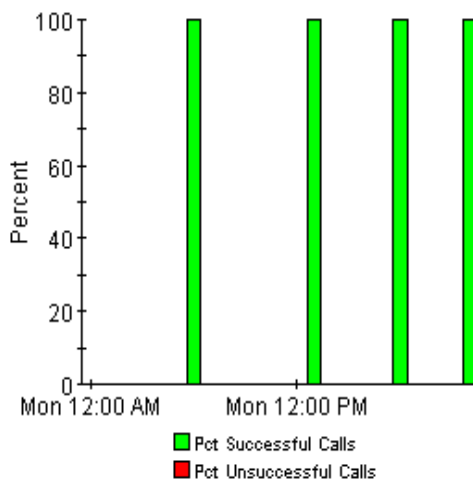
Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 10:00 PM

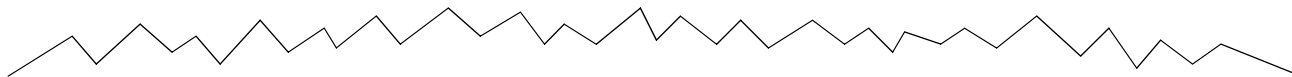


Hourly Success Ratio - Terminating Port

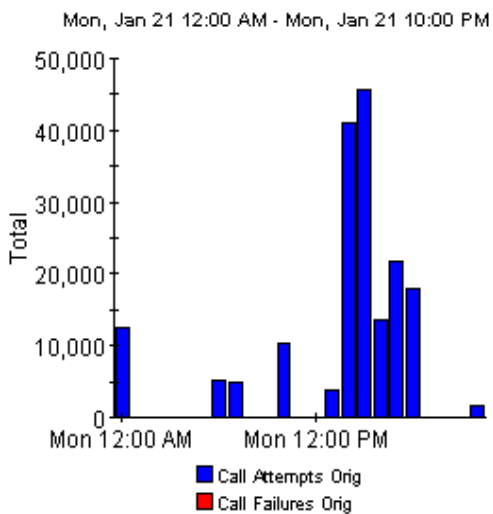
ATMSwitch2: 68

Mon, Jan 21 12:00 AM - Mon, Jan 21 10:00 PM

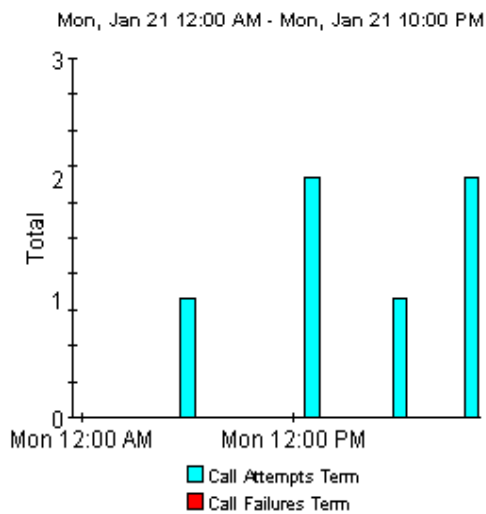




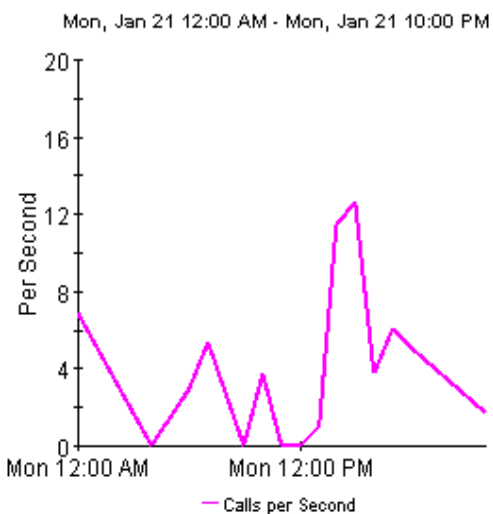
Originating Hourly Call Attempts and Failures
ATMSwitch2: 68



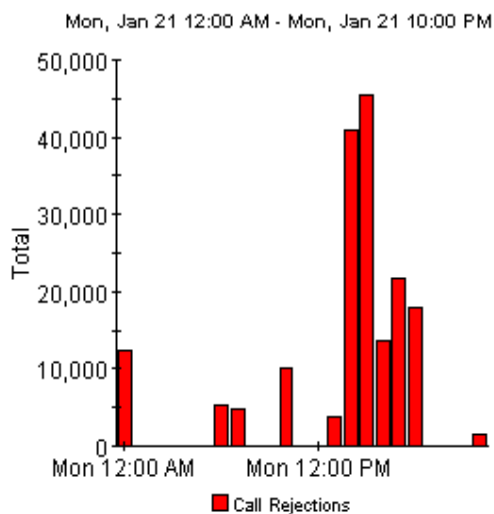
Terminating Hourly Call Attempts and Failures
ATMSwitch2: 68



Hourly Calls per Second
ATMSwitch2: 68



Hourly Call Rejections
ATMSwitch2: 68



[↑ Back to Top](#)



ATM SVC Daily Executive Summary by Customer

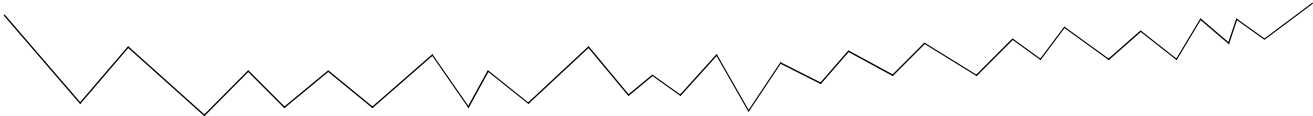
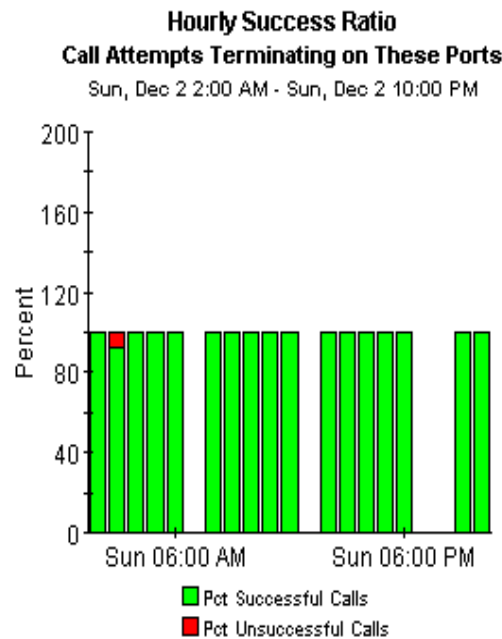
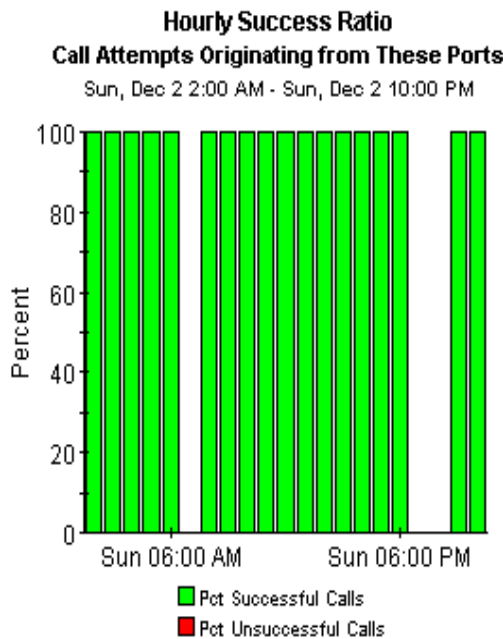


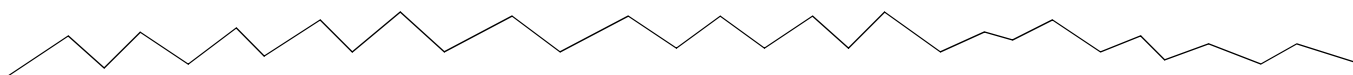
This report provides CFOs, CIOs, and other managers an overview of the performance of their ATM SVCs. Each chart shows key metrics aggregated for all SVCs for each customer by. Key indicators of performance are shown including percentage of successful calls, calls per second, and number of failed calls.

Daily Customer Summaries

Sun, Dec 2, 2001

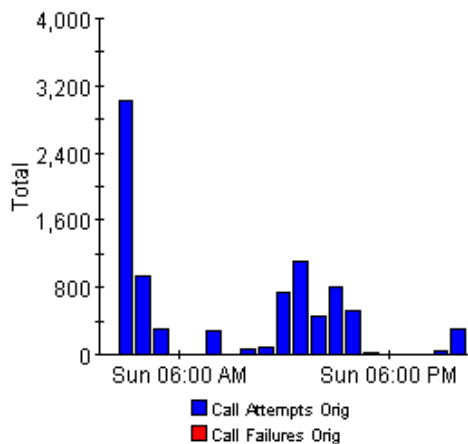
- Summary for All Acme SVC Ports
- Summary for All DeskTalk SVC Ports
- Summary for All Network SVC Ports
- Summary for All Unassigned Customer SVC Ports





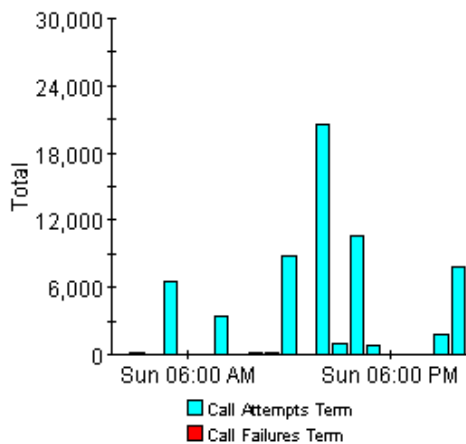
**Hourly Call Attempts and Failures
Originating from These Ports**

Sun, Dec 2 2:00 AM - Sun, Dec 2 10:00 PM



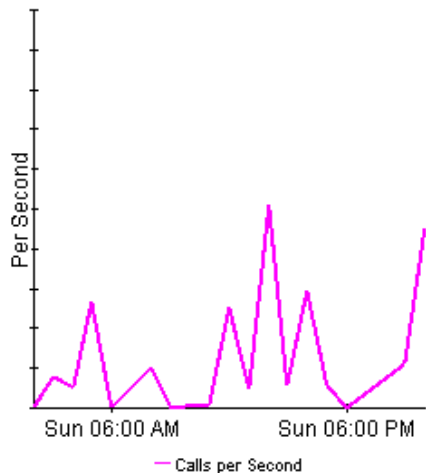
**Hourly Call Attempts and Failures
Terminating on These Ports**

Sun, Dec 2 2:00 AM - Sun, Dec 2 10:00 PM



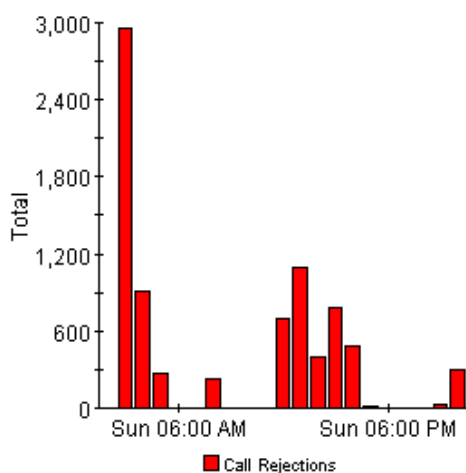
Hourly Calls per Second

Sun, Dec 2 2:00 AM - Sun, Dec 2 10:00 PM



Hourly Call Rejections

Sun, Dec 2 2:00 AM - Sun, Dec 2 10:00 PM



[Back to Top](#)



ATM SVCの準リアルタイム クイックビュー



このレポートは、ネットワーク管理者およびネットワークオペレーションセンターのメンバーにATM SVCポート統計を準リアルタイムで表示します。「ポート選択リスト」に表示される統計値は、過去6時間のポーリングの平均値です。ドリルダウンは、コール成功率、コール秒、コール拒否などの「ポーリングされた」データを表示します。

SVCポート選択リスト - コール試行回数順

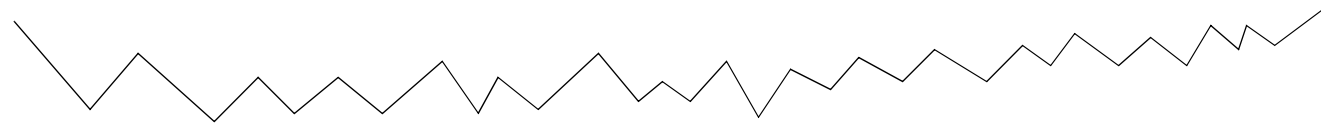
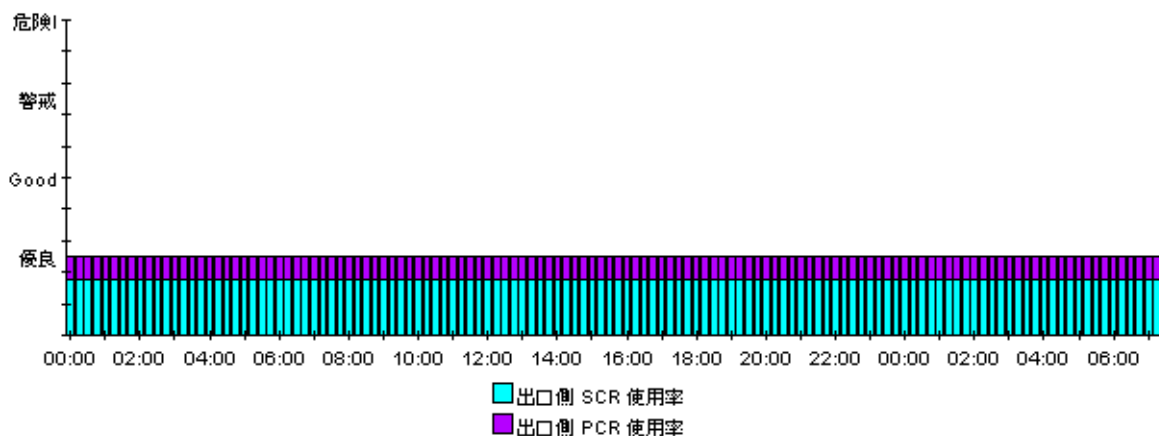
6月8日 (水) 0:00

デバイス	Description	コール試行	成功率 - 発信元	成功率 - 着信先
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts
Router6	SVC Description Not Defined	1,001.00	1.10	No Call Attempts

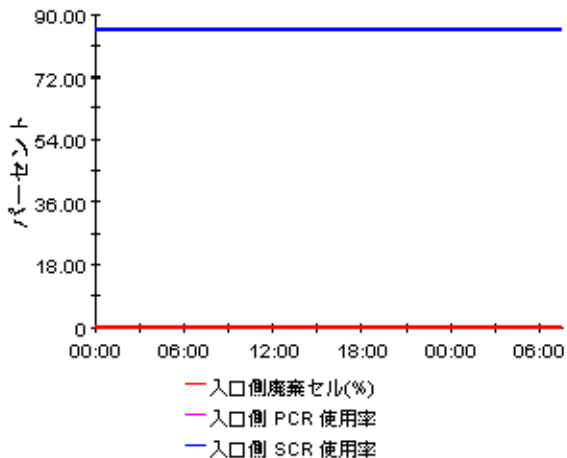
サービスのPVC 出口側グレード

Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0

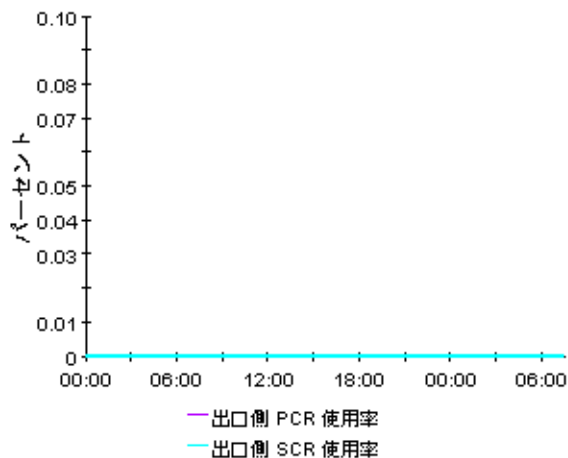
6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30



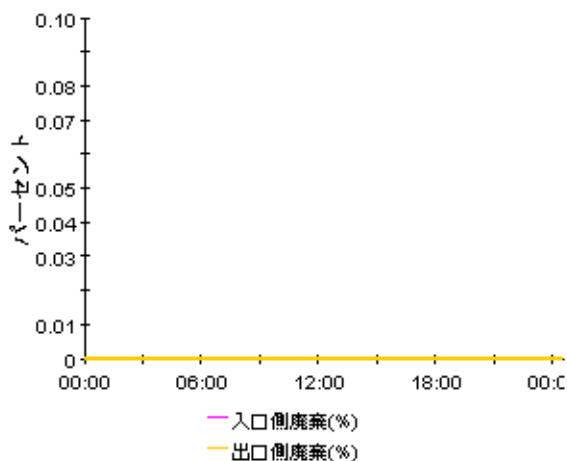
入口側 SCRとPCR使用率
 Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30



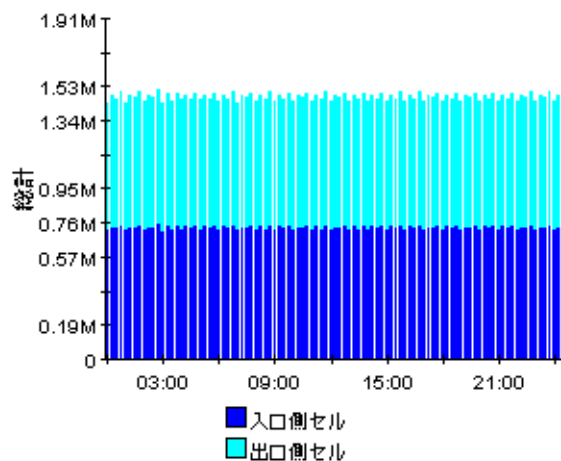
出口側 SCRとPCR使用率
 Router5: 0.0_202.0_Router5_146.0
 6月7日 (火) 0:00 - 6月8日 (水) 7:30



入口側廃棄および出口側廃棄のパーセンテージ
 Router5: 147
 6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30



入口側および出口側のセル数
 Router5: 147
 6月8日 (水) 0:00 - 6月9日 (木) 0:30



ATM SVC Top Ten



The Top Ten report shows the top ten SVC ports based on call attempts and calls per second on a daily and monthly basis. These reports help network managers determine which SVC ports are being used the most.

Daily Top Ten SVC Ports by Call Attempts

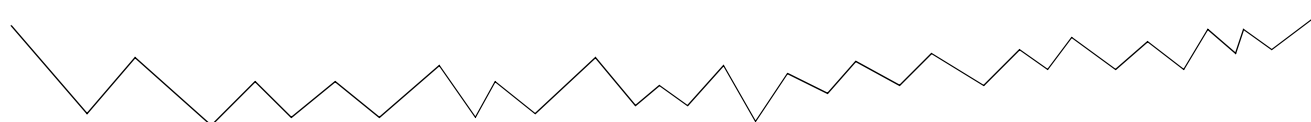
Mon, Jan 21, 2002

Device	Description	Avg # of Active SVC	Attempts	Success Ratio - Originating	Success Ratio - Terminating
ATMSwitch2	New York to Boston	25.73	177708	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to San Jose	41.57	54058	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Atlanta	28.47	33324	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Nashua	1.07	32026	100.00	99.47
ATMSwitch1	Torrance to London	68.79	9429	100.00	99.91
ATMSwitch1	Torrance to Los Angeles	40.44	7269	100.00	99.24
ATMSwitch1	Torrance to New York	34.73	7000	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to Toronto	16.72	2367	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to Paris	17.68	2348	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Chicago	56.51	1943	100.00	0.00

Monthly Top Ten SVC Ports by Call Attempts

Dec 2001

Device	Description	Avg # of Active SVC	Attempts	Success Ratio - Originating	Success Ratio - Terminating
ATMSwitch2	New York to Boston	25.67	2300217	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to San Jose	41.51	697276	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Atlanta	28.46	429874	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Nashua	1.06	416620	100.00	99.49
ATMSwitch1	Torrance to London	68.50	119827	100.00	99.91
ATMSwitch1	Torrance to Los Angeles	40.44	94055	100.00	99.28
ATMSwitch1	Torrance to New York	34.72	90616	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to Toronto	16.69	30631	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to Paris	17.66	30380	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Chicago	56.51	23577	100.00	0.00



Daily Top Ten SVC Ports by Calls Per Second


Mon, Jan 21, 2002

Device	Description	Avg # of Active SVC	Calls per Second	Success Ratio - Originating	Success Ratio - Terminating
ATMSwitch2	New York to Boston	25.73	4.94	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to San Jose	41.57	3.00	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Atlanta	28.47	0.43	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Nashua	1.07	0.37	100.00	99.47
ATMSwitch1	Torrance to London	68.79	0.28	100.00	99.91
ATMSwitch1	Torrance to New York	34.73	0.19	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Los Angeles	40.44	0.10	100.00	99.24
ATMSwitch1	Torrance to Chicago	56.51	0.07	100.00	0.00
ATMSwitch2	New York to Toronto	16.72	0.07	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to Paris	17.68	0.07	100.00	100.00

Monthly Top Ten SVC Ports by Calls Per Second

Dec 2001

Device	Description	Avg # of Active SVC	Calls per Second	Success Ratio - Originating	Success Ratio - Terminating
ATMSwitch2	New York to Boston	25.67	4.94	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to San Jose	41.51	3.01	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Atlanta	28.46	0.43	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Nashua	1.06	0.37	100.00	99.49
ATMSwitch1	Torrance to London	68.50	0.28	100.00	99.91
ATMSwitch1	Torrance to New York	34.72	0.19	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Los Angeles	40.44	0.10	100.00	99.28
ATMSwitch2	New York to Toronto	16.69	0.07	100.00	100.00
ATMSwitch2	New York to Paris	17.66	0.07	100.00	100.00
ATMSwitch1	Torrance to Chicago	56.51	0.06	100.00	0.00

 Back to Top

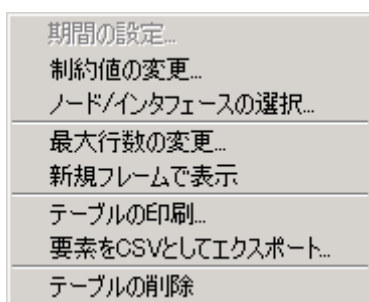

テーブルおよびグラフの編集

テーブルとグラフはいずれも複数の方法で表示できます。通常はデフォルトのビューで十分ですが、別のビューに変更するのは簡単です。レポートビューアプリケーションを使用している場合には、オブジェクトを右クリックすると、ビューオプションの一覧が表示されます。Web アクセスサーバーを使用してレポートを表示している場合には、次の手順に沿って、テーブルやグラフのデフォルトビューを変更してください。

- 1 リンクバーの **[設定]** をクリックします。
- 2 ナビゲーションフレームの **[レポート]** を展開します。
- 3 **[表示]** をクリックします。
- 4 **[要素編集の許可]** ボックスを選択します。
- 5 **[適用]** をクリックします。
- 6 テーブルまたはグラフの横の **[編集]** アイコンをクリックします。

テーブルのビューオプション

テーブルを右クリックすると、あるいは、Web アクセスサーバー使用時に **[Edit Table]** アイコンを選択すると、テーブルビュー オプションの一覧が開きます。



相対時間範囲（現在からの）を変更したり絶対時間範囲を設定したりするには、**[期間の設定]** を選択してください。[期間の設定] ウィンドウが開きます。

テーブルに表示する対象の期間を、たとえば 42 日から 30 日や 7 日に、短縮できます。過去のある日から昨日 *以前* の日までの具体的な期間を指定したい場合には、**[絶対時間の使用]** をクリックし、**[開始時刻]** と **[終了時刻]** を選択します。

制約を緩くあるいは厳しくして、制約を満たす要素の数を増やしたり減らしたりするには、[制約値の変更]を選択してください。[制約値の変更]ウィンドウが開きます。制約を緩くするには値を小さく、制約を厳しくするには値を大きく設定します。

[ノード/インタフェースの選択]を選択すると、テーブルの対象を特定のノードや、特定のインタフェース、ノードやインタフェースの特定のグループに制限して、テーブルのスコープを変更できます。[ノードの選択タイプを選択します]ウィンドウが開きます。

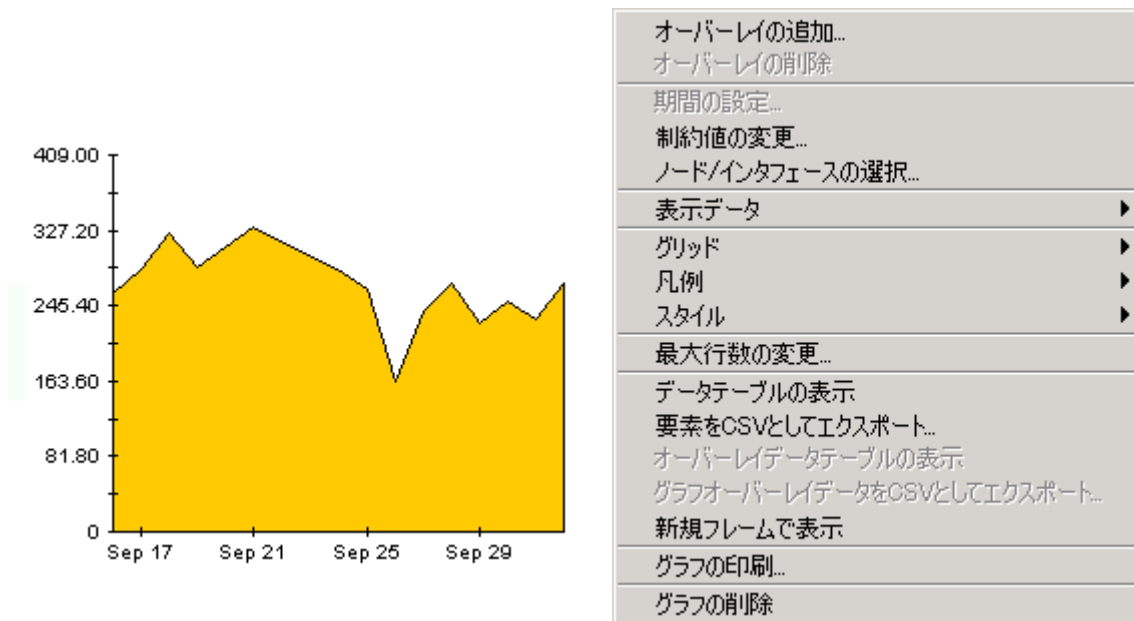
[最大行数の変更]を選択すると、テーブルに表示する行数を増やしたり減らしたりできます。デフォルトは50行です。デフォルトより大きい値を指定すると、テーブルを開くのにかかる時間が長くなる可能性があります。大規模なネットワークの場合には、デフォルト値を使うとテーブルが最も速く開きます。

[新規フレームで表示]を選択すると、次の図のように、テーブルが[テーブルビュー]ウィンドウ内に開きます。必要に応じてウィンドウのサイズを調整し、テーブル内のデータを読みやすくしてください。

デバイス	ポート	Description	ポート速度	カスタマ名	地域名
Router5	114	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router5	115	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router5	122	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router5	146	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router5	147	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router5	149	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router5	170	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	0	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	1	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	2	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	3	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	16	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	17	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	18	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	19	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	24	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	25	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	26	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	27	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	28	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	29	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston
Router6	56	Description is Not Defined	500,000.00	Acme	Reston

グラフのビューオプション

グラフを右クリックすると、あるいは、Web アクセスサーバー使用時に [グラフの編集] アイコンを選択すると、次のようなビューオプションの一覧が開きます。



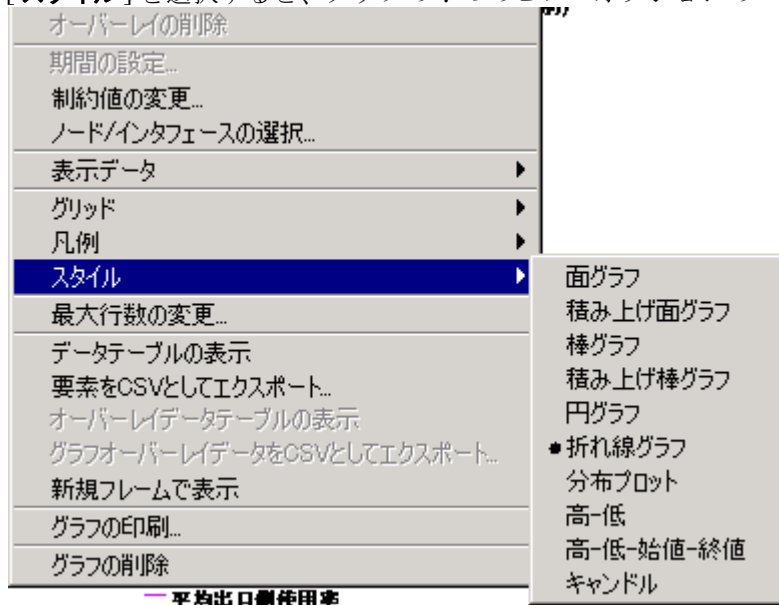
次の表では、各オプションの詳細について説明します。

オプション	機能
[期間の設定]	上述のテーブルオプションと同じ
[制約値の変更]	上述のテーブルオプションと同じ
[ノード / インタフェースの選択]	上述のテーブルオプションと同じ
[表示データ]	グラフ上のそれぞれの点について、データをスプレッドシートに表示する
[グリッド]	次のグリッド線をグラフに追加する X 軸のグリッド線 Y 軸のグリッド線 X 軸および Y 軸のグリッド線
[凡例]	凡例を削除または移動する
[スタイル]	下記の図を参照
[最大行数の変更]	上述のテーブルオプションと同じ
[データテーブルの表示]	下記を参照

オプション	機能
[要素を CSV としてエクスポート]	上述のテーブルオプションと同じ
[新規フレームで表示]	[グラフビューア] ウィンドウにグラフを開く
[グラフの印刷]	上述のテーブルオプションと同じ

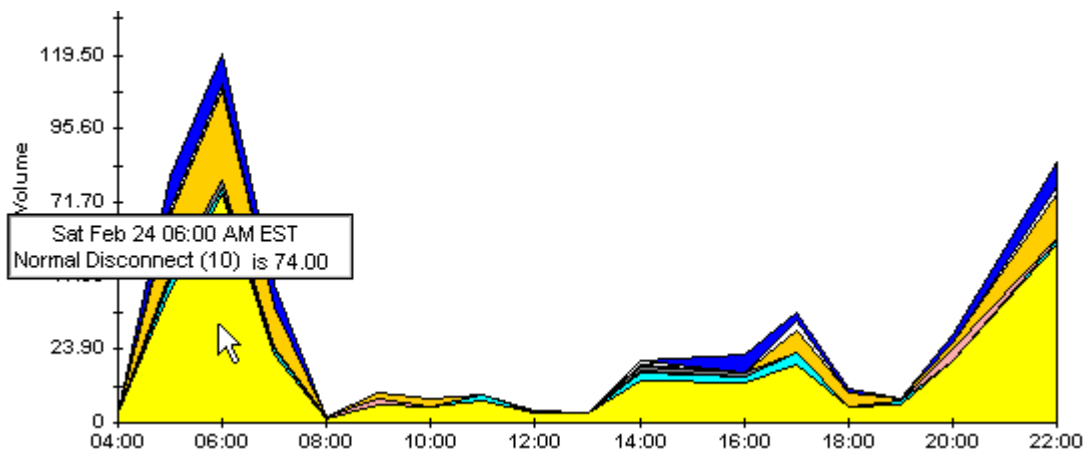
スタイルオプション

[スタイル] を選択すると、グラフの 7 つのビューオプションの一覧が表示されます。



[スタイル]>[面グラフ]

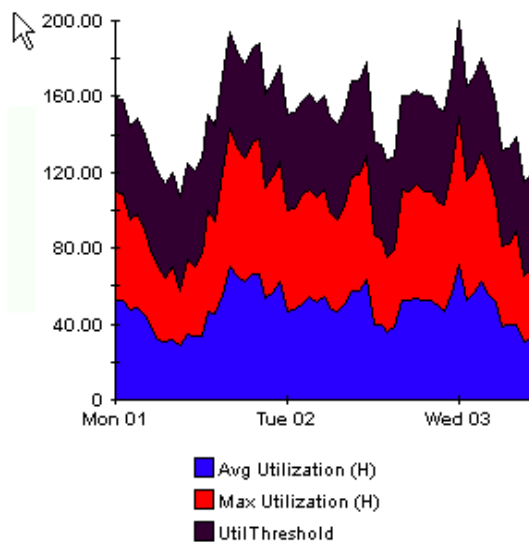
プロットチャートや棒グラフを面グラフに変更します。このフォーマットでは、相対値や合計値は見やすくなりますが、小さなデータ型の絶対値は見にくくなる場合があります。色の帯の任意の場所をクリックすると、その場所の正確な値が表示されます。



グラフの期間を短くするには、[Shift] + [Alt] キーを押し、マウスの左ボタンで注目したい期間を強調表示します。マウスボタンを離すと、選択した期間が表示されます。

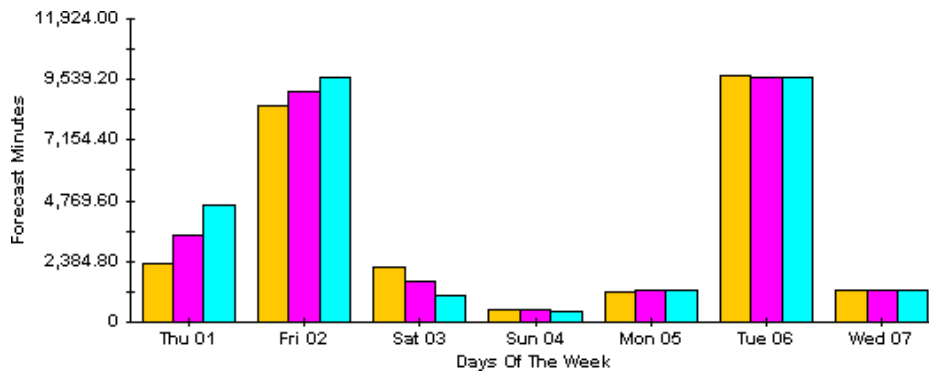
[スタイル]>[積み上げ面グラフ]

面グラフやプロットグラフを積み上げ面グラフに変更します。このビューは、少数の変数を表示するのに適しています。



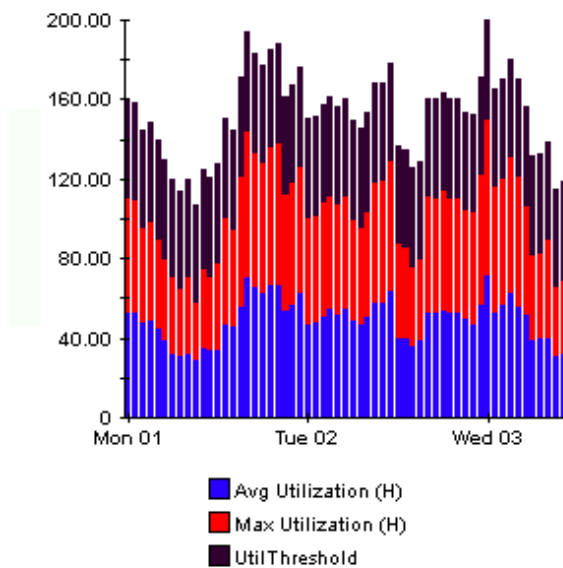
[スタイル]>[棒グラフ]

グラフを棒グラフに変更します。このビューは、少数の変数の比較的近い値を表示するのに適しています。次のグラフには3つの変数が表示されています。



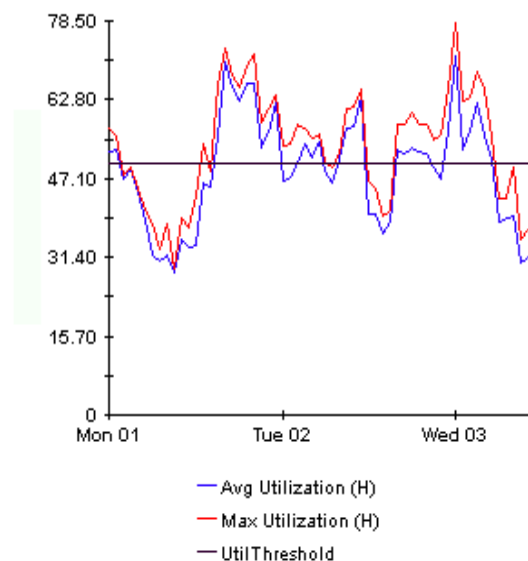
[スタイル]>[積み上げ棒グラフ]

プロットグラフや面グラフを積み上げ棒グラフに変更します。フレームの幅を広げると、時間の目盛りは1時間単位になります。フレームの高さを広げると、呼び出しボリュームが10単位で表示されます。



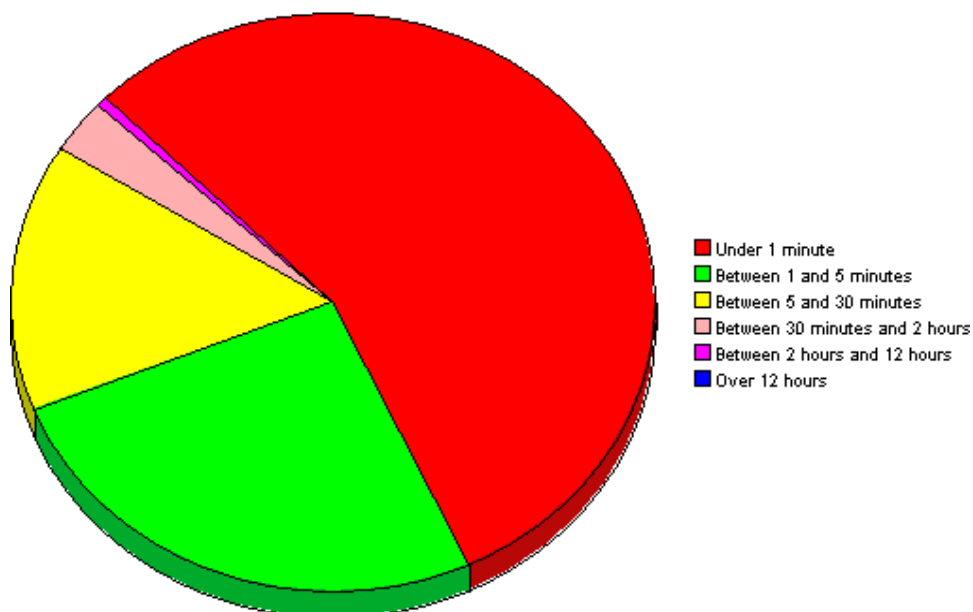
[スタイル]>[折れ線グラフ]

面グラフの色の帯を線に変更します。フレームの幅を調整すると、データポイントを時間単位にすることができ、フレームの高さを調整すると、呼び出しボリュームを整数にすることができます。



[スタイル]>[円グラフ]

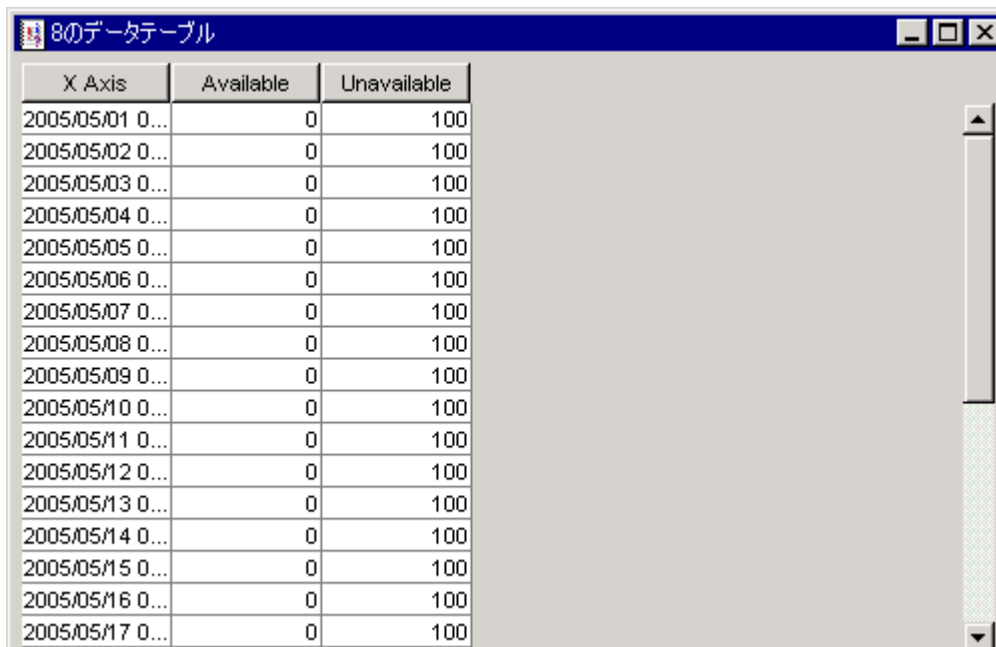
面グラフを円グラフに変更します。面グラフの帯が円グラフの 1 つの区切りになり、円グラフ全体が 24 時間を表すようになります。このビューが役に立つのは、表示するデータ値の数が少なく、対象のデータが 1 日分の場合です。



複数の日のデータを見る場合には、1 日につき 1 つの円グラフが、複数表示されます。

[データテーブルの表示]

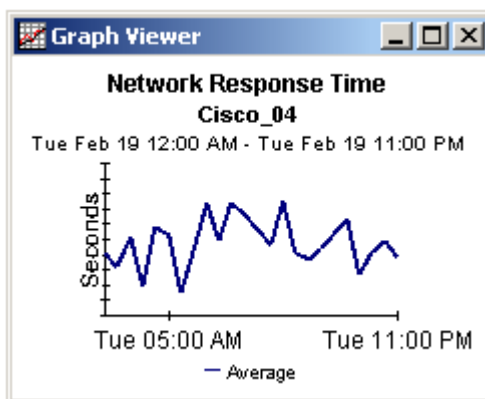
このオプションを選択すると、グラフがスプレッドシートに変わります。



X Axis	Available	Unavailable
2005/05/01 0...	0	100
2005/05/02 0...	0	100
2005/05/03 0...	0	100
2005/05/04 0...	0	100
2005/05/05 0...	0	100
2005/05/06 0...	0	100
2005/05/07 0...	0	100
2005/05/08 0...	0	100
2005/05/09 0...	0	100
2005/05/10 0...	0	100
2005/05/11 0...	0	100
2005/05/12 0...	0	100
2005/05/13 0...	0	100
2005/05/14 0...	0	100
2005/05/15 0...	0	100
2005/05/16 0...	0	100
2005/05/17 0...	0	100

[新規フレームで表示]

グラフが [グラフビューア] ウィンドウ内に開きます。ウィンドウのサイズを調整して読みやすくしてください。



A

ATM ifEntry Datapipe 1.0, 9

C

check_ATM_Property_consistency.out, 17

collection_manager, 14

Common Property Tables, 16

Common Property Tables のアップグレード , 22

G

group_manager, 14

I

Interface Reporting 3.0 のインストール , 22, 24

Interface Reporting 3.0 の削除 , 25

Interface Reporting パッケージのアップグレード , 17

IR_DevPort_Hourly_Process.pro, 28

N

Network Node Manager, 10

NNM からのレポートの起動 , 10

O

OVPI Timer

起動 , 19, 24

停止 , 16, 23

P

PCR(ピークセルレート), 11, 31

S

SCR(平均セルレート), 11, 31

SHIRDevPorts テーブル , 29

T

trendcopy の pull コマンド , 28

U

UPGRADE_ATM_Checker, 16, 17

あ

一般的なレポート

エグゼクティブサマリー , 8

可用性 , 8

キャパシティプランニング , 8

クイックビューと NRT クイックビュー , 9

設定 , 8

トップテン , 9

ホットスポット , 8

予測 , 8

[インタフェースのカスタマの変更](フォーム), 45

[インタフェースの説明の変更](フォーム), 46

[インタフェースの場所の変更](フォーム), 45

[インタフェースのプロパティの変更](フォーム), 43

インポート処理のデフォルトの実行時刻 , 41

か

カスタマイズしたデータテーブルビュー , 14, 19

カスタマ固有のレポート , 10

キャパシティプランニング , 8

グラフのスタイルオプション , 97

グラフビュー オプション , 95

グリッドオプション , 97

グループフィルター , 10

検出 , 33

さ

サービスレベル管理 , 9
最大行数の変更オプション , 97
準備 , 11, 31
新規フレームで表示 , 96
絶対時間の使用 , 95

た

データテーブルの表示 , 97
[データベースの追加ウィザード], 28
テーブルビュー オプション , 95
テーブルマネージャ , 29
デフォルトの実行時刻 , 41
デフォルトのソースディレクトリパス , 34
デモパッケージ , 11, 23

は

バージョン履歴 , 9
配布 CD からの既存のパッケージの抽出 , 23
凡例オプション , 97
表示されたデータオプション , 97
プロパティインポート データパイプ , 11, 31, 32
プロパティ情報の更新 , 32, 41
プロパティデータのインポート処理 , 32
プロパティデータのエクスポート処理 , 32
プロパティデータファイル
 ATM_Port_Property.dat のフォーマット , 38
 ATM_SVC_Property.dat のフォーマット , 39
 インポートコマンド , 40
 エクスポートコマンド , 33
 サンプル , 34
 名前 , 31
 ネットワーク準備システムからのエクスポート ,
 32
 必要な使用率の値 , 35
 ファイルの手動作成 , 34
 ファイルの生成 , 31
 編集時のガイドライン , 34
 予約値 , 39
プロパティのインポート , 11
分散システム , 14, 22

ポーリングポリシー , 14, 19

ら

リモートポーター , 14
レポートの配布 , 25
レポートパラメータ , 10

わ

割合データ (分散システム) , 28